文部科学省　成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成事業

2018年度enPiT受講満足度に関するアンケート調査結果

2019年3月

本調査にご協力をいただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。

Education Network for Practical Information Technologies

2018年度enPiT受講満足度に関するアンケート調査の概要

本調査では、2018年度にenPiTを受講した学生を対象に、受講満足度のほか、enPiTに対する評価、特に評価できる点、改善点や要望等を尋ねた。また、修士学生を対象とした2016年度の調査、学部生・高専生を対象とした2017年度の調査の結果と比較しながら、今年度のenPiTの成果のほか、今後に向けた改善点・課題等の把握を試みた。

調査対象者	2018年度にenPiTを受講した学生 （回答者数計408名）
調査期間	2018年12月3日（月）～2019年3月11日（月）
調査方法	Webアンケート調査
調査内容	• enPiTの難易度／理解度／有益度 • enPiTを後輩や友人に勧めるか • インターンシップへの参加意欲 • enPiTに関して特に良かった点 • enPiTを知ったきっかけ • enPiTへの参加の決め手 • enPiTへの参加（修了）状況 • enPiTに参加した目的／成果 • enPiT参加前に感じた不安・懸念 • 参加前の懸念に対する実際の印象 • enPiTに対する改善点や意見 • 後輩に対するメッセージやアドバイス

2018年度enPiT受講満足度に関するアンケート調査結果のポイント

POINT1

enPiTプログラムの「有益度」例年通りの高水準を達成

p.06

enPiTの受講が「有益だった」という回答は、2018年度も**約９割**と例年通りの高水準を達成。**「後輩や友人に勧めたい」**という回答も過去と同じ高水準を維持。

POINT2

enPiT受講の目的や成果は「基礎から体系的に学べること」

p.53・48

enPiT受講の目的や成果として、学部生が高く評価しているのは、「基礎から体系的に学べること」。**受講の目的としては**「実践的な力を習得する」に続いて**第２位**、**受講の成果としては第１位**に。

POINT3

enPiT受講の最終的な決め手「先輩からの紹介」が増加

p.36・31

学部生・高専生を主な対象とするenPiTが開始されて２年目に入り、受講の「最終的な決め手」として**昨年度受講した先輩からの紹介**が増加。**今後口コミが重要なチャネルになる可能性も**。

POINT4

enPiT受講前懸念は減少傾向「難易度に対する不安の払拭」と「事前の情報提供」が課題

p.84・79

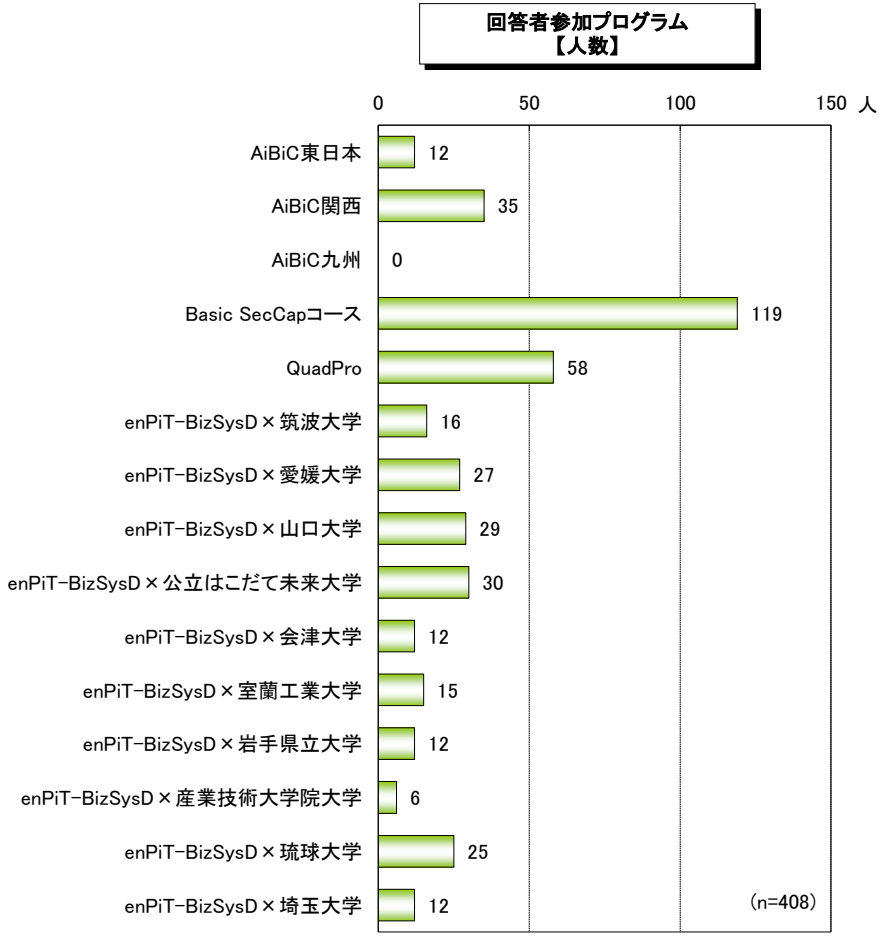
enPiT参加前に**懸念を「感じなかった」学生の割合**は過去３年間で**最高水準**を記録。懸念を感じた学生の回答としては、**「難易度が高そう」、「事前の情報が少ない」**が多く、改善が期待される。

目次

No.	項目	ページ
1	アンケート回答者属性	p.04
2	enPiTプログラムの有益度／enPiTを後輩や友人に勧めるか	p.06
3	enPiTプログラムの難易度／理解度	p.11
4	enPiT受講によるインターンシップへの参加意欲の向上	p.16
5	enPiTについて特に良かった点	p.19
6	enPiTを最初に知ったきっかけ	p.31
7	enPiT参加の最終的な決め手	p.36
8	enPiTへの参加状況／最後まで参加できなかった理由	p.41
9	enPiTに参加した目的	p.48
10	enPiTに参加した成果	p.53
11	enPiT参加前に感じた懸念	p.79
12	enPiT参加前の懸念に対する実際の印象	p.84
13	enPiTに関する不安・懸念に対する解決策	p.100
14	enPiTに対する意見・改善点	p.110
15	後輩に対するメッセージやアドバイス	p.121

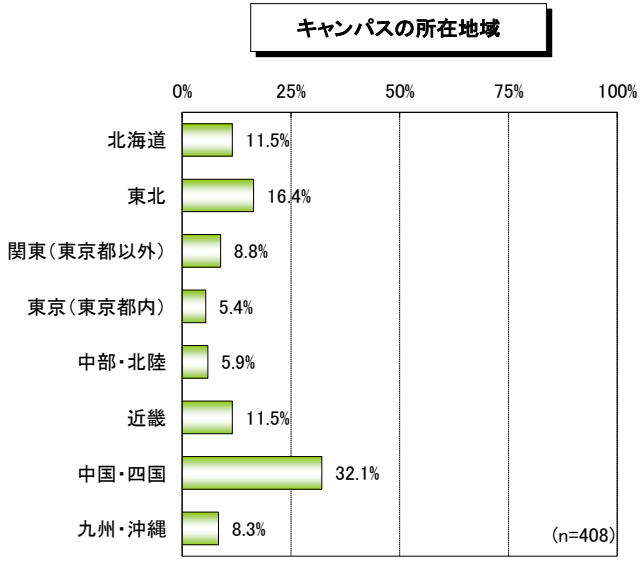
2018年度アンケート回答者属性①

【問1】以下のうち、あなたが今年度受講・参加したenPiTプログラムを選んでください。

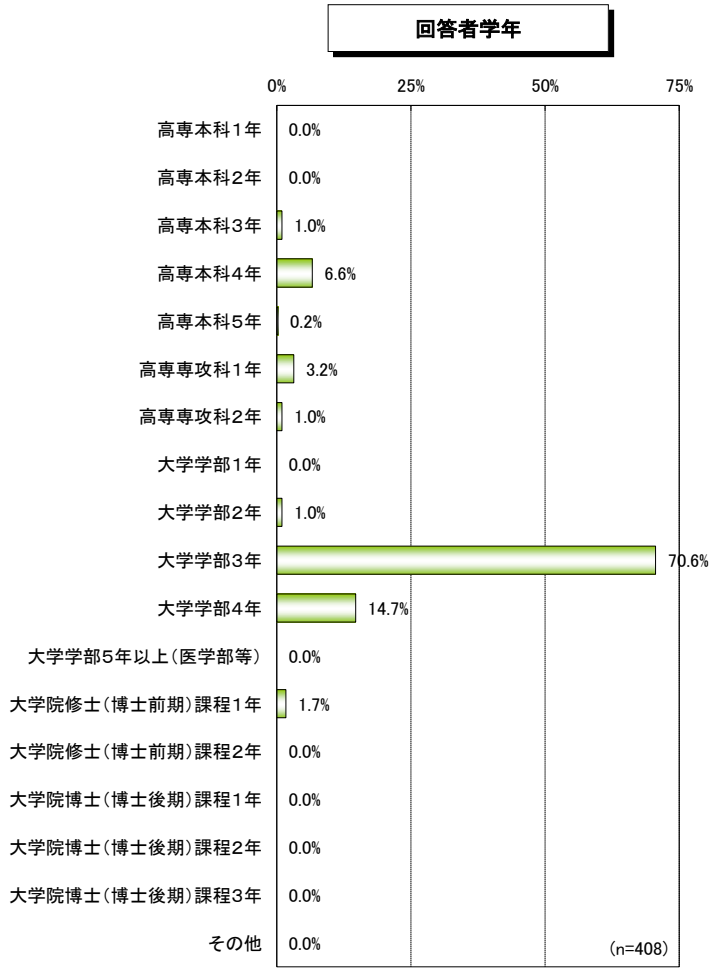


2018年度アンケート回答者属性②

【問4】あなたが通学しているキャンパスの所在地域を選んでください。



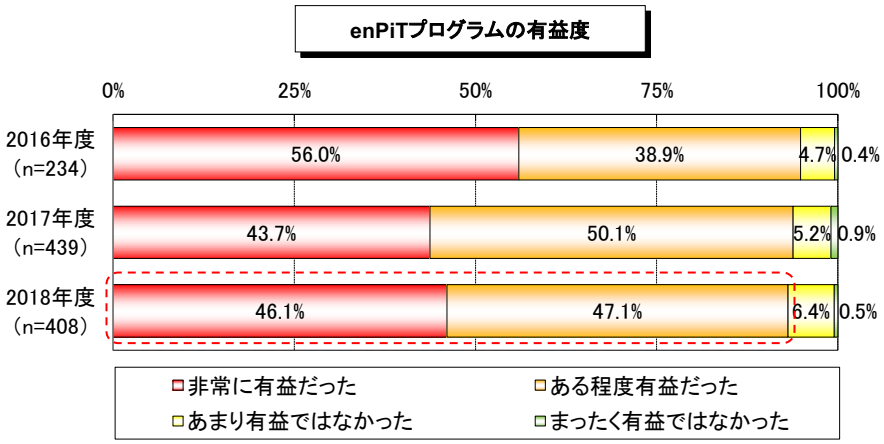
【問5】あなたの学年を選んでください。

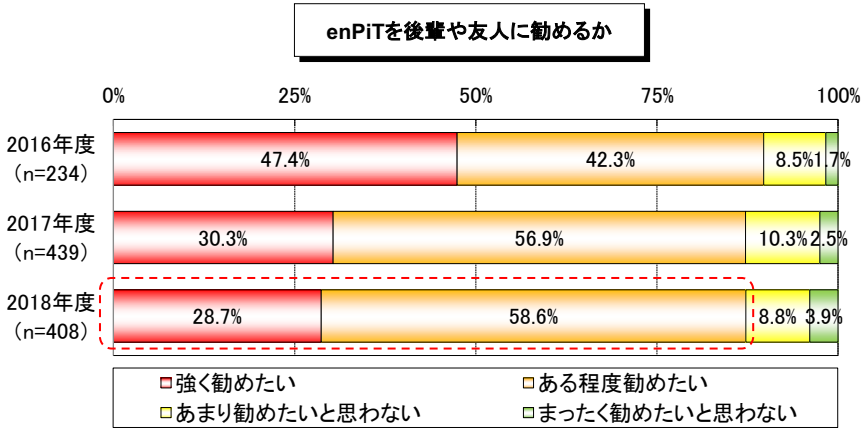


enPiTプログラムの有益度／enPiTを後輩や友人に勧めるか

【問17】enPiTプログラムの受講は、あなたにとって有益であったと思いますか。
【問19】来年度も同じプログラムが開講されるとしたら、あなたはこのプログラムの受講を後輩や友人に勧めたいと思いますか。

- enPiTプログラムの受講が有益であったかについて尋ねたところ、「非常に有益だった」または「ある程度有益だった」と回答した割合はあわせて約93%に達し、**例年通り、多くの学生が有益であったと感じている**ことが把握された。
- **「来年度も同じプログラムを開講するとしたら後輩や友人に勧めるか」**と尋ねたところ、「強く勧めたい」と「ある程度勧めたい」をあわせた回答の割合は**約9割**に上り、過去の調査と同水準となった。

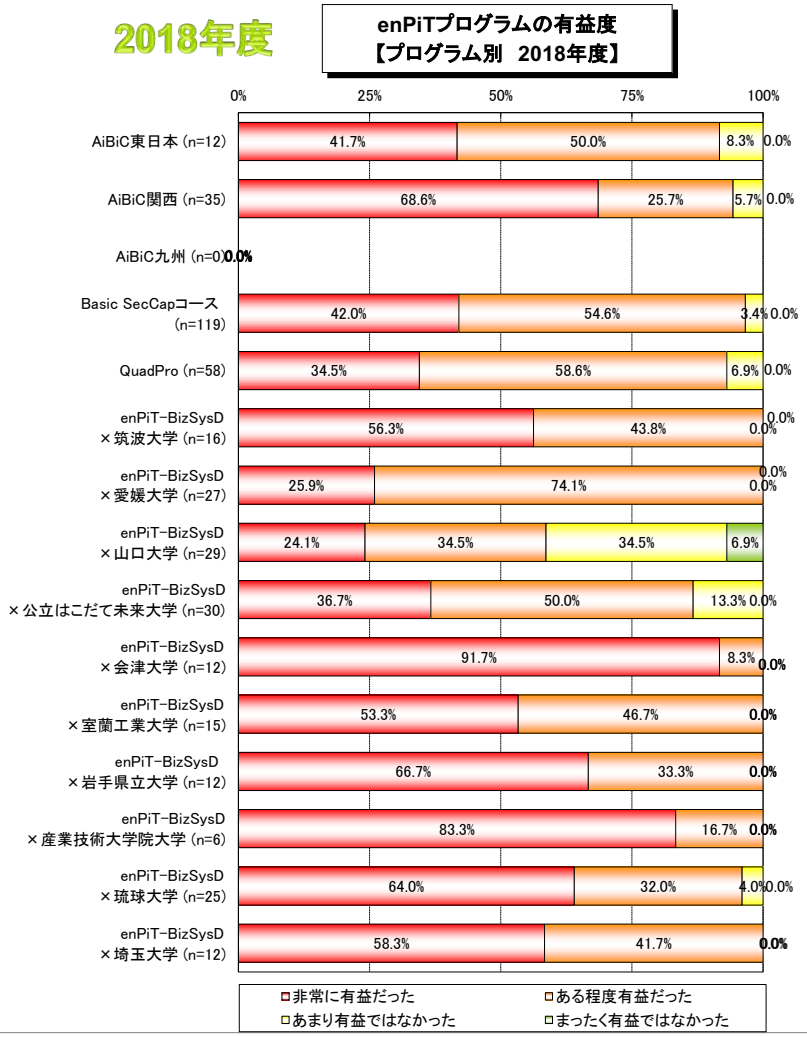




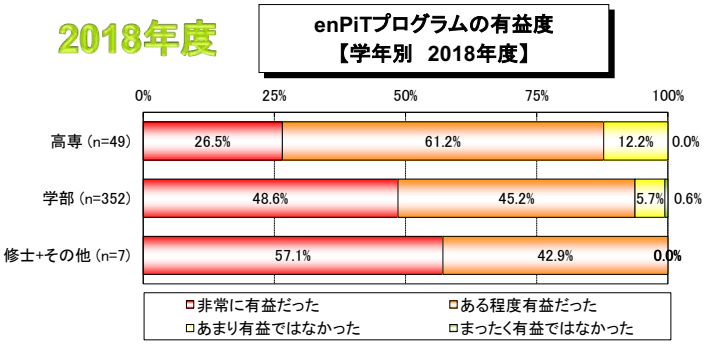
enPiTプログラムの有益度（2018年度：プログラム別／学年別）

【問17】enPiTプログラムの受講は、あなたにとって有益であったと思いますか。

2018年度



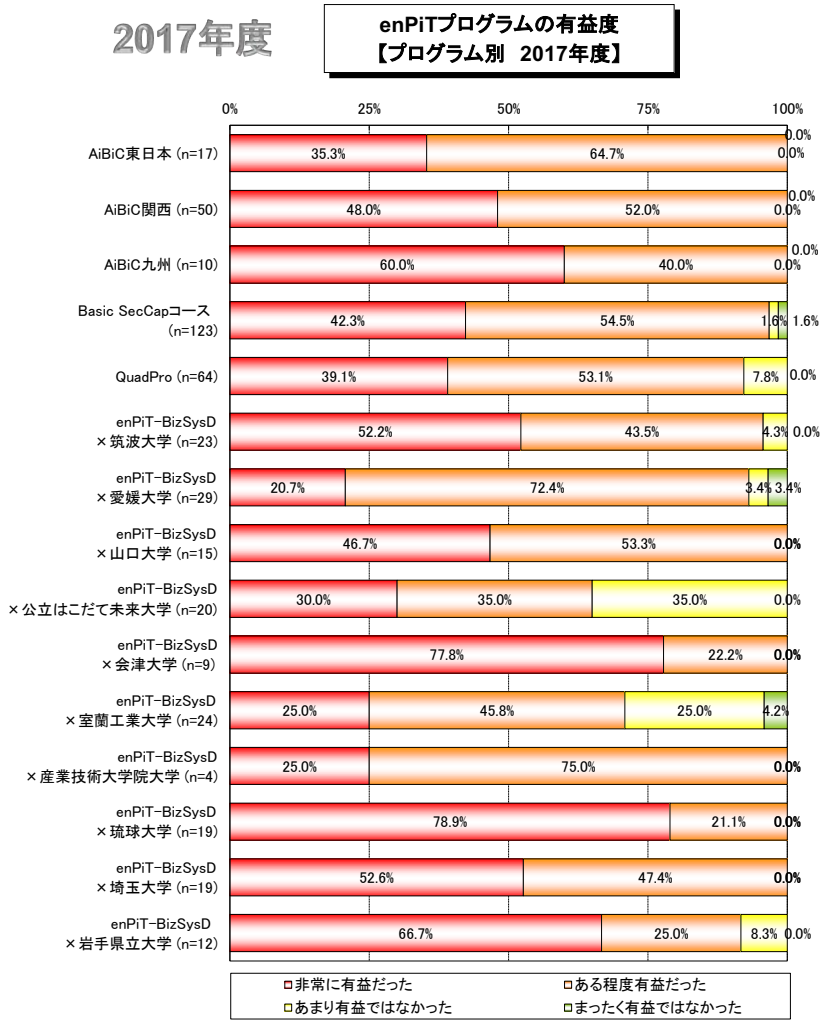
2018年度



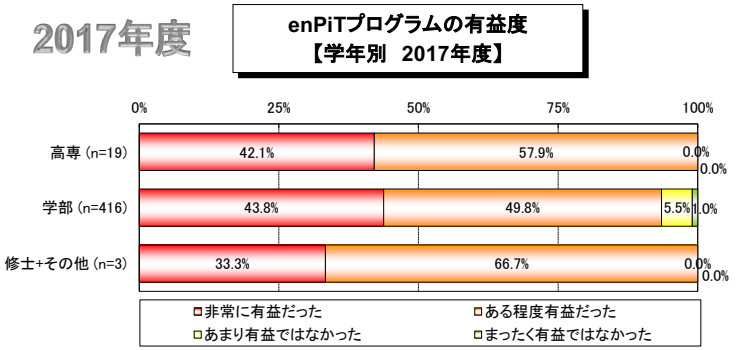
enPiTプログラムの有益度（2017年度：プログラム別／学年別）

【問17】enPiTプログラムの受講は、あなたにとって有益であったと思いますか。

2017年度



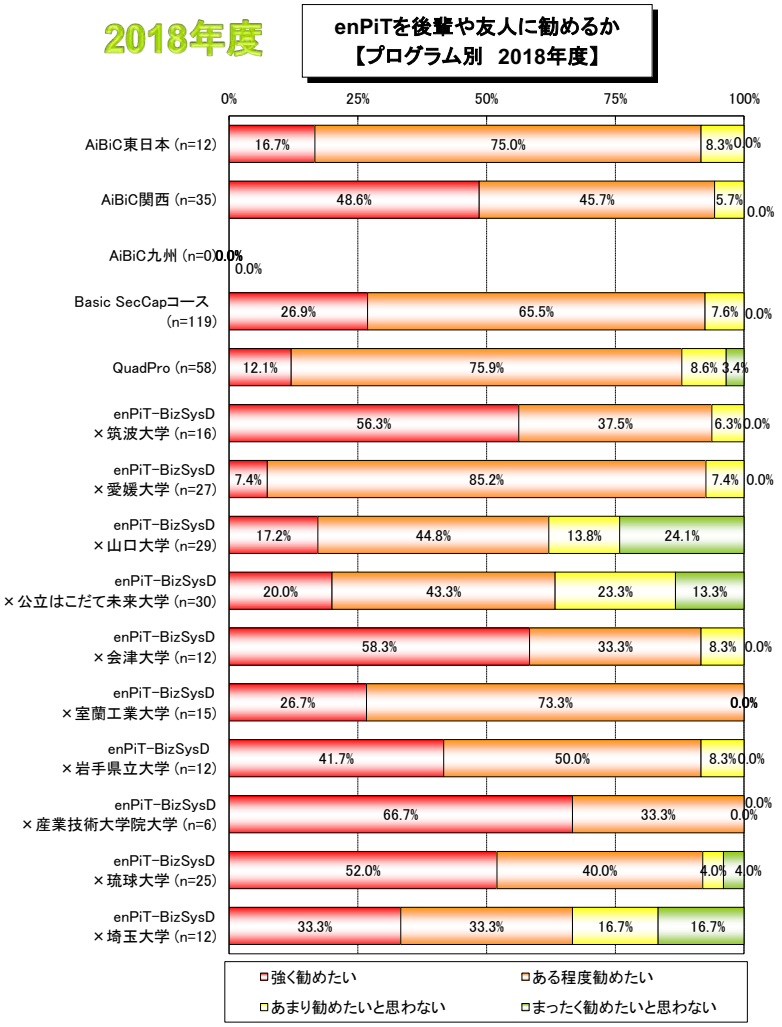
2017年度



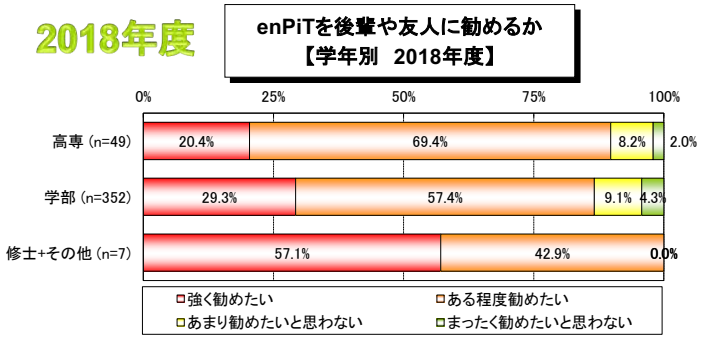
enPiTを後輩や友人に勧めるか（2018年度：プログラム別／学年別）

【問19】来年度も同じプログラムが開講されるとしたら、あなたはこのプログラムの受講を後輩や友人に勧めたいと思いますか。

2018年度



2018年度

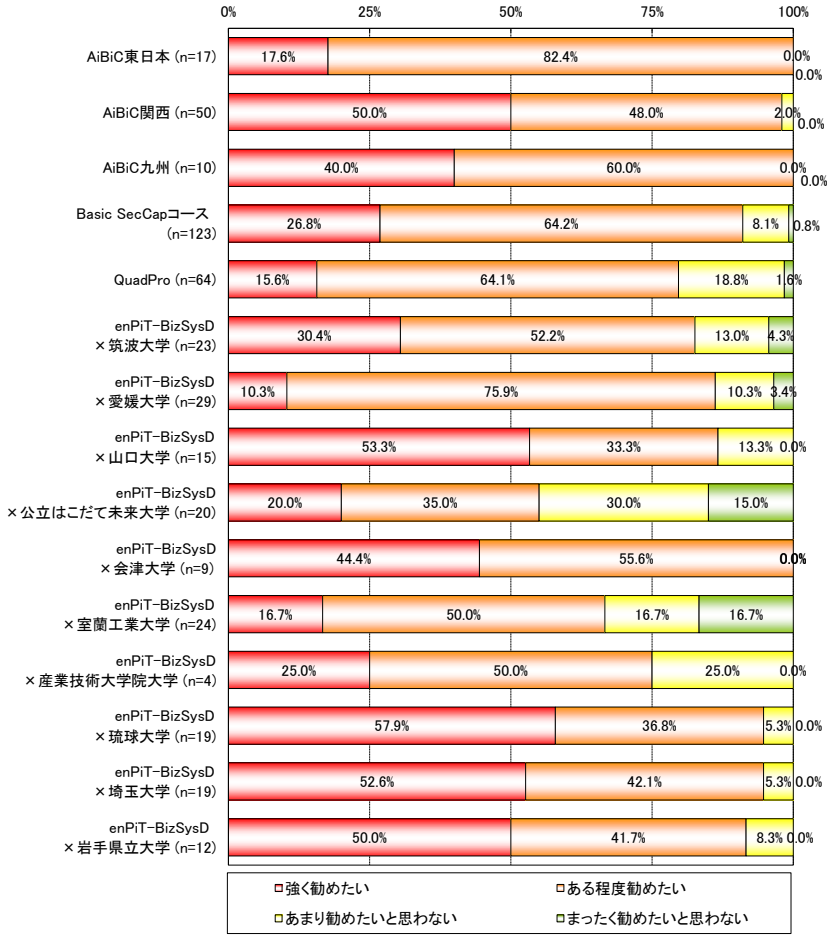


enPiTを後輩や友人に勧めるか（2017年度：プログラム別／学年別）

【問19】来年度も同じプログラムが開講されるとしたら、あなたはこのプログラムの受講を後輩や友人に勧めたいと思いますか。

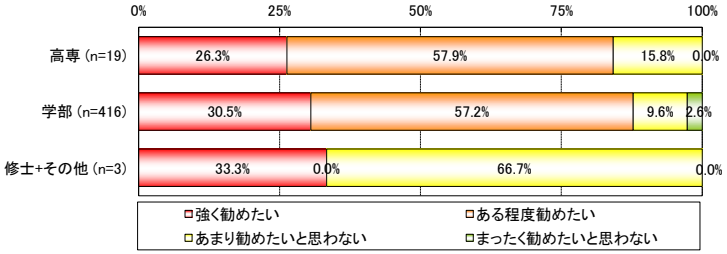
2017年度

enPiTを後輩や友人に勧めるか【プログラム別 2017年度】



2017年度

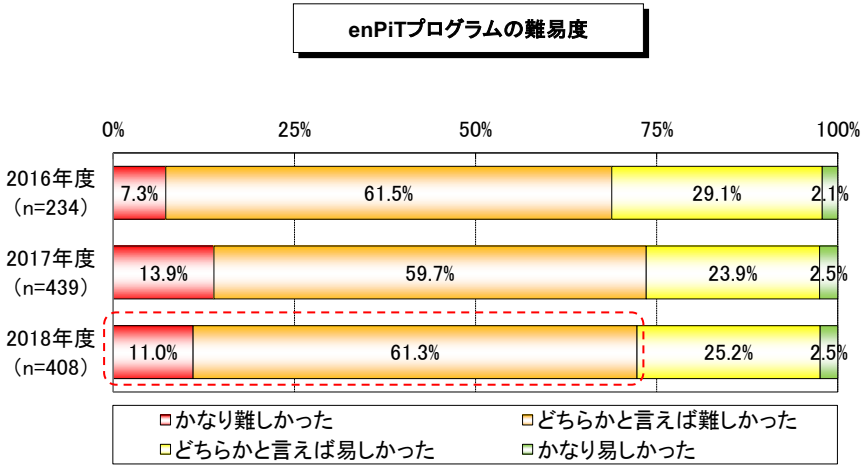
enPiTを後輩や友人に勧めるか【学年別 2017年度】

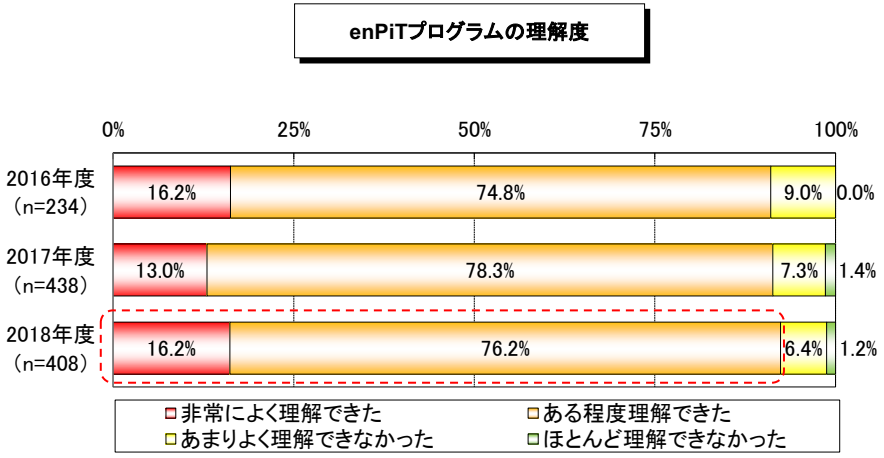


enPiTプログラムの難易度／理解度

【問15】あなたは、今回受講したenPiTプログラムの難易度について、どう感じましたか。
【問16】あなたは、現在までに受講したenPiTプログラムの内容について、十分に理解できましたか。

- enPiTプログラムの難易度について尋ねたところ、**「かなり難しかった」と「どちらかといえば難しかった」を合わせた回答の割合は約7割**であり、学部生・高専生を対象に実施した2017年度調査とほぼ同水準の結果となった。
- enPiTプログラムの内容に対する理解度について尋ねたところ、**「非常によく理解できた」または「ある程度理解できた」と回答した割合は9割を超えており**、2017年度調査とほぼ同水準の結果となった。

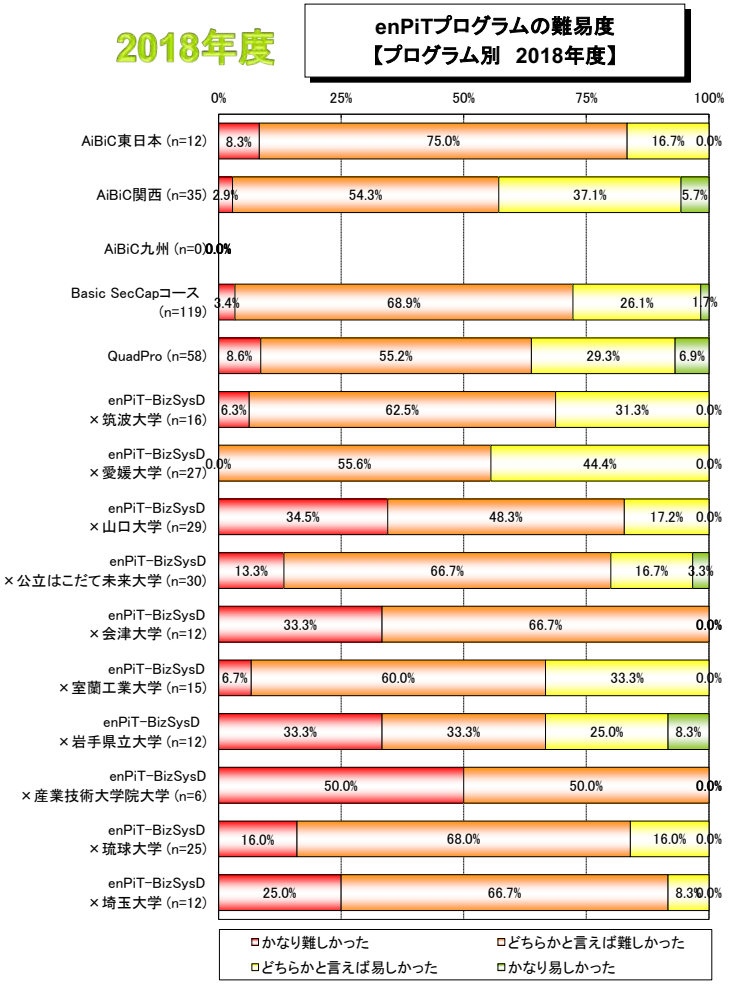




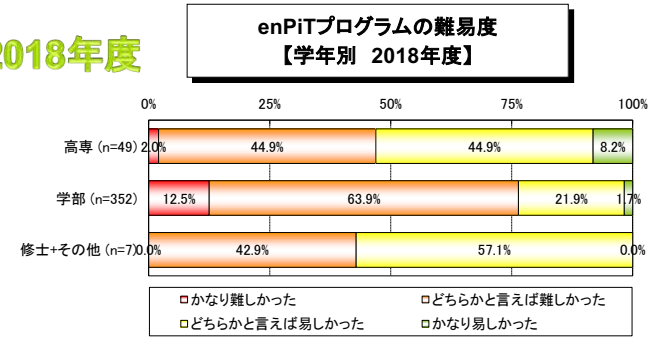
enPiTプログラムの難易度（2018年度：プログラム別／学年別）

【問15】あなたは、今回受講したenPiTプログラムの難易度について、どう感じましたか。

2018年度



2018年度

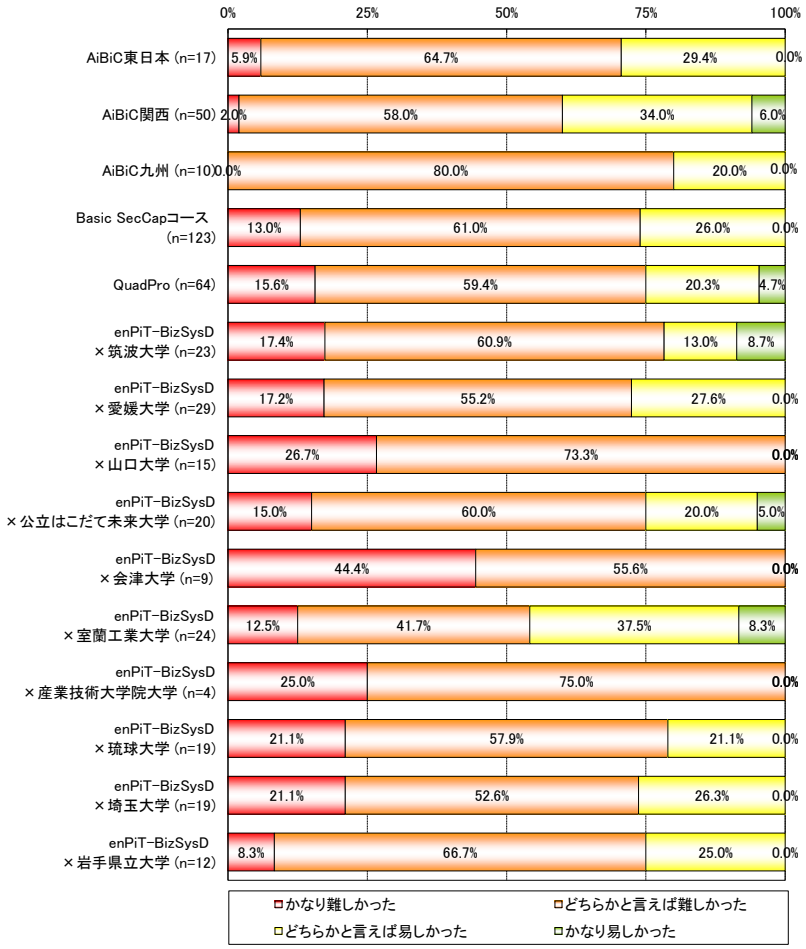


enPiTプログラムの難易度（2017年度：プログラム別／学年別）

【問15】あなたは、今回受講したenPiTプログラムの難易度について、どう感じましたか。

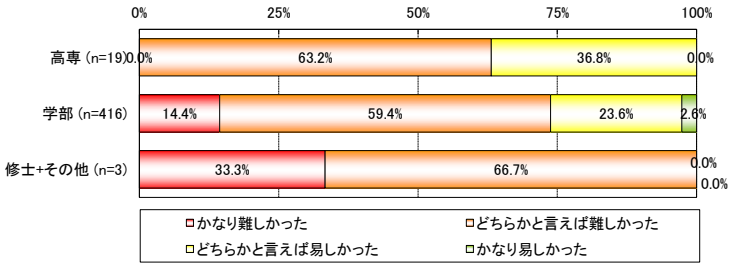
2017年度

enPiTプログラムの難易度【プログラム別 2017年度】



2017年度

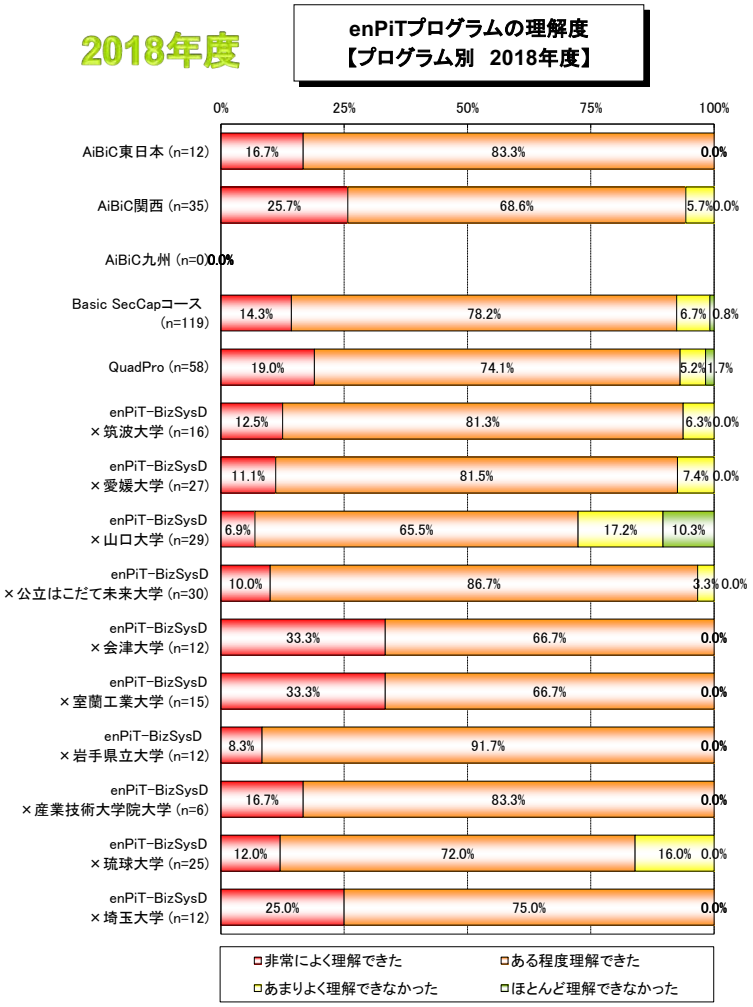
enPiTプログラムの難易度【学年別 2017年度】



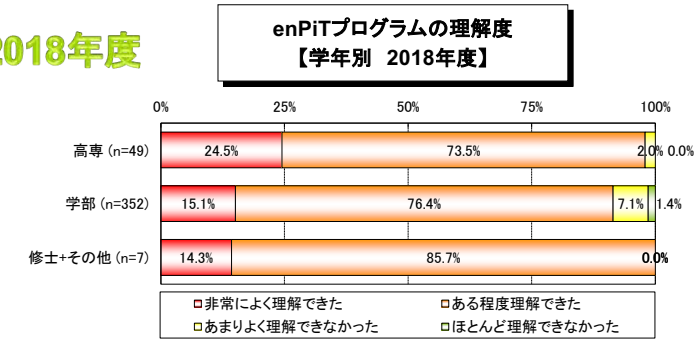
enPiTプログラムの理解度（2018年度：プログラム別／学年別）

【問16】あなたは、現在までに受講したenPiTプログラムの内容について、十分に理解できましたか。

2018年度



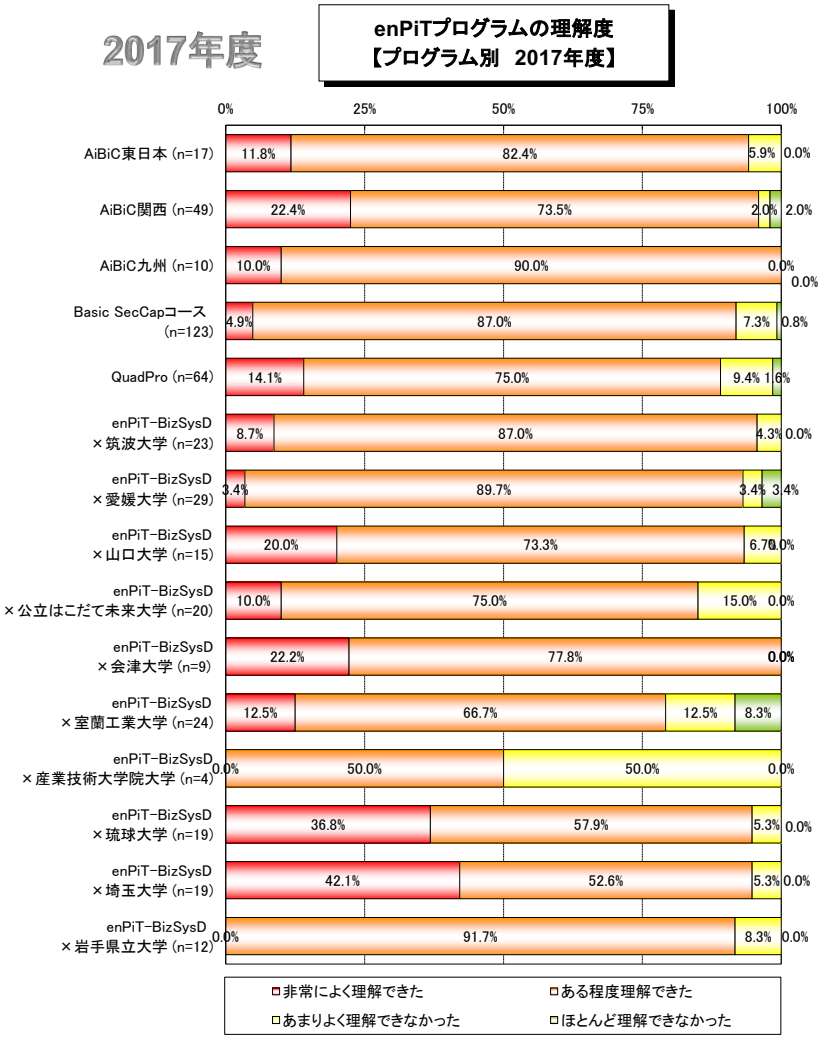
2018年度



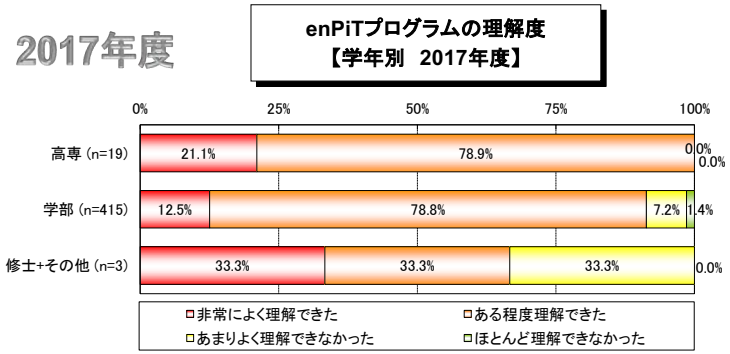
enPiTプログラムの理解度（2017年度：プログラム別／学年別）

【問16】あなたは、現在までに受講したenPiTプログラムの内容について、十分に理解できましたか。

2017年度



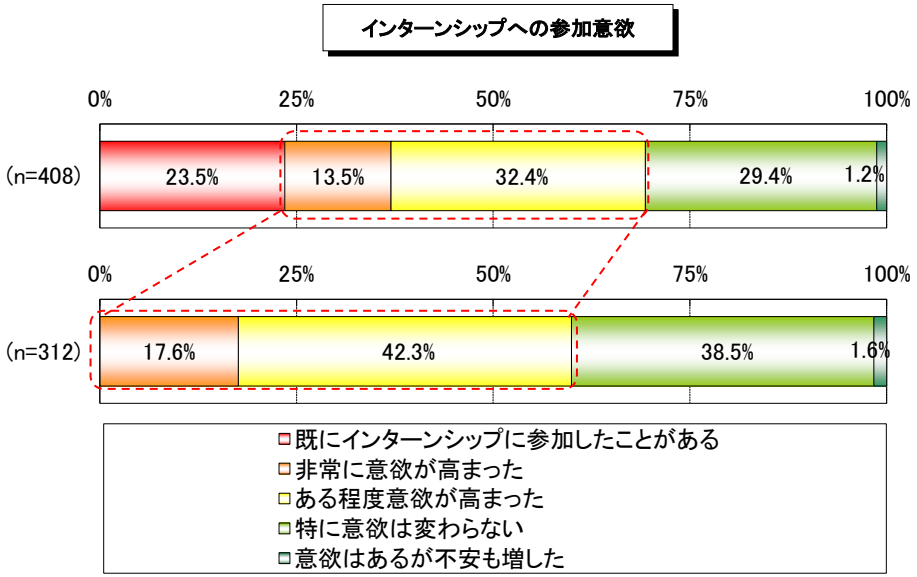
2017年度



enPiT受講によるインターンシップへの参加意欲の向上

【問18】enPiTプログラムの受講により、企業等のインターンシップへのあなたの参加意欲は高まりましたか。

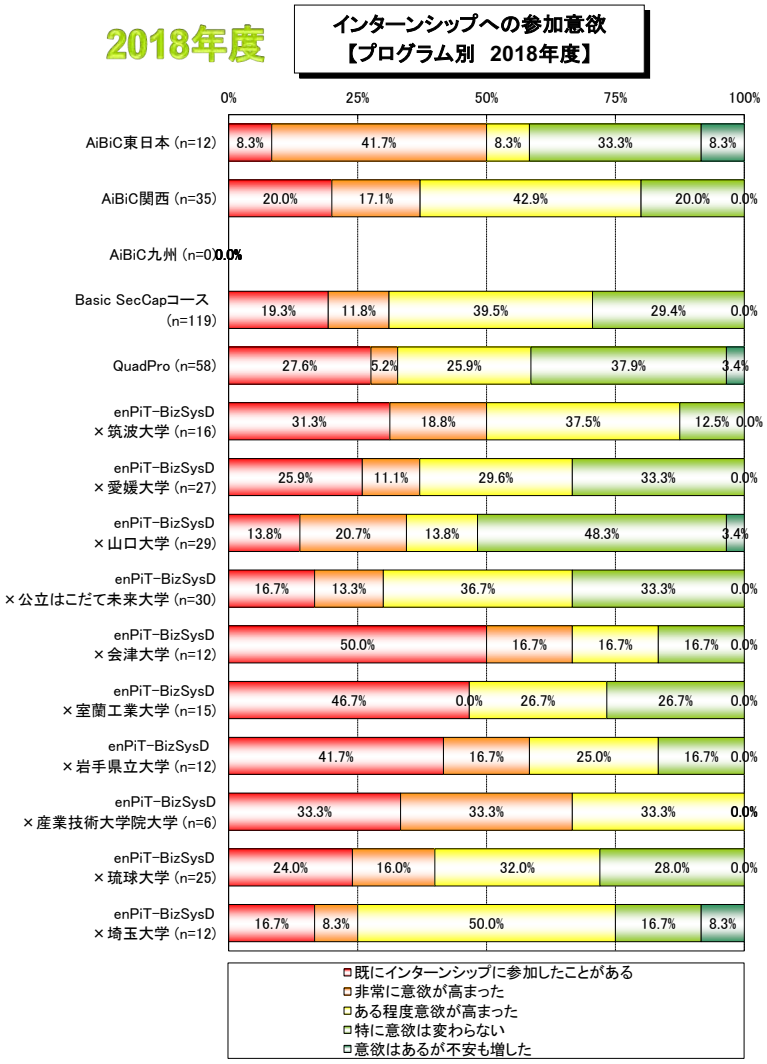
- enPiTプログラムの受講によって企業のインターンシップへの参加意欲が高まったかどうかについて尋ねたところ、「非常に意欲が高まった」または「ある程度意欲が高まった」と回答した割合が全体の約5割に上った。
- また、「既にインターンシップに参加したことがある」という回答を除くと、インターンシップへの参加に向けて「非常に意欲が高まった」または「ある程度意欲が高まった」と回答した受講者は約6割に上る。**enPiTプログラムの受講は、インターンシップへの参加意欲を高める上で効果的であった**といえる。



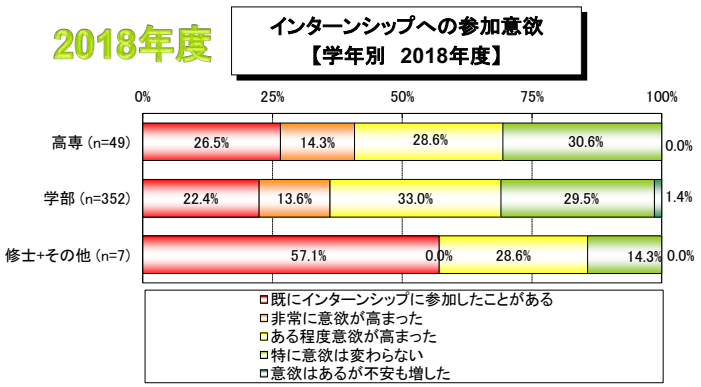
enPiT受講によるインターンシップへの参加意欲の向上（2018年度：プログラム別／学年別）

【問18】enPiTプログラムの受講により、企業等のインターンシップへのあなたの参加意欲は高まりましたか。

2018年度



2018年度

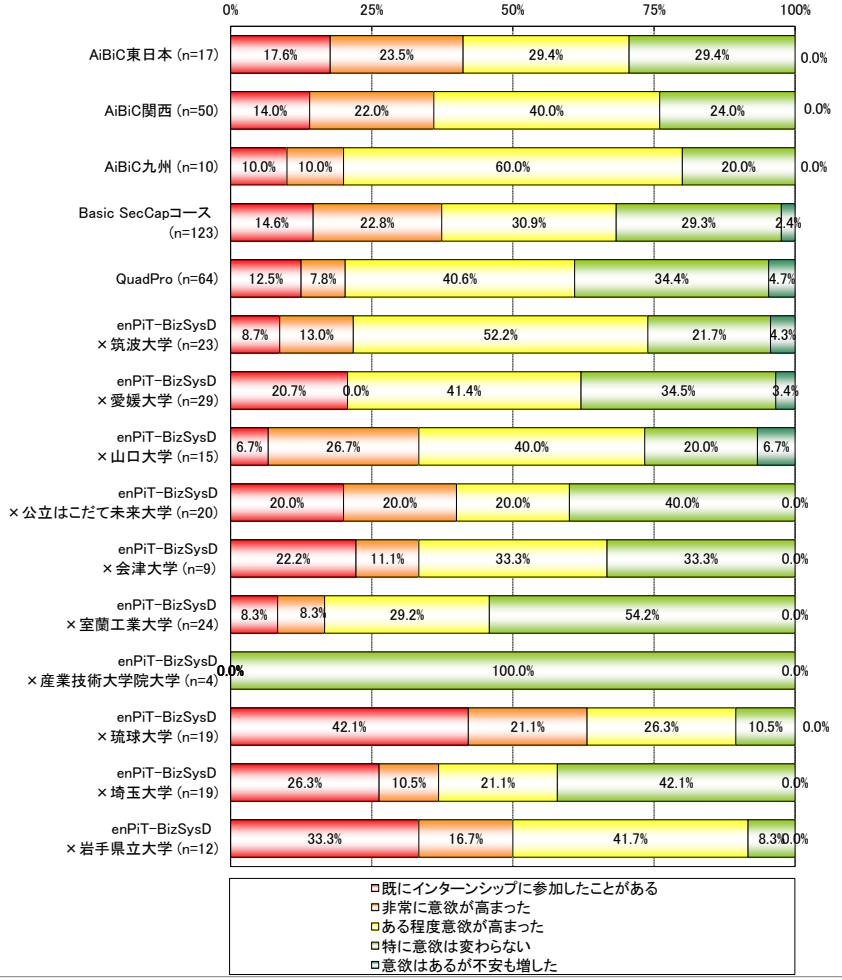


enPiT受講によるインターンシップへの参加意欲の向上（2017年度：プログラム別／学年別）

【問18】enPiTプログラムの受講により、企業等のインターンシップへのあなたの参加意欲は高まりましたか。

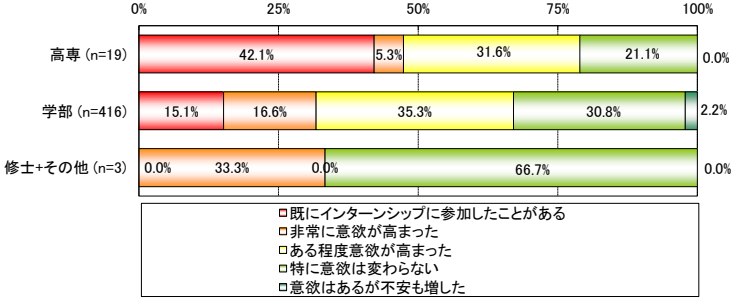
2017年度

インターンシップへの参加意欲【プログラム別 2017年度】



2017年度

インターンシップへの参加意欲【学年別 2017年度】



enPiTについて特に良かった点　＜自由回答要約＞

【問20】enPiTプログラムを受講して、どのような点が特によかったと感じますか。以下に具体的にご記入ください。

テーマ	受講者の主な回答 【要約】
講義内容	■ セキュリティやサイドチャネル攻撃、UART通信など、**自校では学ぶことのできない実践的な内容を習得できた**。 ■ 書類の作成方法や、プロジェクトマネジメント、プレゼンテーションの方法、ファシリテーションなど、**技術以外の知識やスキルを習得できた**。 ■ 最先端の開発手法や最先端技術の基礎に関する知見など、**将来必要となる実力が身についた**ほか、enPiTでの経験を**インターンシップや就職活動に活かすことができた**。
指導方法	■ 企業の方から実際の業務での体験をベースとした説明のほか、指導やアドバイスを受けるなど、**第一線で活躍する講師からの講義や指導を受けることができた**。 ■ チーム開発などの演習形式を中心とした学習を通して、**実務におけるプロジェクトの一連の流れ**を実感できた。 ■ メンターや講師等から、**きめ細かな指導やアドバイス、手厚いサポート**を受けることができた。
人との交流	■ 様々な大学の学生と同じ環境で講義を受けたり、チームでの開発を行うため、自校以外の受講生等との**交流の範囲を広げることができた**。 ■ 自校以外の受講生やチームメンバーとの活動や交流を通じて、**刺激を受けることができた**。

enPiTについて特に良かった点①

【問20】enPiTプログラムを受講して、どのような点が特によかったと感じますか。以下に具体的にご記入ください。

講義内容① 自校では学べない内容が学べた (1/2)

- 自分の大学では学べないような、**より専門的なこと**を学べたこと。
- 普段は教えてもらえないことを教えてもらえた。普段の授業よりは**実践で使われている内容**が多かったと思う。
- 普段の学部や学科の講義では学べないことが出来た点、特に**PBL演習の内容**は興味が湧いた。
- 自身が**普段受けている講義とは異なる分野の知識**を得ることができた。概要のみを知っていたことについて、詳しく知ることができた。実際に大学でどんな研究が行われているかについても触れることができた。
- セキュリティに関してはあまり学ぶ機会がなく、その知識もあまりなかったが、**実践的なセキュリティ**の知識を学ぶことができた。
- 座学と演習のバランスが良い。普段、大学で受ける講義は座学のみ、あるいは実験だけを行う場合がほとんどです。enPiTでは、たとえば**サイドチャネル攻撃について、実際にオシロスコープを用いて波形解析を行うなどの演習**が受けられたことがよかったです。また、座学が疎かになることもなく、体系的に学ぶことができたので、自分の知識の強化に繋がったと感じています。私は大学在学中に1年間アメリカに留学しましたが、その時に受講していた工学系の専門科目も、一つの受講科目の中で座学と演習を両方行いました。enPiTで提供された科目もその形式に近いと感じ、受講してよかったです。
- 普段、学校で受けている授業とは違い、具体例が多く、**実践的な内容**であった点。
- **ネットワークの基礎から具体的なセキュリティ技術まで**大まかに学べた点。他大学の人と協力して演習できた点。
- **セキュリティ分野**を幅広く学ぶことができた。
- **セキュリティの基礎**を学ぶことができたこと。
- 広く浅く、といった形で**様々な技術的知見**を広げられたのが良いと思います。

enPiTについて特に良かった点②

【問20】enPiTプログラムを受講して、どのような点が特によかったと感じますか。以下に具体的にご記入ください。

講義内容① 自校では学べない内容が学べた (2/2)

- 受講のきっかけでもあるが、大学で勉強していることを、**組み込みシステム開発を通して、ハード的にアウトプットした**こと。普段の授業の端末内の完結、理論の話を実際に実装し、ものづくりに繋がっていることを実感できた。
- **UARTの通信の基礎**を学べたことが良かったです。
- 普段の大学の講義では学ぶことが難しいと思われる**「実社会に対して、どのようにITが適用されているのか」**について学べたことが良い点だと思う。
- 普段の学習では身につかないアウトプットの演習が多かったため、自分の実力を試す最適な機会となった。また大学の座学だけでは不足している、**実際に企業が取り入れている開発手法**を体験できることはとても有益だと感じた。
- **ITに関する技術**が非常に身につく点。
- **長期間にわたるチーム開発**は、大学の講義ではなかなか経験できないため、参加できてよかった。

enPiTについて特に良かった点③

【問20】enPiTプログラムを受講して、どのような点が特によかったと感じますか。以下に具体的にご記入ください。

講義内容② 技術以外の知識・スキルが習得できた

- 任意だが**ドキュメンテーション**について学べたこと。
- **時間の配分**の難しさや、**意思疎通**の難しさなど、想像だけではなかなか影響が分からない事について、実際に演習することで知ることができた点が特によかったと感じました。
- **PM（プロジェクトマネジメント）**に関して体系的かつ実践的に学ぶことができる。
- **チームワーク**の大切さが身をもって分かった。チームで作業するための分担やスケジュールなどにも気を配らなくてはならないため、いい経験になった。
- **プレゼン力**が向上した。
- **問題解決のプロセス**がよく分かり、現場で行われているプログラムを学ぶことができた。
- 他大学、他学部の学生と交流し協力してグループワークを行うことで、**協調性や、実践的な問題解決能力**を養えた。
- **チームでの作業やプロジェクトのコツ**が分かった。
- グループで1つのものを作り上げていくので、連帯感が高まり、意識高く課題に取り組めた。また、社会に出てから経験するであろう、**意見を合わせること**が困難であったり、**工数通り進まない**などという失敗も経験ができた。
- 課題解決型の演習であったため、**実践力**が身についたと感じる。また、**ファシリテーションスキルアップ講座**等、情報系の専門科目以外の講座を受けることができ、他の学生より強みが増えたと感じる。
- 工学的な技術以外に、**チームを良くする方法**や**ビジネスシステムデザイン**という観点で実践的に学べる機会が得られたのが大変有益で良かった。
- 技術だけでなく、**チームで開発すること**や、**チーム開発には何が必要か**を1年かけて身につけられる点がよかった。
- **責任を持ってタスクをやり遂げる**という経験ができて良かったと思います。

enPiTについて特に良かった点④

【問20】enPiTプログラムを受講して、どのような点が特によかったと感じますか。以下に具体的にご記入ください。

講義内容③ **将来必要な実力が身についた**

- 大学と企業がコラボレーションし、学問的、**実用的な視点から、インプット、アウトプットできた**ため、得られる知識やスキルは非常に幅広いものとなりました。
- クライアントの意図をしっかりと把握して適切に応えるためには、**適切なリサーチと発想力**が大事だと再認識できた点。合宿のみ参加しましたが、IT技術というよりも、そこでの学びが大きかったと思います。企業で必要な力は何か考えさせられました。
- **最先端技術の基礎**が学べたことは良かったと思う。インターンなどでやるようなことを、合宿で泊まりがけでやることによって、深く体験できたと思う。
- 実際の業務で使うような、**ドキュメントの書き方やマイコン**について、深い部分まで学べてよかった。
- 企業で実際に使われている**ビジネスモデルの考案フロー**を体験できた点。
- 企業で行っている**ソフトウェア開発の流れ**を体感できたのは非常に有意義だったと思う。アプリを企画・開発し、教員の方々や第三者からフィードバックを受けてアプリを修正するという流れは普段の授業では経験できないものだったに違いないと思う。また、チームとして、**一つのものを完成させていくこと**も今まで経験していなかったことなので、新鮮に感じることが多かった。例えば、アプリの概要や仕様を決めるときの意見の食い違いを埋めるためにコミュニケーションを取ったり、困難な課題に対して話し合いながら協力して取り組んだりすることなどである。口では言うものの、実際にはあまりやってこなかったことなので、こうしたことを体験できてよかったと思う。
- 実際の企業で行われてる**最先端の開発方法**を体験できたこと。
- **チーム開発で重要なこと**の理解や、実際の開発の体験を通じて**プログラミングの向上**などに繋がったことが特によかったです。
- 嫌というほど**ユーザー目線**を意識できる。やりたいことをやるだけでは意味がないことを学べる。
- 企業でも実際に採用されている**スクラムという方式**で開発を体験することが出来る点。合宿ではモブプログラミングしやすい環境が整っている点。
- **現場で実際に用いられている技術や方法論**を学ぶことができた点。
- **アジャイル・スクラム開発**が特によかったと感じます。他講義科目では、このような手法でチーム開発を進めなかったので、新たな知見が得られました。

enPiTについて特に良かった点⑤

【問20】enPiTプログラムを受講して、どのような点が特によかったと感じますか。以下に具体的にご記入ください。

講義内容④ 就職活動や将来の仕事の理解につながった

- 理論だけでなく、**実際の現場**についてある程度知ることができた。
- 企業の新人研修の簡易版のようなものを体験でき、**実際の業務に近いこと**を体験できたこと。
- 自分の専攻している科目の知識が深まったほか、**希望している会社に入社したら、こういうことをしたいというイメージ**を作れた。
- 社会に出て、企業に就職してから役に立つであろう経験ができた。グループワークの中で**役割分担**をすること、その**役割を責任を持って果たす**こと、**グループで創意工夫**をすることなど貴重な体験だった。
- **大学で学んだことが実際に企業でどのように使われるのか**、大学での勉学以外で**どのようなスキルが必要なのか**を知ることができたこと。
- **全く知らない人とチームを組んで設計からプログラムまで計画を立て、一つのことを成す**ことは、実際に働く時にも同じような境遇になると思うので、先に経験することが出来て良かったと思いました。
- 顧客の注文に対して**プロジェクトチームを立ち上げ、開発する**という実践的な経験ができたのはとても良かったと思います。
- 創造力の向上や、チーム開発の経験、そしてなにより**就職活動での経験談の形成**に役立った。
- 実際の**企業のフレームワーク**を使用できたこと。
- 企業の方から、今の時代のトレンドやこれからの未来の展望など、**IT業界への興味関心が更に高まるような講義**を受けられることや、企画から開発、発表までできる機会など、普段なかなか経験できないことができる点。
- **サービスデザインの過程**を学習できたのが大きかった。
- **アプリ開発の流れ**を知ることができたこと。
- 普通の講義ではあまり取り組む機会のなかった、**本格的な開発**を経験できたことと、それらを**就職活動におけるアピールポイント**とすることができる点。
- 企業の方々からの意見をいただいたことや、**就職活動の際のアピール**に繋がったこと。
- 企業で行われているような**実践的な開発プロセス・開発手法**を学び、実際に体験できたこと。また、そのプロセスに乗る形で**プロダクトの発案から設計・実装し、最後まで作りきる**ところまで経験できたこと。

enPiTについて特に良かった点⑥

【問20】enPiTプログラムを受講して、どのような点が特によかったと感じますか。以下に具体的にご記入ください。

指導方法① 第一線で活躍する講師の講義・指導が受けられた

- **実企業の社員から手厚いサポート**を受けられた点。
- 集中講義では**企業の方と接する**ことができ、**様々なお話を聞く**ことができて良かった。成果発表は今後の研究発表の練習となり貴重な経験だった。
- 実際に**企業の方が来て講義**をしてくれたこと。
- 実際の**IT職の現職の方から講義を聞けた**。
- **セキュリティ関連企業の方から話を直接聞くことができる**貴重な機会を得られた。サイバーセキュリティに関する基本的な知識や専門的な技術を習得することができた。
- **企業の方の話を聞くことができる**点が一番よかったと思います。自分には無い視点を知ることができます。
- **企業の方から多くのアドバイスをいただけた**ことは自分の糧になりました。
- 自身の興味あるテーマの研究を行えた。また、**企業の方からアドバイスをもらえる**ため、研究が進めやすかった。
- 大学の講義だけでは体験することのできない内容を実際の**企業の方とコミュニケーションをとり進める**ことで、より実践的な体験をすることができたと感じています。
- 合宿の間、アジャイル開発手法について、**企業の先生から体験をベースに一日中教わった**。道理も通っていて、身になったため、よかったです。

enPiTについて特に良かった点⑦

【問20】enPiTプログラムを受講して、どのような点が特によかったと感じますか。以下に具体的にご記入ください。

指導方法② 演習形式で実践的に学べた（1/2）

- 他大学の学生と交流を持ちつつ、**実践形式で**今話題になっている知識を学習できた。
- **実践を通して**知識や技術を学べる点。
- 特に**他大学の人との合同演習**が良かったと感じました。大学内だけでの演習ではグループが異なりつつも、ある程度知っている人が多くなってしまうので、**全く知らない人達との演習はとても新鮮**に感じ、有意義な時間となり非常に勉強になりました。
- 実際に**機械学習モデルの構築から検証**まで行えたこと。
- **実際のサービスを使いながら学習**できることは、非常に有益に感じた。また、学習面以外でも他大学の学生との交流の中で、日々の勉強のモチベーションをあげることができた。
- 最低限必要となる知識を全員が習得した後、**チームで活動**できた点。他の生徒がどんな考えや知識を持っているかについて、非常に浮き彫りになって興味深かった。
- **コンペ形式で開発**を行ったことにより、成果物に対して細部までこだわろうという意欲が生まれた。
- **チームで活動**できたこと。
- 全く知らない他校の学生との開発経験を得られたことと、**チームで活動するための様々な手法を学べた**こと。
- 座学で体系的に学ぶことができ、それを**演習授業で実際に試す**ことができた点。
- **企業での実習**。
- **実機を用いた演習**によって実践的な力を身に着けることができた。
- 理論だけではなく、**積極的に参加することのできる演習科目**であったこと。
- **実践的な演習**を通して、机上で学んでいたセキュリティ技術を深く理解する手助けとなった。

enPiTについて特に良かった点⑧

【問20】enPiTプログラムを受講して、どのような点が特によかったと感じますか。以下に具体的にご記入ください。

指導方法② 演習形式で実践的に学べた（2/2）

- 知識を習得する**講義とほぼ並行する形で演習が用意**されていたこと。
- **実践も交える**ことで、さらに理解を深めることができるところ。
- **実機を使って演習**できたこと。
- 専門的な知識を得ることや、**システム開発の経験を得る**ことができた点。
- **実践的な開発経験**を積める。
- **グループで協力して開発**を行えたことが良い経験になった。
- **チームでの開発演習**を行えたこと。
- **様々なワークショップ**があること。アジャイルやファシリテーションスキルの演習は本当に有益だと感じた。またサービスデザインも実際に企業の方から様々なアドバイスをもらうことで、よりよいものを提案することができ、企画することの難しさを知ることができた。
- 自分で実際にプログラムを書き、**チームで協力してアプリを完成させられた**点。達成感が得られた。
- **チーム開発を経験**できたこと。
- ワークショップなど、**実際に手を動かしながら学習できる**機会が豊富にあり、ただ座って話を聞くよりも多くのことを自分の能力として身につけることができたことが良かったと思う。他にも、成果物作成のために長期に渡りグループで協力したことや、その過程での試行錯誤などは実際に就職した後の業務でも役立つような経験だったと感じる。
- **アジャイル開発**について学べたこと。
- **チームでまとまって開発する**機会やGitやスクラムの学習がとても分かりやすかったところ。様々な場所に行けていろいろな大学の知り合いが増えたこと。

enPiTについて特に良かった点⑨

【問20】enPiTプログラムを受講して、どのような点が特によかったと感じますか。以下に具体的にご記入ください。

指導方法③ 指導体制が充実していた

- **先生たちとの距離感**が良かったです。**先生たちが和やかに支援してくれ、勉強はしやすく**、またその雰囲気に触発されてか、学生たちも和気藹々と勉強できました。また、他の大学の学生たちとの交流を目的としてはいなかったのですが、なかなか面白い人達がいました。
- 演習も講義も**総じてレベルが高く、興味を惹く**内容だったところ。
- **先生方が楽しそうに指導してくださった**り、他大学のほとんどの学生が積極的に交流してくれたりといった、空間の雰囲気が非常に好印象でした。どれだけ興味深い分野であっても雰囲気が悪ければ意欲もあまり続かなかったと思うので、先生方やグループワークのメンバーなどの参加学生の皆様に感謝しています。また、内容面では、様々な技術について触れていくものが多かった印象で、興味があれば自主的に深く掘り下げることもできるので、学習意欲を向上させることができました。このように多くの技術に触れながら活動するという内容は、非常に大きな成長に繋がったと思います。
- 体系的に知識を身につけることはできないが、**一定レベルの情報が網羅されている**点が良かったと思う。オンラインで講義を受けられたことも負担になり辛かった。
- 演習の時に他の大学の人と同じ班になり交流できたこと。また**先生や先輩方が丁寧に教えてくれた**こと。
- **先生にFacebookで質問できる**こと。
- **大学院生のスケジュールに合わせて**2週間スプリントになっていた点。
- webアプリ班として活動したが、Ruby on Railsについての**知識がない状態からでも学習できるようなサポート（有料動画やメンターなど）**があったため、学ぶための良い機会になったと感じた。また、アジャイル開発という手法を理解するためにも**実際に取り組んでみることができた**ので良かった。

enPiTについて特に良かった点⑩

【問20】enPiTプログラムを受講して、どのような点が特によかったと感じますか。以下に具体的にご記入ください。

人との交流① 交流の範囲が広がった

- **学外の友達**ができた。意欲がある人達と課題に取り組むことは楽しい。
- 興味のある分野について、**異なる背景を持った人とグループワーク**できたこと。
- **他大学の学生と共同作業**できた点。
- **自身とは異なる分野の学生と一緒に活動**することができて、良い経験になった。
- **知り合いではなかった学生とチームで開発**したこと。
- **他大学の方々と交流**を図ることができたこと。友達ができました。
- 自分たちでチーム開発を進める経験ができること。チャンスを掴めれば、**他大学との交流**ができること。
- **他大学の学生と話す**機会があり、**有益な情報交換をすることができた**。
- **他の大学の人たちと交流**できるし、プロジェクト学習で開発したものを発表できたり、他大学の話を聞けたりする。
- 他大学の**価値観の異なる学生と直接交流**する機会が最も良かった。
- 他の**様々な大学等の学生との交流、共同での開発の経験**ができ良かった。
- **他大学の方と活動**することで**普段大学で得られない情報や技術を吸収**することができた。
- 大勢を相手にしての発表機会が得られたこと**多方面の専門分野の人と話**ができたこと（例えば、機械系の人や土木系の人とお話しできた）。合宿で自分と価値観の全く違う人たちと関われたこと。
- **他大学の学生とコミュニケーション**が取れること。また、実際に**有名企業で働いている方とワイワイ会（TDD）**できたことが楽しかった。

enPiTについて特に良かった点⑪

【問20】enPiTプログラムを受講して、どのような点が特によかったと感じますか。以下に具体的にご記入ください。

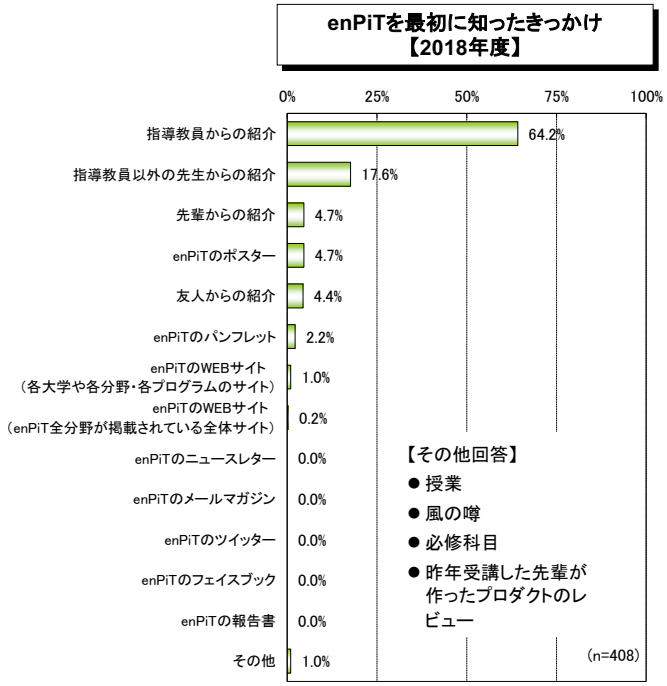
人との交流② 人との出会いにより刺激を受けた

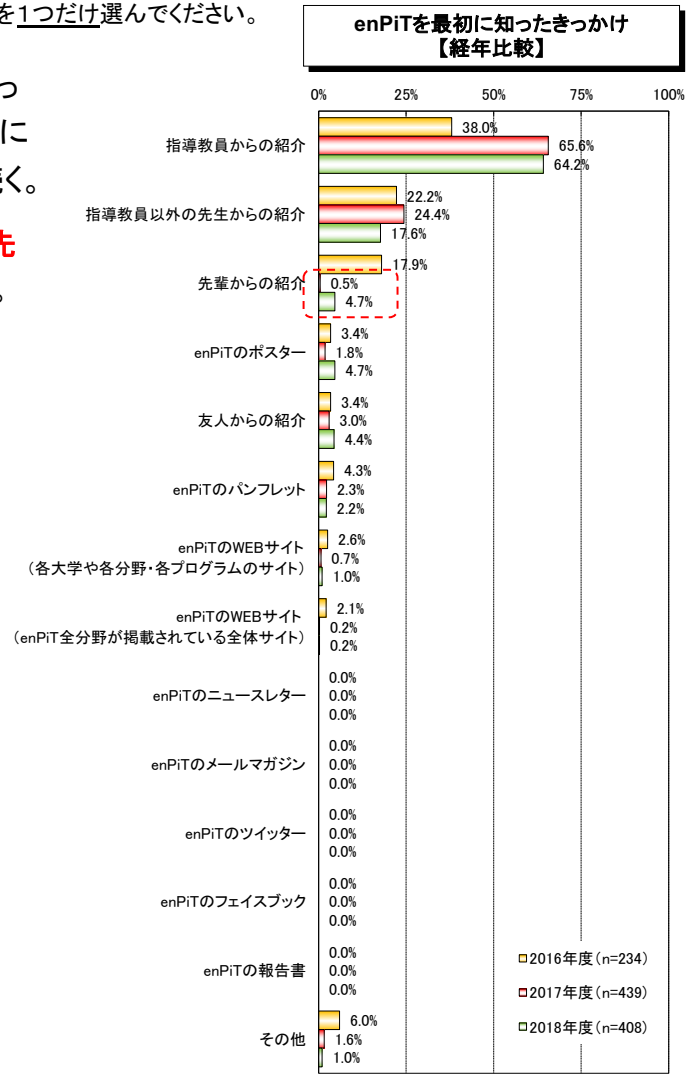
- 他大学の学生との交流を通じて**「セキュリティ」にも色々な分野があるということを実感**しました。私の大学は比較的ネットワークセキュリティに強く、そのような**得意分野を伸ばしていけば強みになると分かった**ことが良かったです。
- 成果発表で、**他者から意見を貰える**こと。
- 他大学との交流を通して、**自分のレベルを客観的に評価する**きっかけになった。
- 他大学の学生とチームを組むことになるので、**違った視点での考え方に触れることができ、考え方の幅が広がった**点。
- 他の大学生との交流がとても魅力に感じた。普段の学習、研究では他大学の学生がどんなことをやっているかなどを知ることは出来なかった。しかし、enPiTの講義ではそれを知ることができ、**自分のモチベーションの向上**に繋がった。また、講義自体も実践的で今後、役立つ情報が多いと感じた。
- プロジェクトの開始から完成までの一連の流れを他学部、他大学の生徒と様々な視点で意見交換し、**自分が知らない視点を知ることが出来た**ことはとても有意義でした。
- 他大学の人と一緒に考えるので、**自分とは違った意見を聞くことができ**、とてもよかった。特に文系の人の意見は理系の自分とは全く異なり面白かった。
- 受講して特に良かった点は**自信がついた**ことです。文系の大学に進学してからIT系の仕事に興味を持ったため、情報系の大学とは渡り合えないのではないかと不安に思っていました。しかし、大学の先生の支援をいただきながらアプリケーションをチームで作ることができました。チームで開発したことは今までありませんでしたが、成功経験を得ることができました。
- 課題が設定されているので、**課題達成の方法等をメンバーと話し合うことで一体感が生まれ、達成に向けてのモチベーションが維持できた**。また、課題にも方法にも幅があるので、様々な意見や方法を試すことができたので楽しく学習できた。

enPiTを最初に知ったきっかけ

【問6】あなたは、enPiTプログラムをどのようなきっかけで知りましたか。最初に知ったきっかけを1つだけ選んでください。

- enPiTプログラムを受講した学生に対して、enPiTを最初に知ったきっかけを尋ねたところ、「指導教員からの紹介」という回答が他の項目に比べ圧倒的に高い。次いで「指導教員以外の先生からの紹介」が続く。
- 学部生・高専生を対象として初めて実施した2017年度に比べて、**「先輩からの紹介」やポスターなどの回答が増えている点も注目される。**



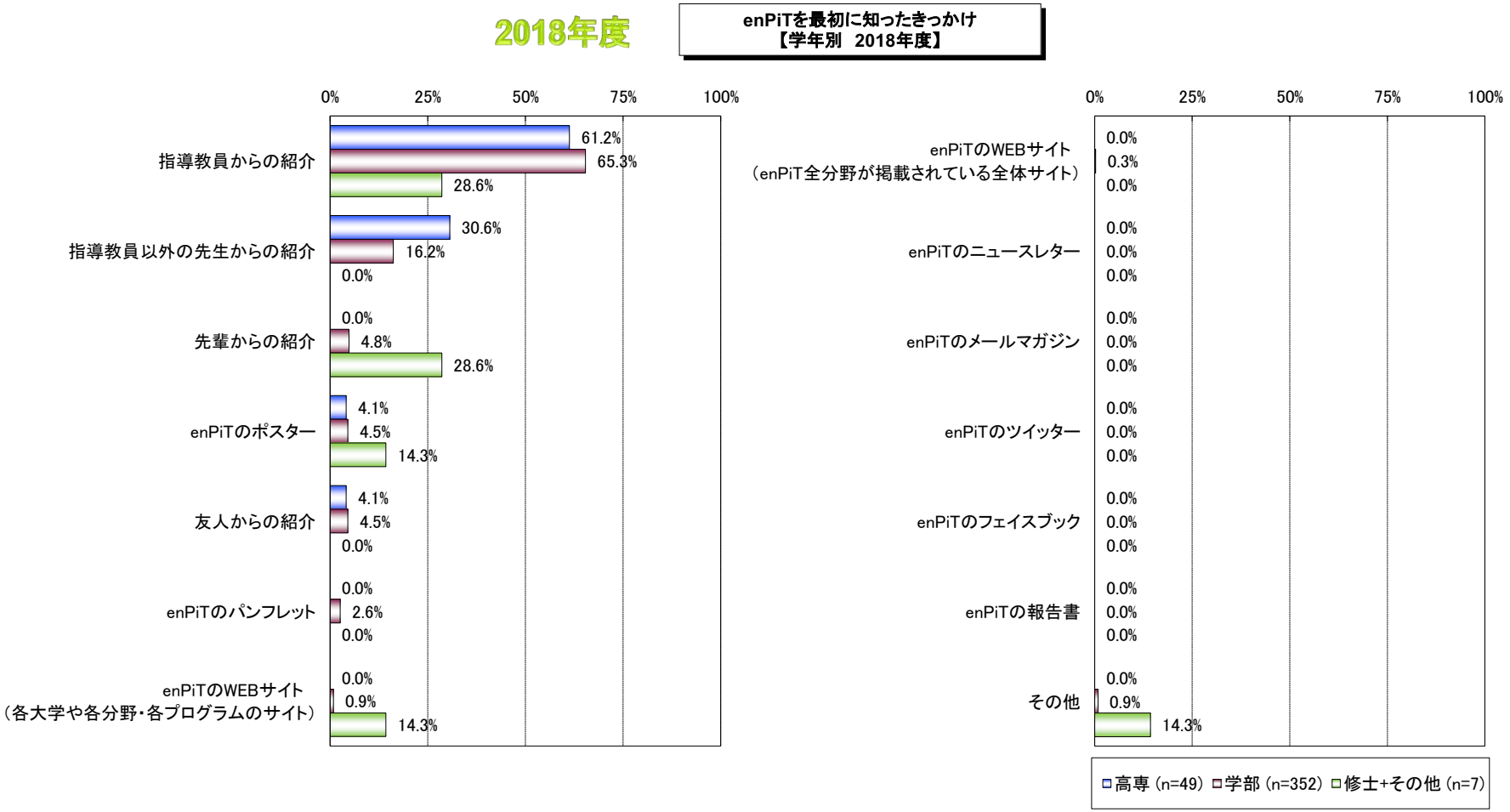


※2016年度は大学院生を対象に実施。

enPiTを最初に知ったきっかけ（2018年度：学年別）

【問6】あなたは、enPiTプログラムをどのようなきっかけで知りましたか。最初に知ったきっかけを1つだけ選んでください。

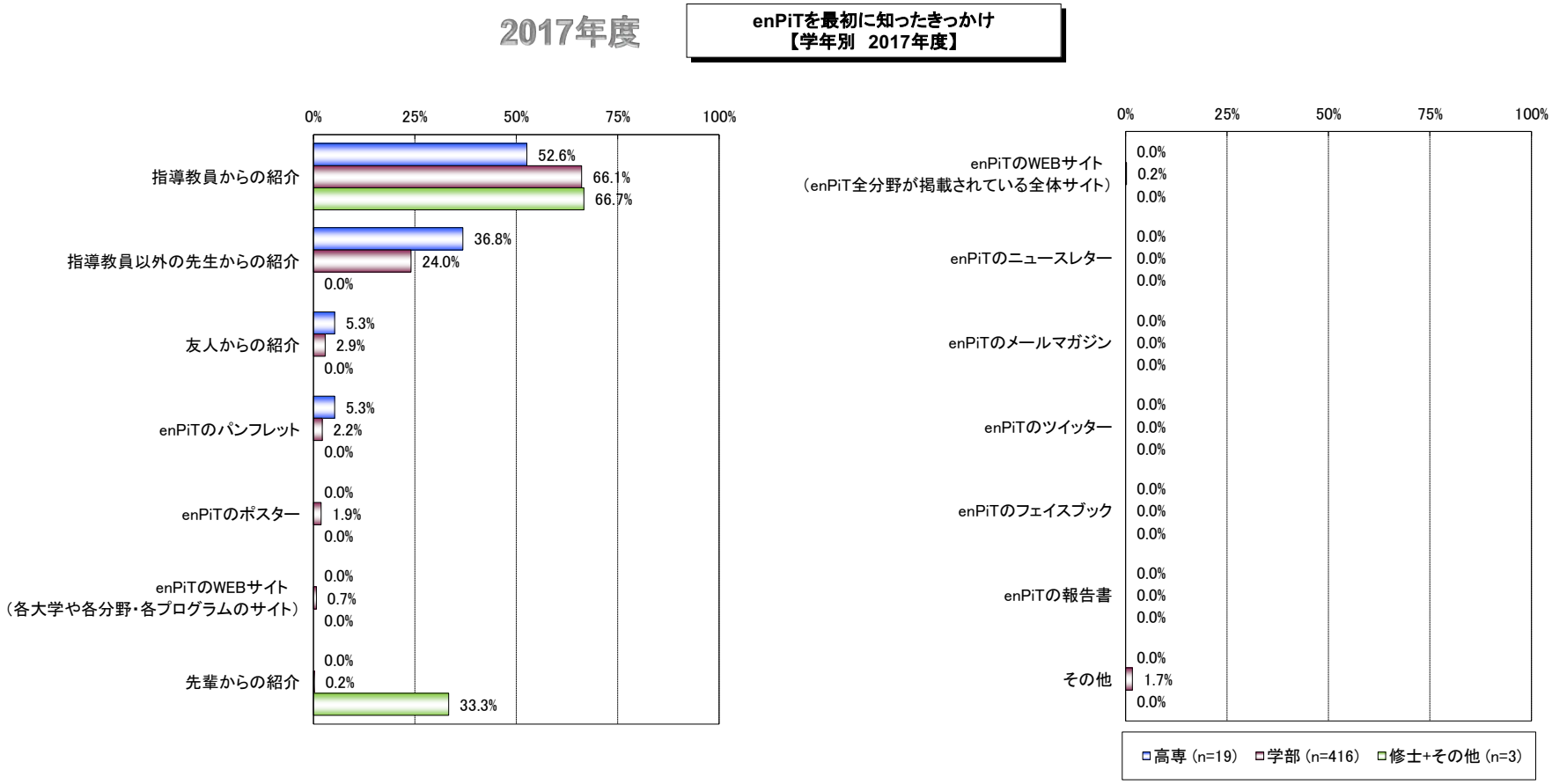
2018年度



enPiTを最初に知ったきっかけ（2017年度：学年別）

【問6】あなたは、enPiTプログラムをどのようなきっかけで知りましたか。最初に知ったきっかけを1つだけ選んでください。

2017年度

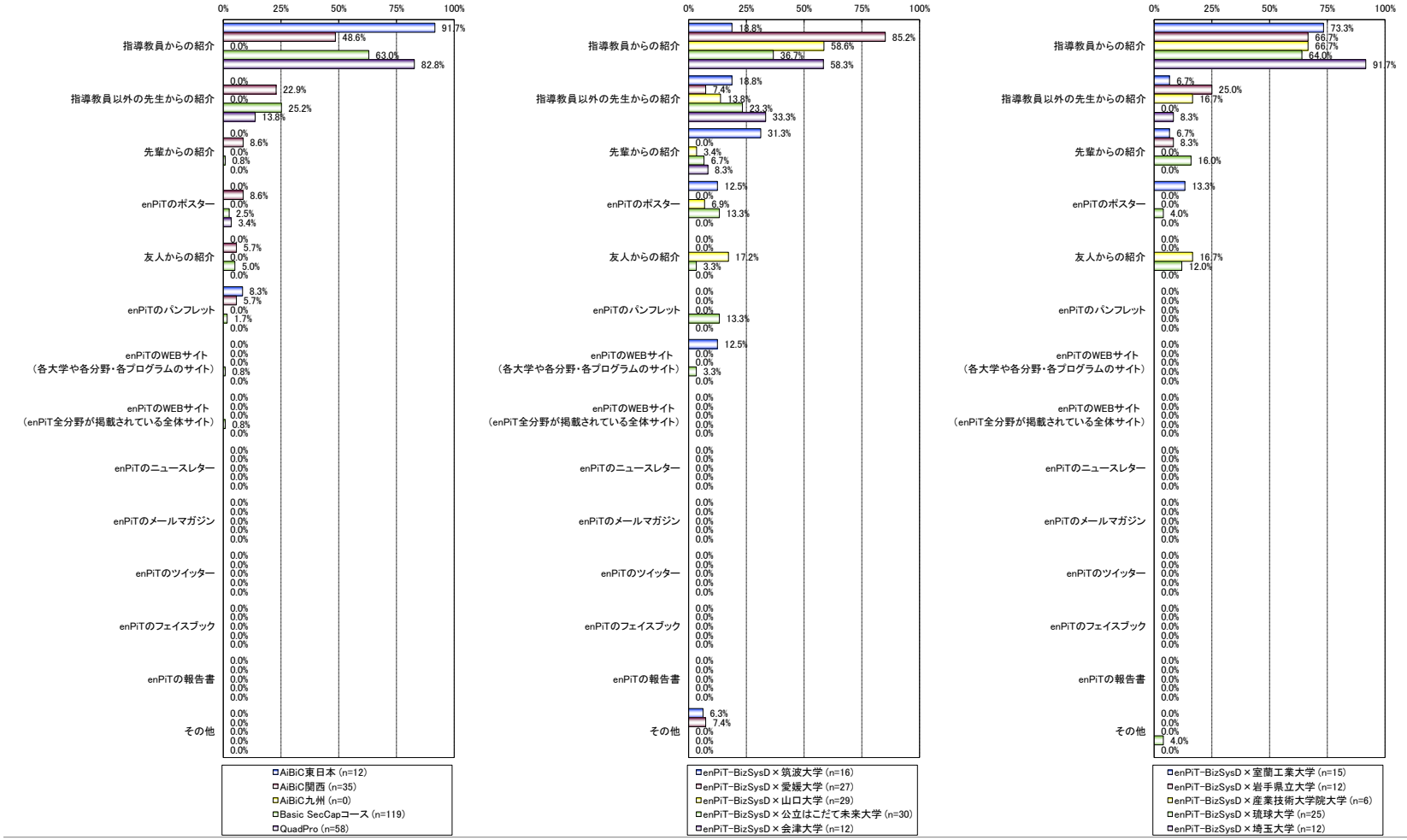


enPiTを最初に知ったきっかけ（2018年度：プログラム別）

【問6】あなたは、enPiTプログラムをどのようなきっかけで知りましたか。最初に知ったきっかけを1つだけ選んでください。

2018年度

enPiTプログラムを最初に知ったきっかけ
【プログラム別　2018年度】

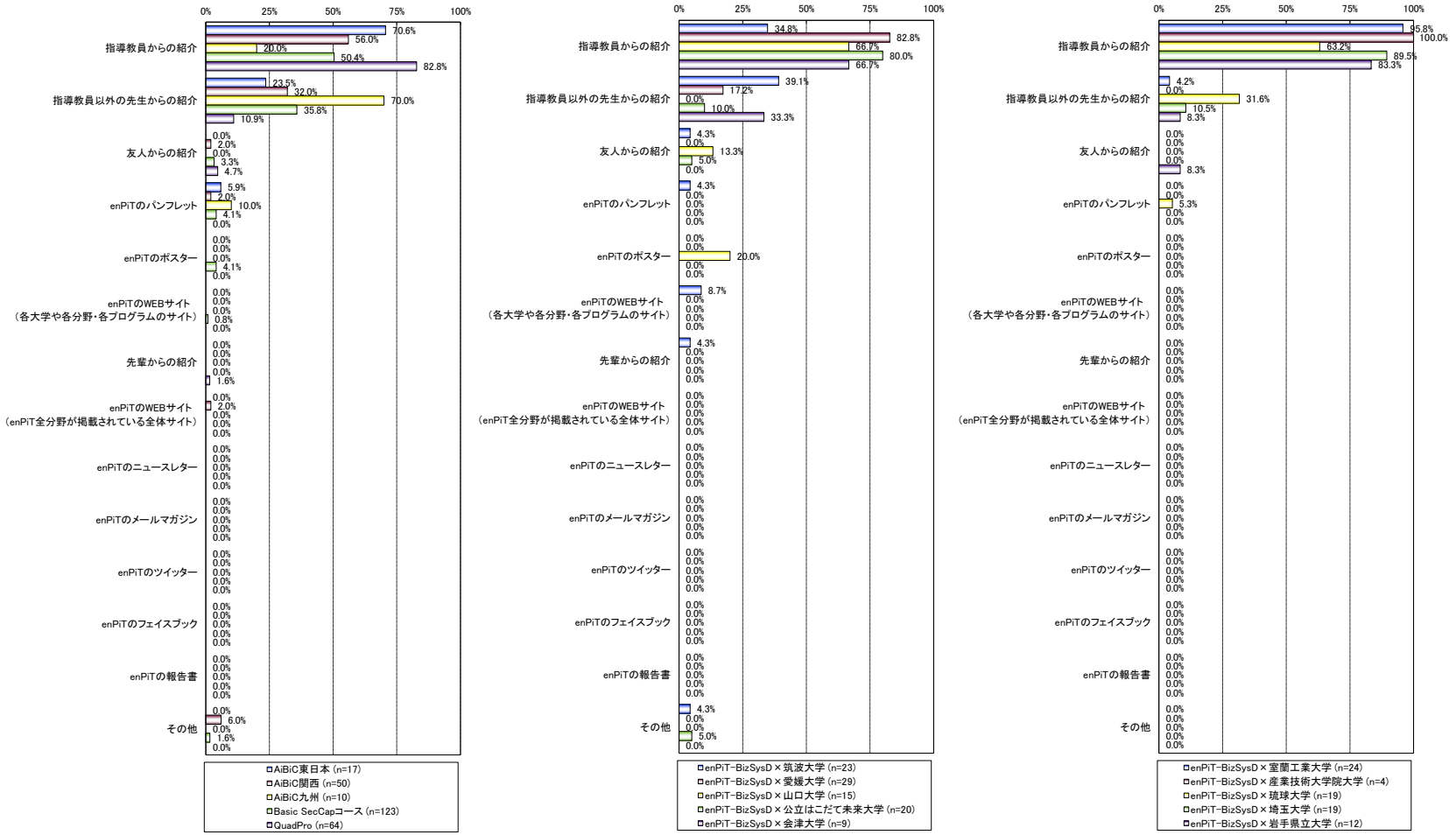


enPiTを最初に知ったきっかけ（2017年度：プログラム別）

【問6】あなたは、enPiTプログラムをどのようなきっかけで知りましたか。最初に知ったきっかけを1つだけ選んでください。

2017年度

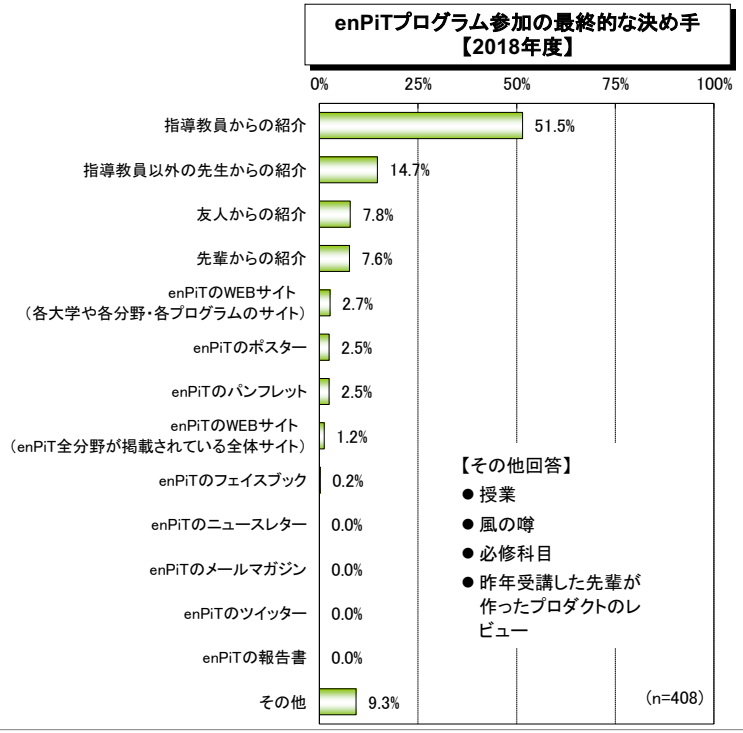
enPiTプログラムを最初に知ったきっかけ【プログラム別　2017年度】

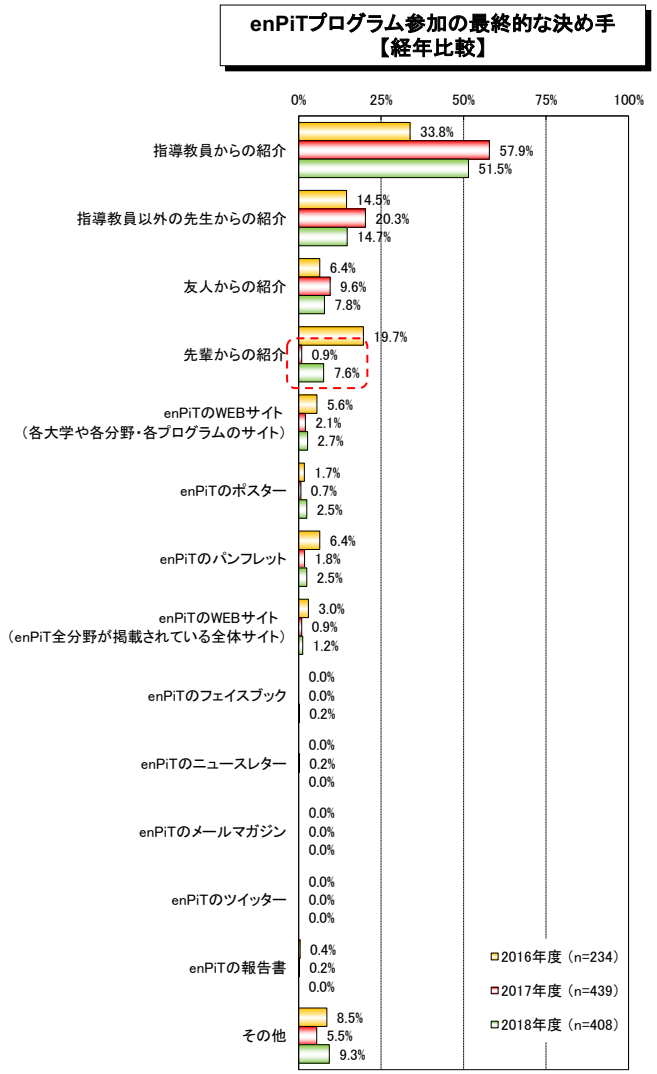


enPiT参加の最終的な決め手

【問7】今年度、あなたがenPiTプログラムの受講を決めた最終的な“決め手”は何ですか。
以下のうち、あなたの最終的な決断を後押ししたものを1つだけ選んでください。

- 2018年度のenPiT受講生に、enPiT受講を決めた最終的な“決め手”について尋ねたところ、「指導教員からの紹介」が最も高く51.5%となった。次いで、「指導教員以外の先生」、「友人」からの紹介が続く。
- 学部生・高専生を対象として初めて実施した2017年度調査に比べて、**「先輩からの紹介」の回答割合が増えている点も注目される**。



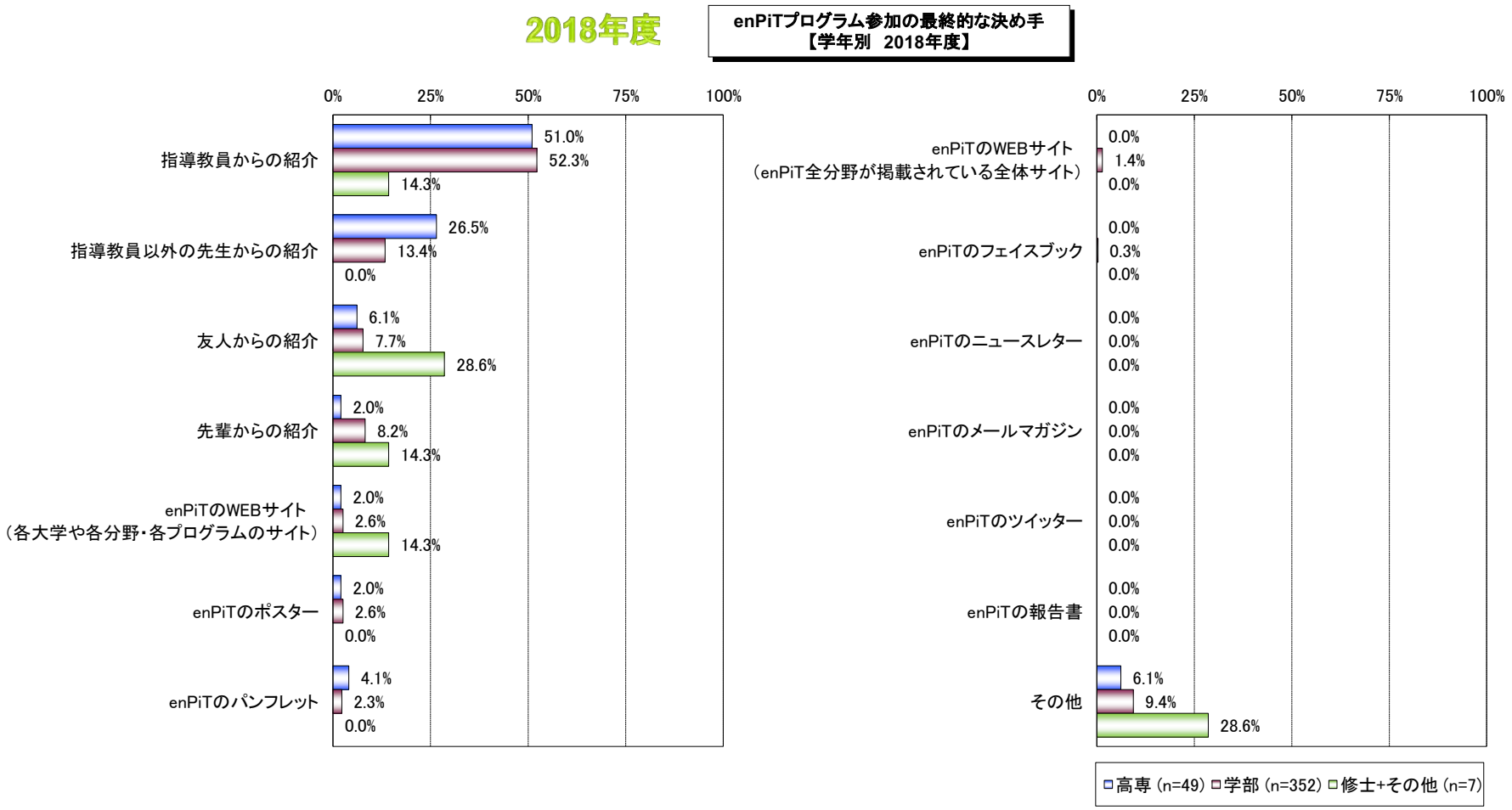


※2016年度は大学院生を対象に実施。

enPiT参加の最終的な決め手（2018年度：学年別）

【問7】今年度、あなたがenPiTプログラムの受講を決めた最終的な“決め手”は何ですか。
以下のうち、あなたの最終的な決断を後押ししたものを1つだけ選んでください。

2018年度

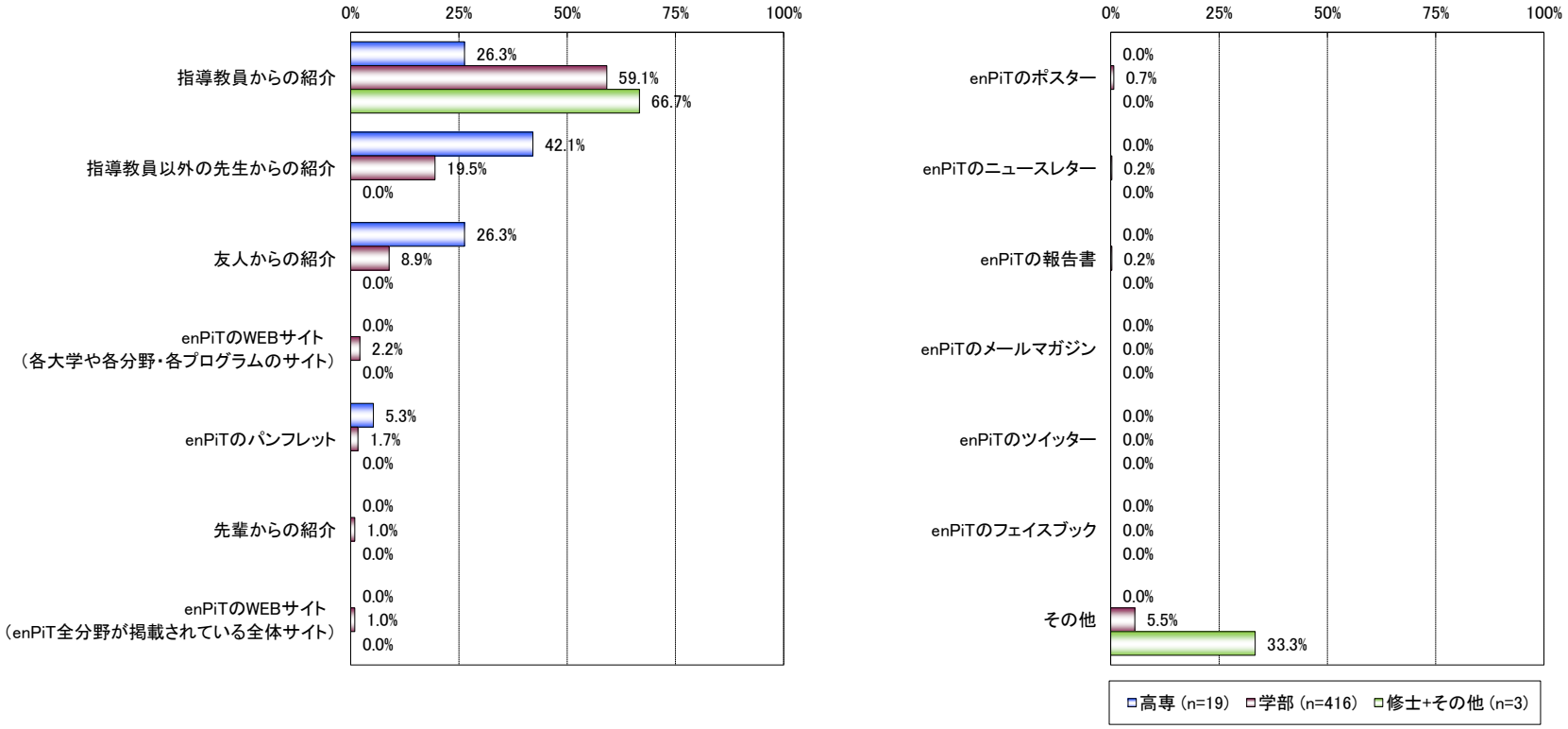


enPiT参加の最終的な決め手（2017年度：学年別）

【問7】今年度、あなたがenPiTプログラムの受講を決めた最終的な“決め手”は何ですか。
以下のうち、あなたの最終的な決断を後押ししたものを1つだけ選んでください。

2017年度

enPiTプログラム参加の最終的な決め手
【学年別 2017年度】

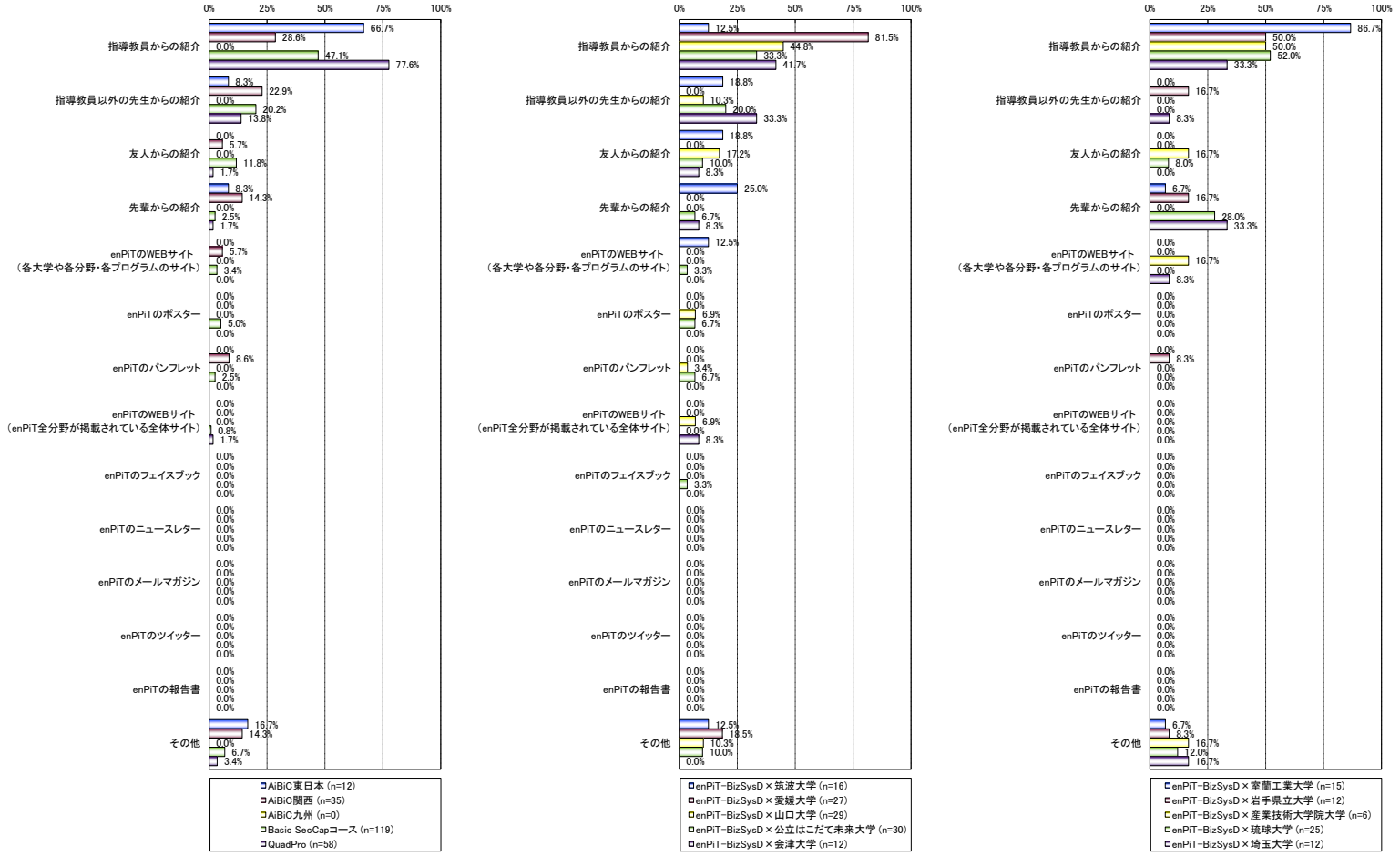


enPiT参加の最終的な決め手（2018年度：プログラム別）

【問7】今年度、あなたがenPiTプログラムの受講を決めた最終的な“決め手”は何ですか。以下のうち、あなたの最終的な決断を後押ししたものを1つだけ選んでください。

2018年度

enPiTプログラム参加の最終的な決め手【プログラム別 2018年度】

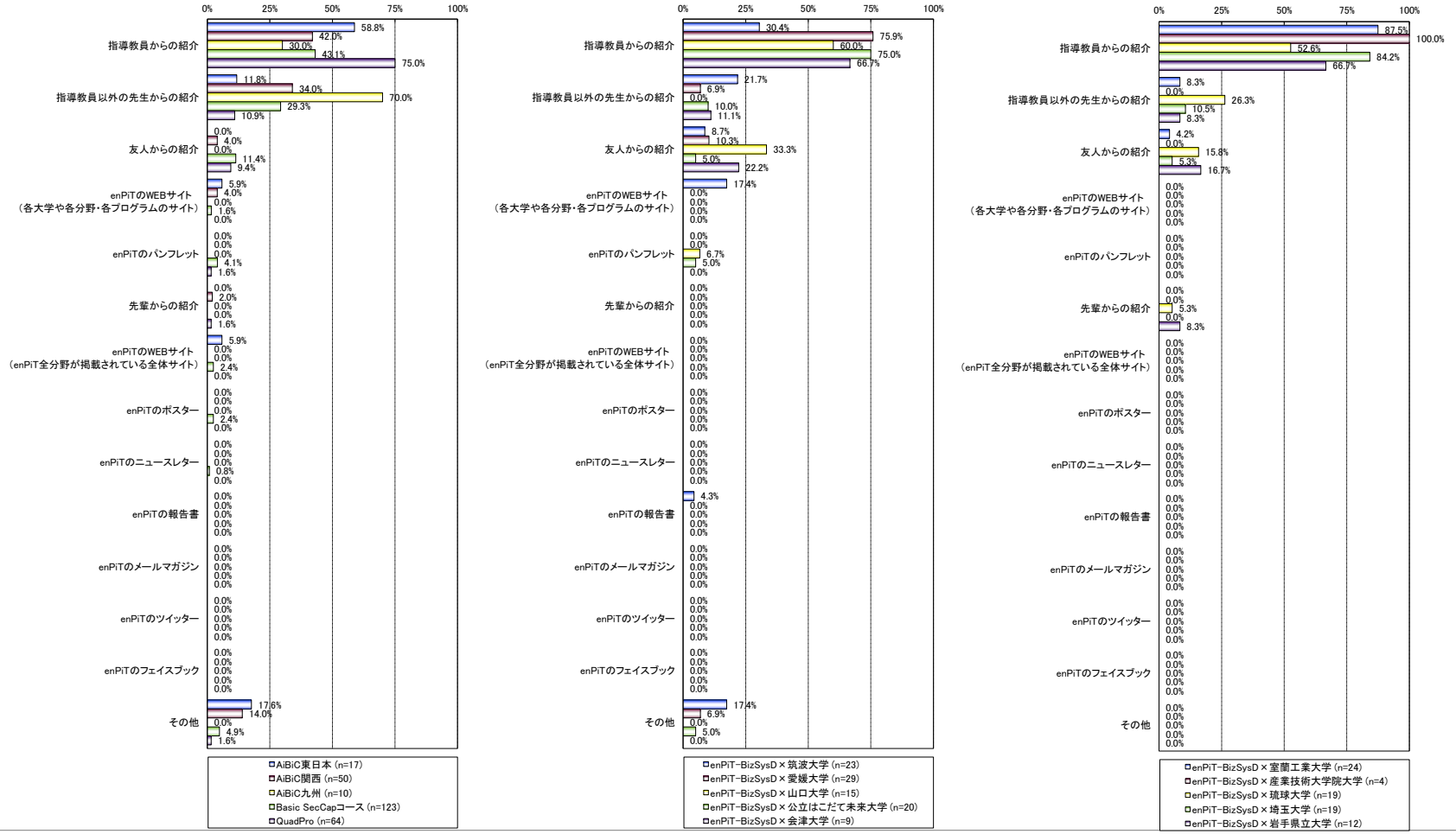


enPiT参加の最終的な決め手（2017年度：プログラム別）

【問7】今年度、あなたがenPiTプログラムの受講を決めた最終的な“決め手”は何ですか。以下のうち、あなたの最終的な決断を後押ししたものを1つだけ選んでください。

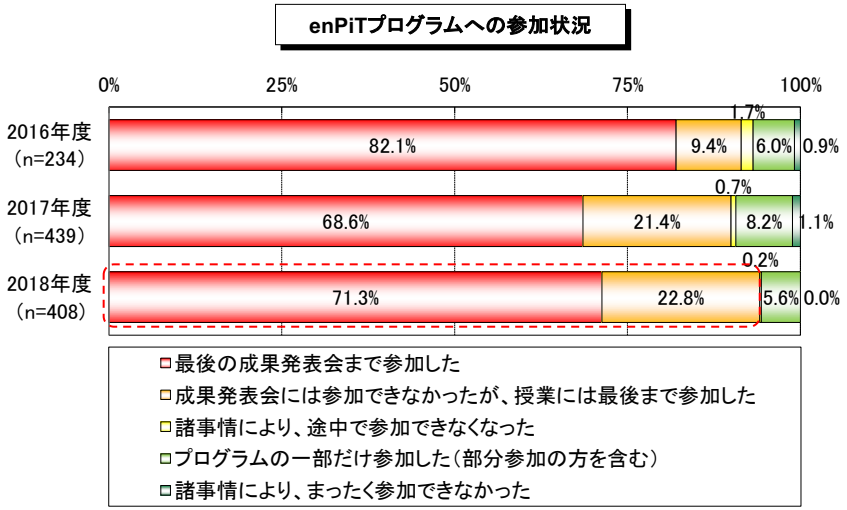
2017年度

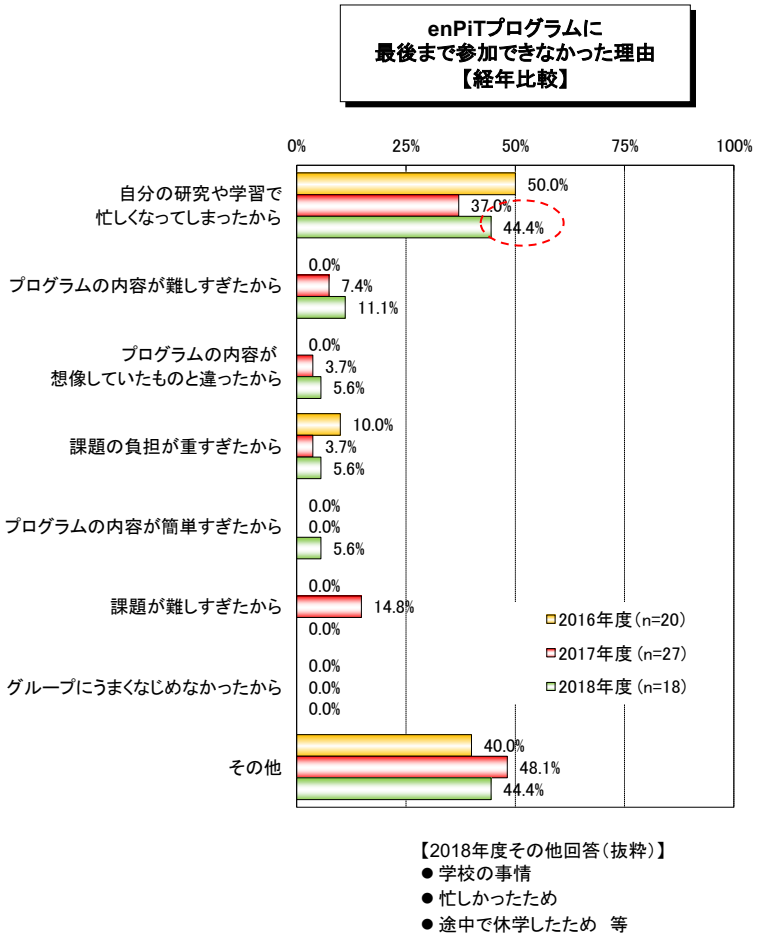
enPiTプログラム参加の最終的な決め手
【プログラム別 2017年度】



enPiTへの参加状況／最後まで参加できなかった理由

【問8】あなたは、今年度のenPiTプログラムにどの程度参加しましたか。
【問9】（前問で最後まで参加できなかったと答えた方のみ）もしよろしければ、最後まで参加できなかった理由や事情についてお聞かせください。





【2018年度その他回答（抜粋）】
- 学校の事情
- 忙しかったため
- 途中で休学したため　等

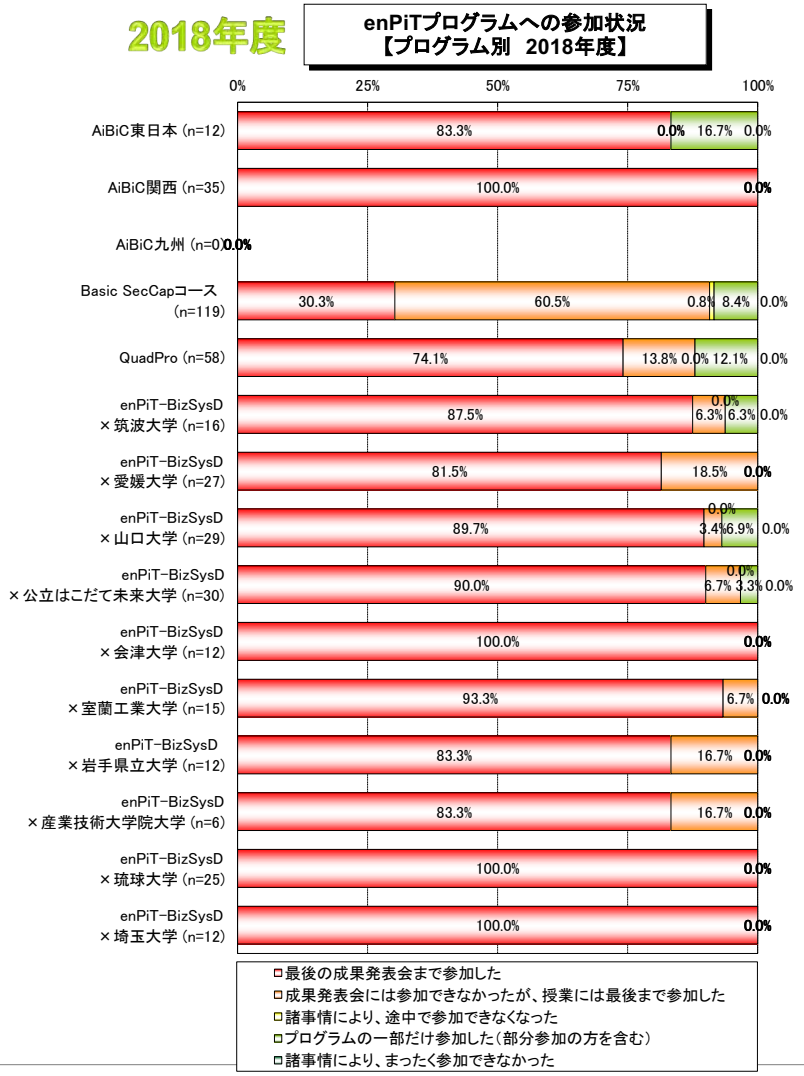
- 2018年度の調査では、**9割を超える受講者が最後まで参加**したと回答。一昨年度、昨年度と比較すると、最後まで参加した受講者の割合が最も高くなっている。
- 最後まで参加できなかったと回答した学生に対して、その理由を尋ねたところ、**「自分の研究や学習で忙しくなってしまったから」と回答した割合が最も多く**、昨年度、一昨年度と同様の傾向がみられる。

※2016年度は大学院生を対象に実施。

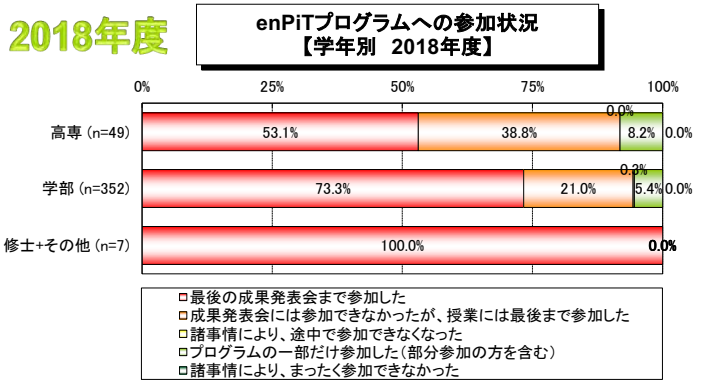
enPiTへの参加状況（2018年度：プログラム別／学年別）

【問8】あなたは、今年度のenPiTプログラムにどの程度参加しましたか。

2018年度



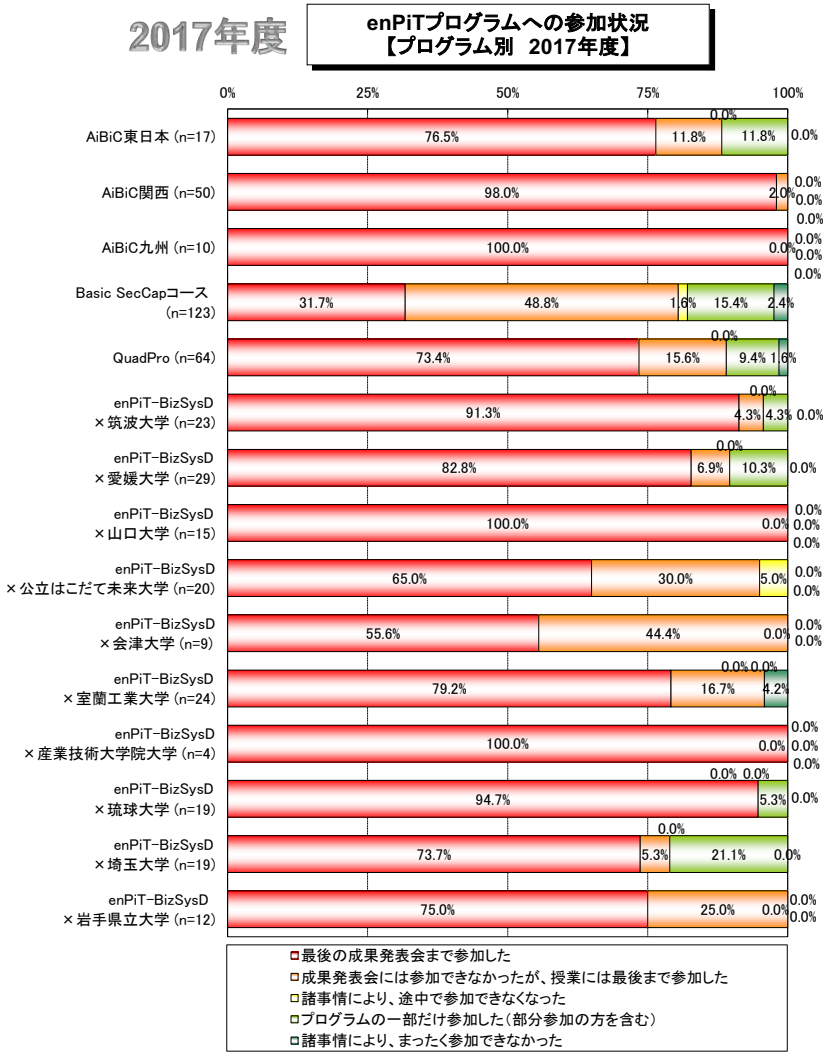
2018年度



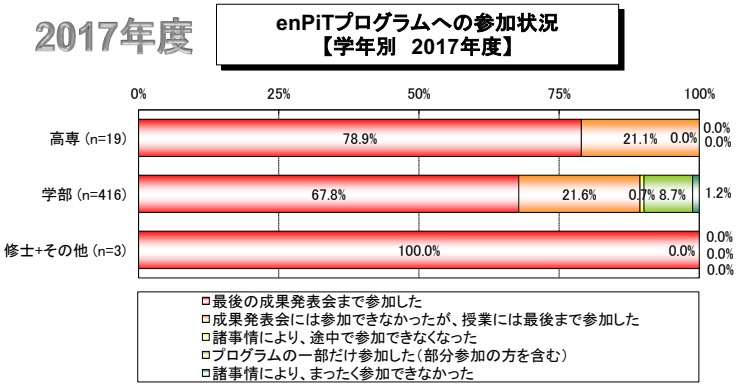
enPiTへの参加状況（2017年度：プログラム別／学年別）

【問8】あなたは、今年度のenPiTプログラムにどの程度参加しましたか。

2017年度



2017年度

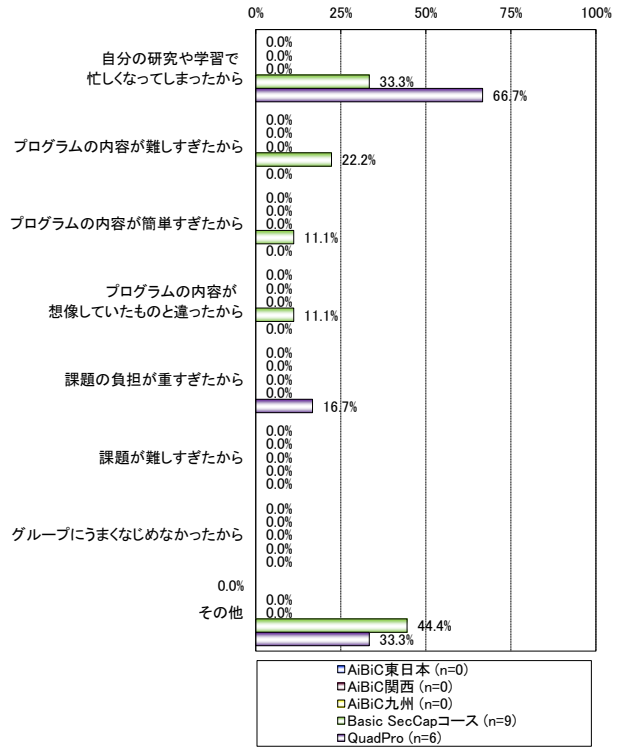


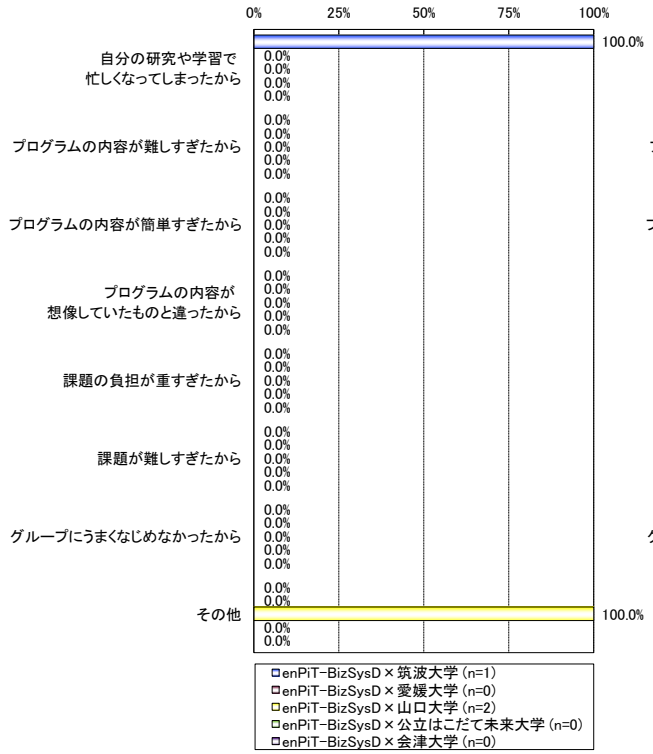
enPiTに最後まで参加できなかった理由（2018年度：プログラム別）

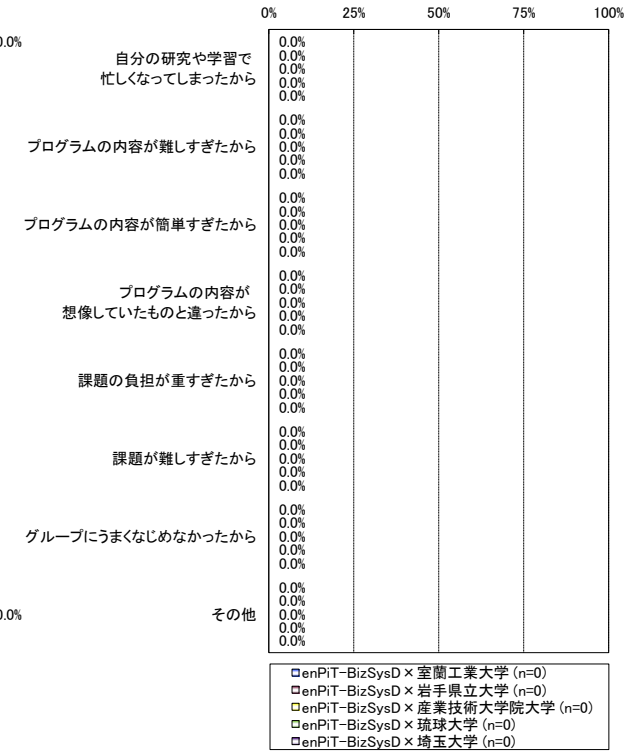
【問9】（前問で最後まで参加できなかったと答えた方のみ）もしよろしければ、最後まで参加できなかった理由や事情についてお聞かせください。

2018年度

**enPiTプログラムに
最後まで参加できなかった理由
【プログラム別　2018年度】**





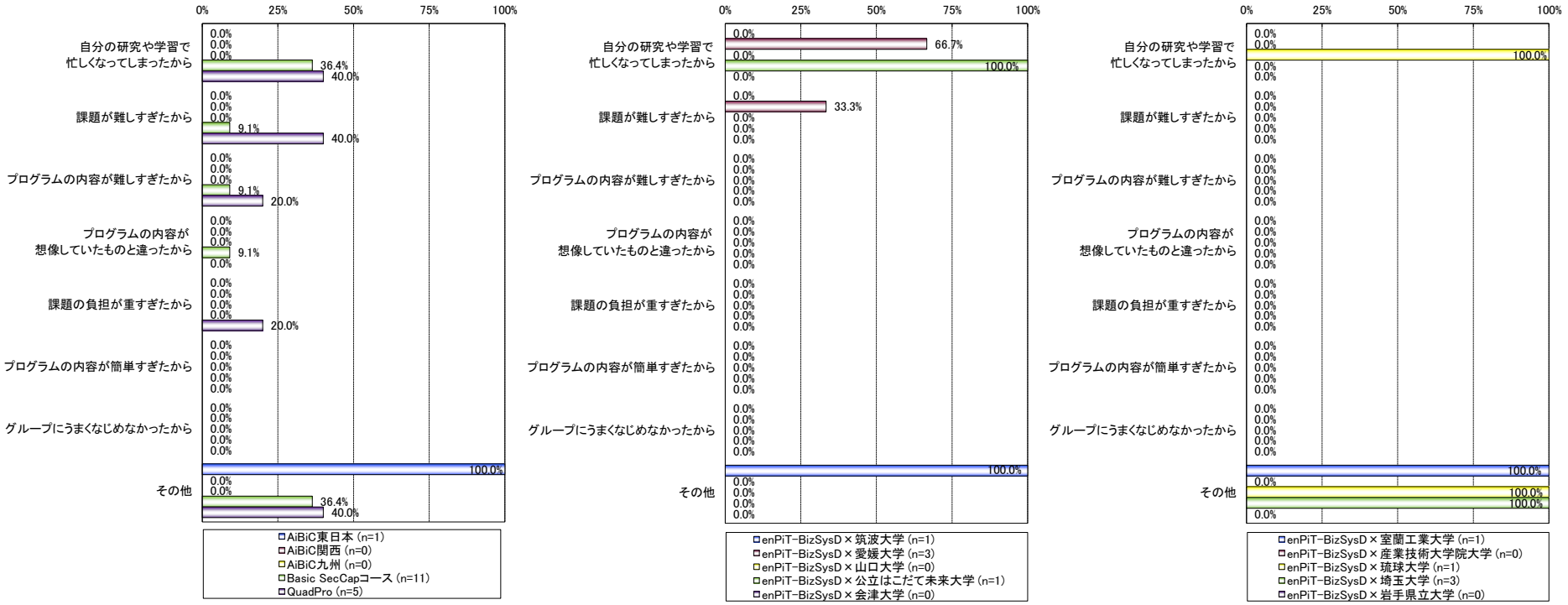


enPiTに最後まで参加できなかった理由（2017年度：プログラム別）

【問9】（前問で最後まで参加できなかったと答えた方のみ）もしよろしければ、最後まで参加できなかった理由や事情についてお聞かせください。

2017年度

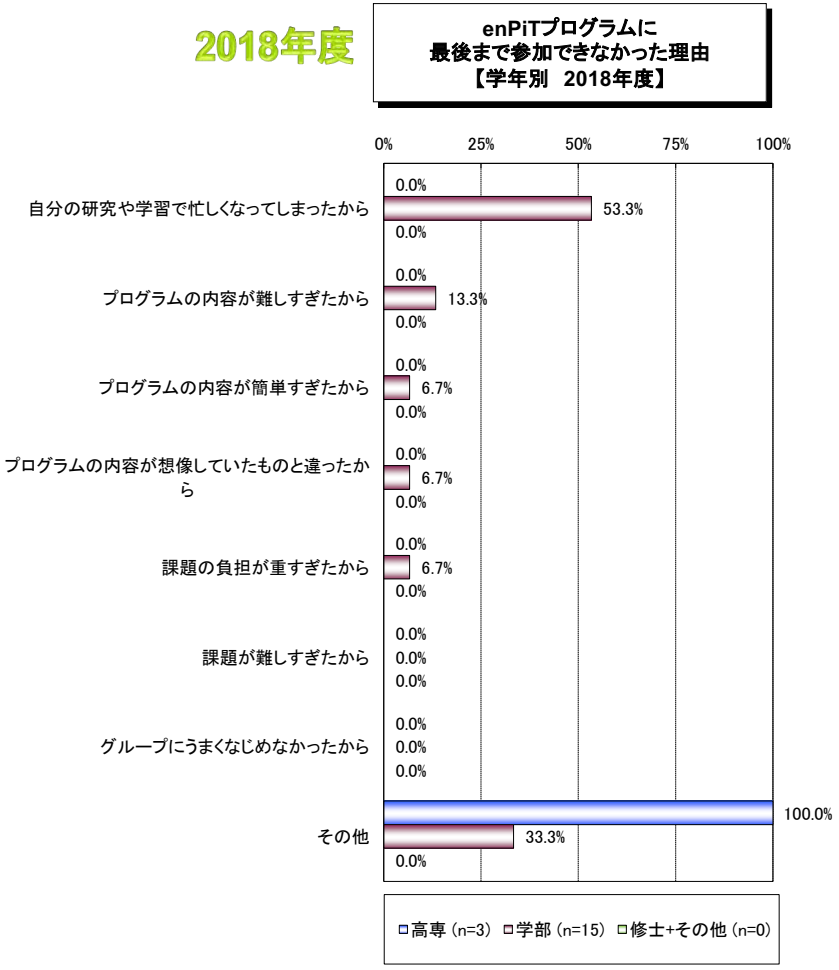
**enPiTプログラムに
最後まで参加できなかった理由
【プログラム別　2017年度】**



enPiTに最後まで参加できなかった理由（2018年度：学年別）

【問9】（前問で最後まで参加できなかったと答えた方のみ）もしよろしければ、最後まで参加できなかった理由や事情についてお聞かせください。

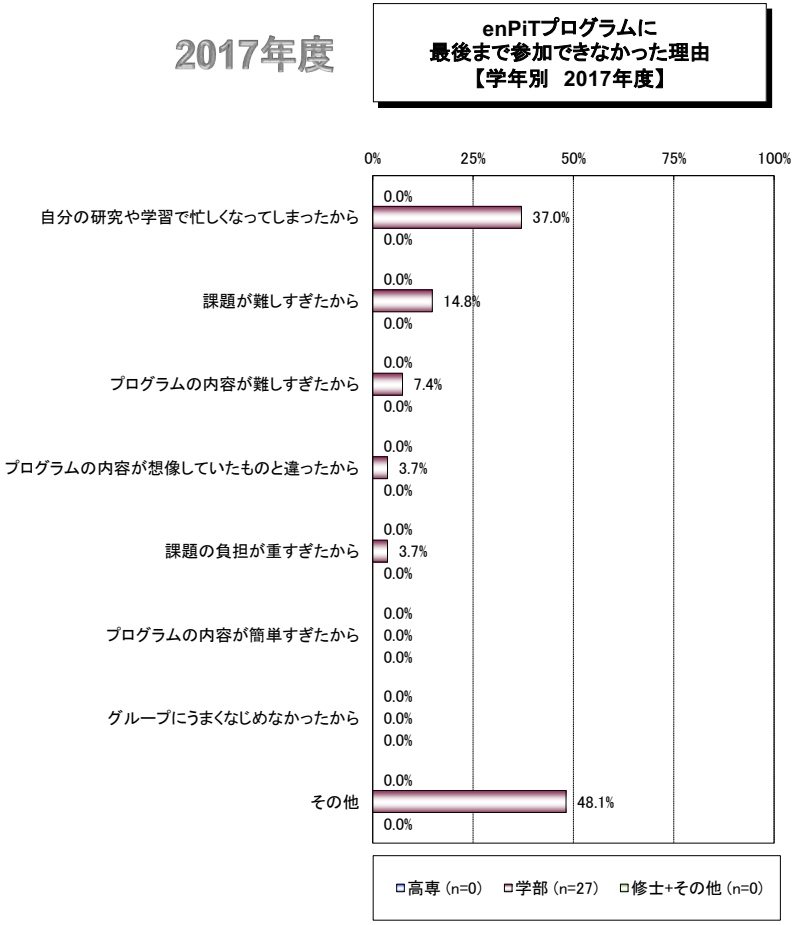
2018年度



enPiTに最後まで参加できなかった理由（2017年度：学年別）

【問9】（前問で最後まで参加できなかったと答えた方のみ）もしよろしければ、最後まで参加できなかった理由や事情についてお聞かせください。

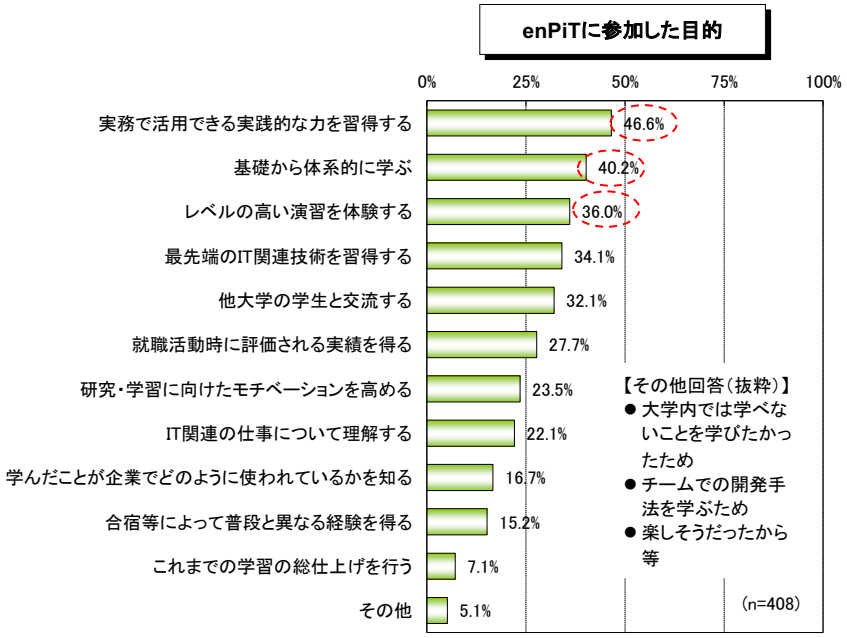
2017年度

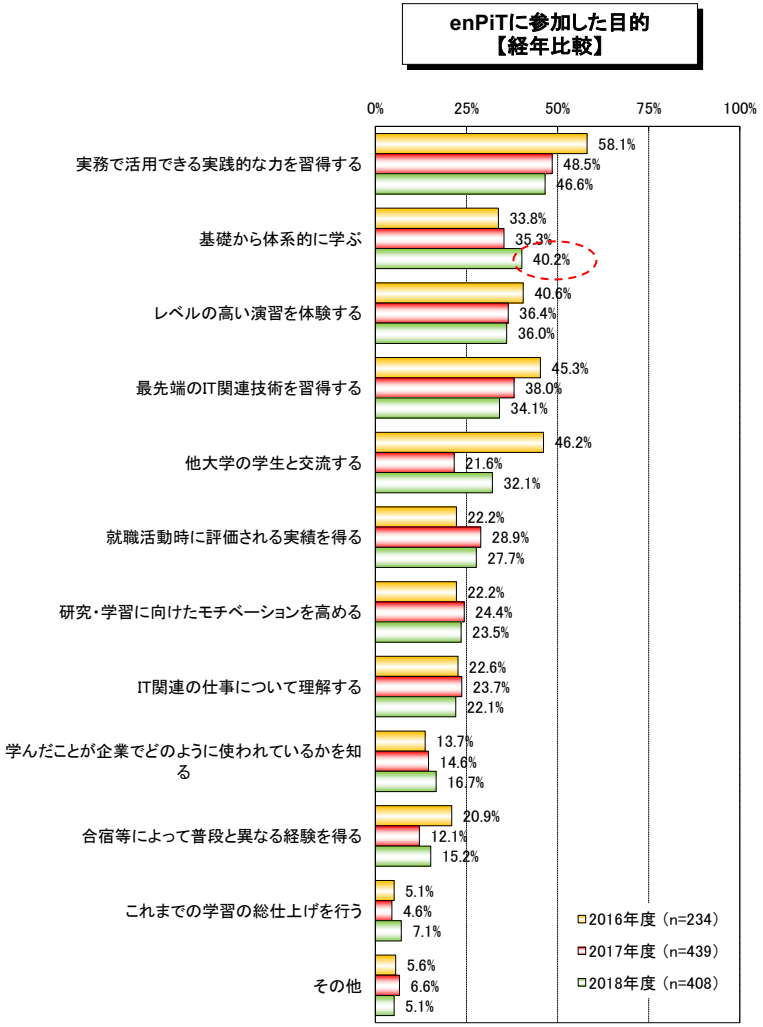


enPiTに参加した目的

【問10】あなたがenPiTプログラムに参加した目的は何ですか。以下のうち、当てはまるものをすべて選んでください。

- enPiTに参加した目的について尋ねた設問では、「実務で活躍できる実践的な力を習得する」、「基礎から体系的に学ぶ」のほか、「レベルの高い演習を体験する等が上位となっており、**学生がenPiTの「実践性」のほか、「基礎から高位レベルまで幅広く学習できること」などに魅力を感じている**ことが読み取れる。
- なお、**「基礎から体系的に学ぶ」**という回答は、2016年度及び2017年度の調査と比べて最多となった。

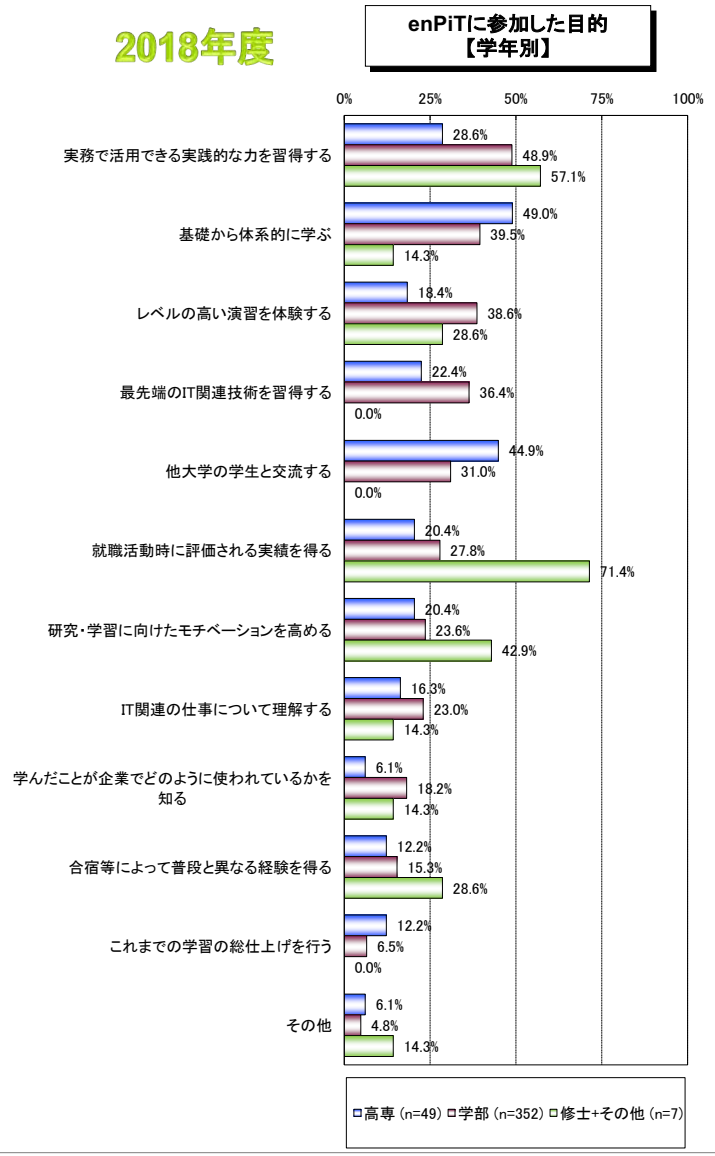




※2016年度は大学院生を対象に実施。

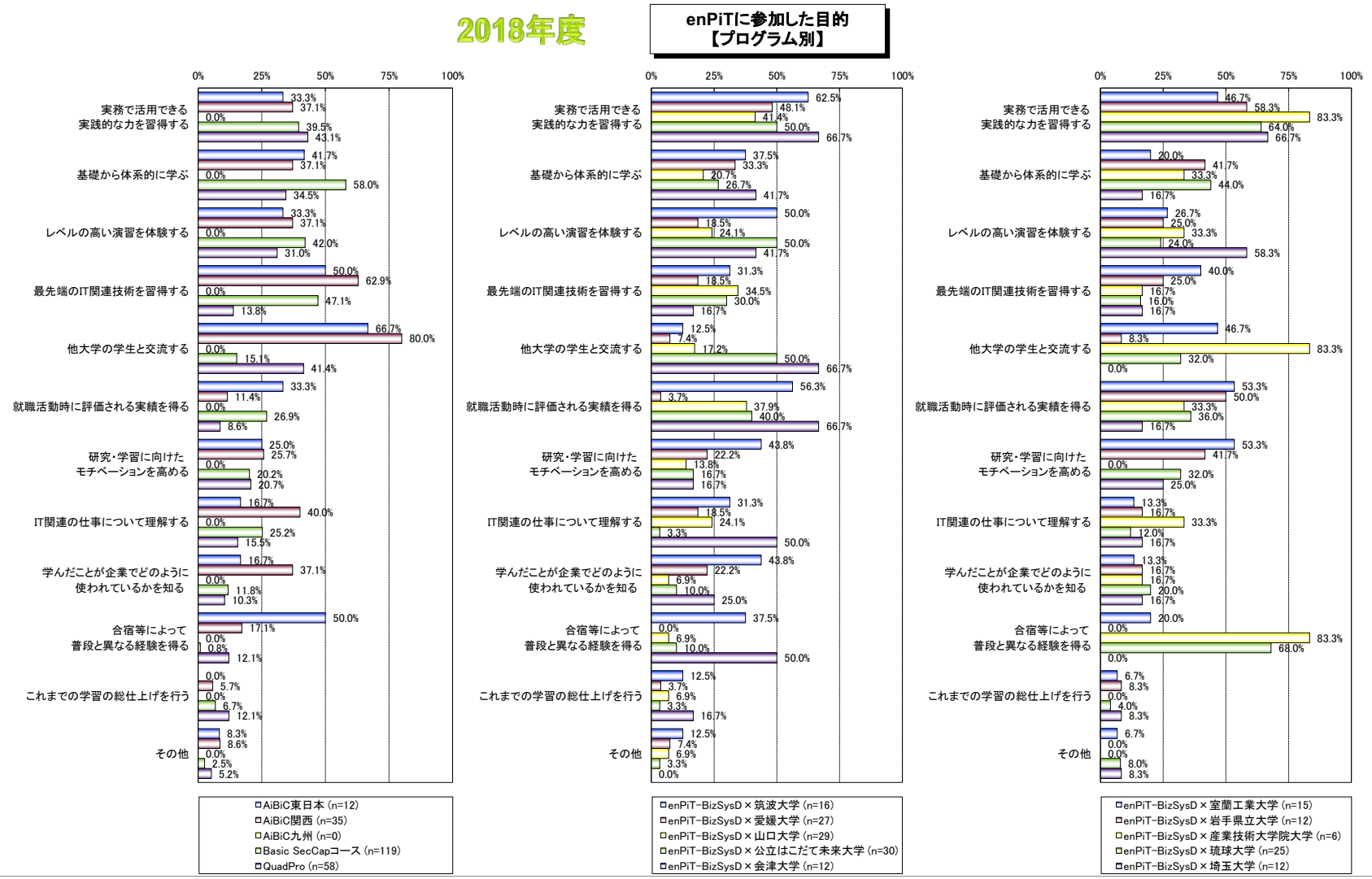
enPiTに参加した目的（2018年度：学年別）

【問10】あなたがenPiTプログラムに参加した目的は何ですか。
以下のうち、当てはまるものをすべて選んでください。



enPiTに参加した目的（2018年度：プログラム別）

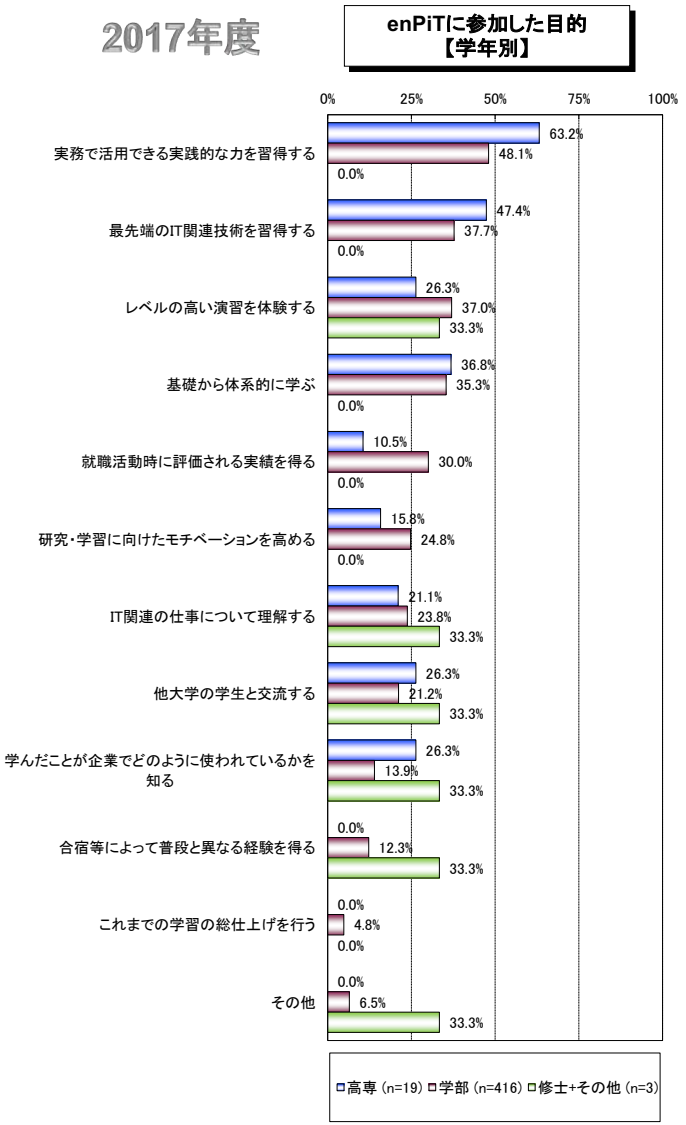
【問10】あなたがenPiTプログラムに参加した目的は何ですか。以下のうち、当てはまるものをすべて選んでください。



enPiTに参加した目的（2017年度：学年別）

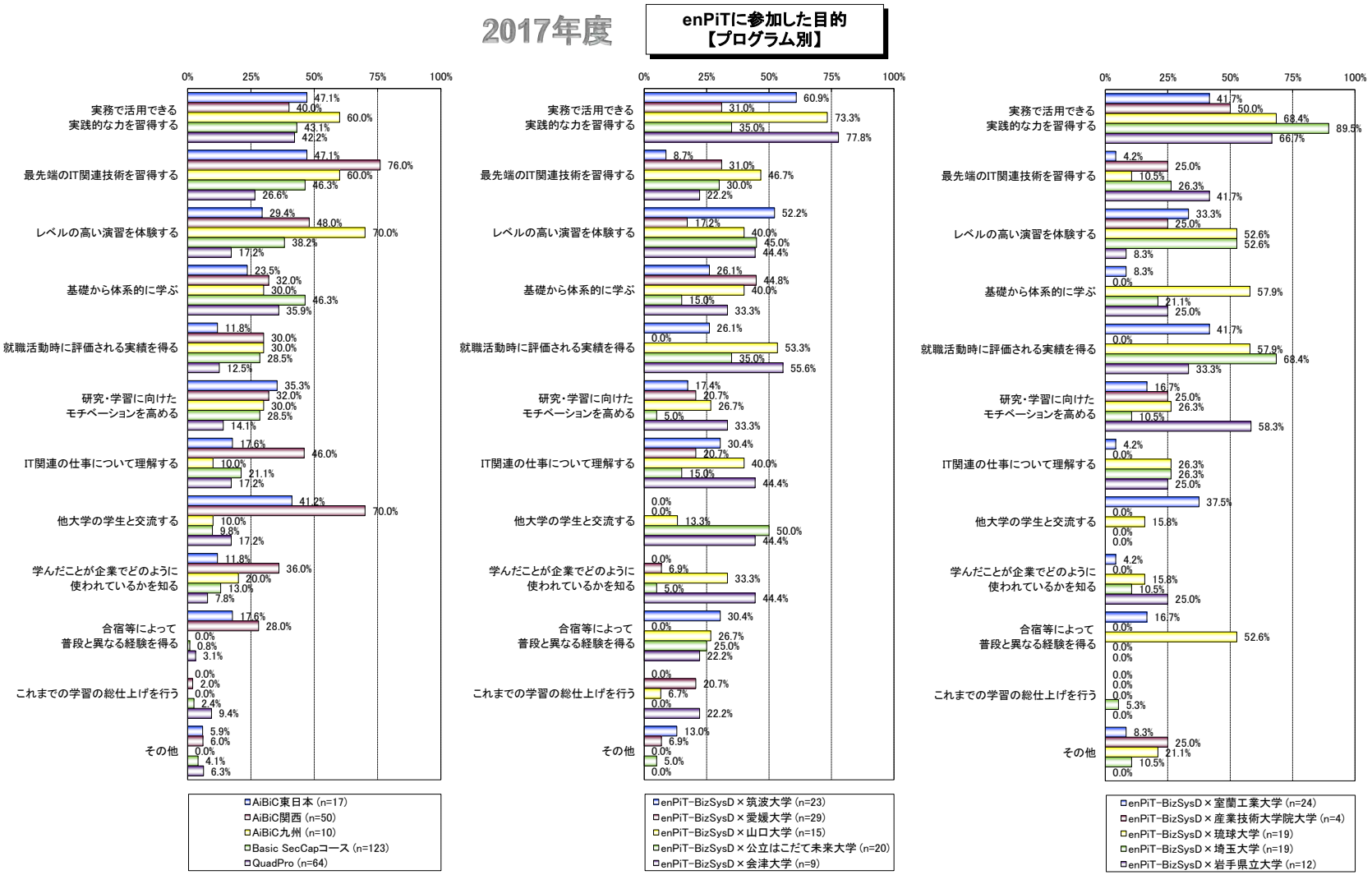
【問10】あなたがenPiTプログラムに参加した目的は何ですか。
以下のうち、当てはまるものをすべて選んでください。

2017年度



enPiTに参加した目的（2017年度：プログラム別）

【問10】あなたがenPiTプログラムに参加した目的は何ですか。以下のうち、当てはまるものをすべて選んでください。

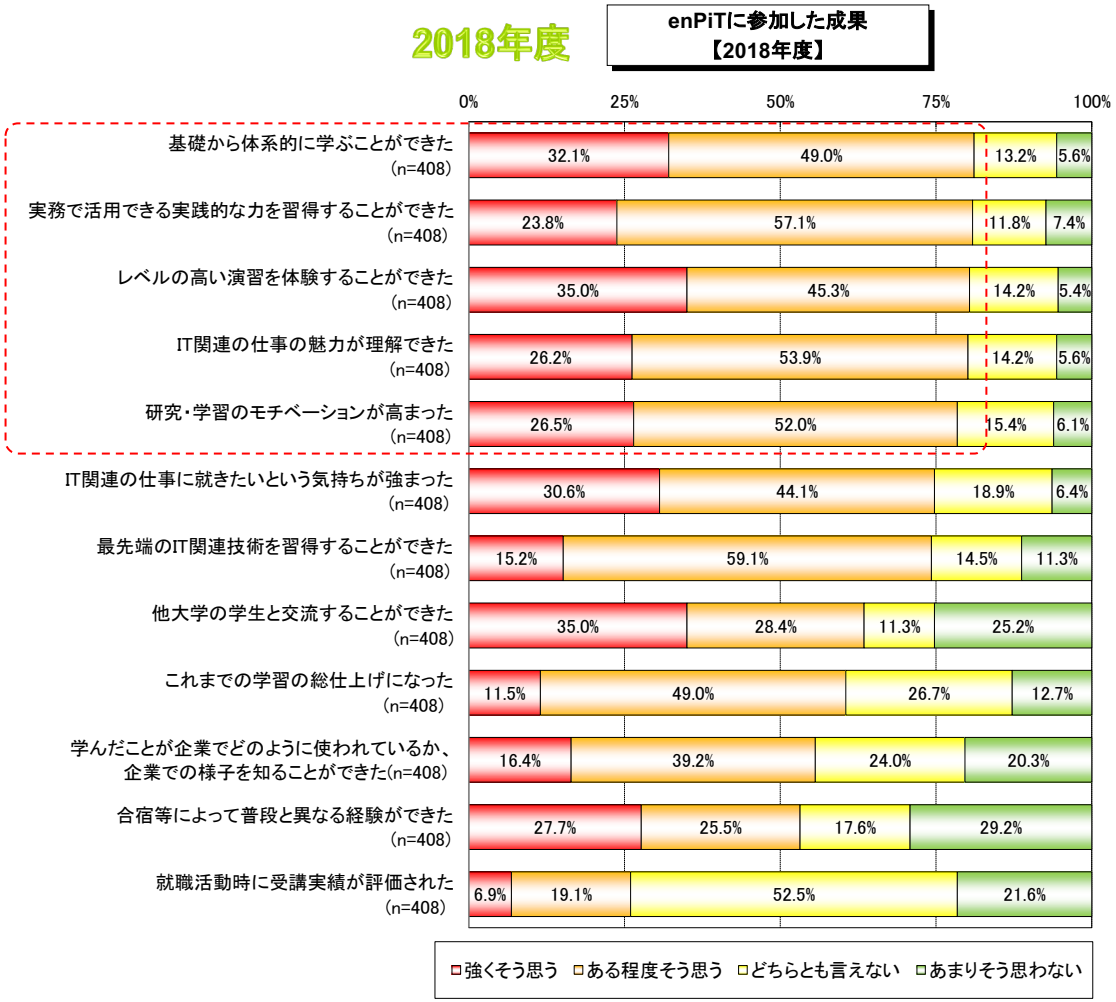


enPiTに参加した成果

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。
以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

- enPiTに参加した成果を尋ねた設問では、**「基礎から体系的に学ぶことができた」、「実務で活用できる実践的な力を習得することができた」、「レベルの高い演習を体験することができた」、「IT関連の仕事の魅力が理解できた」、「研究・学習のモチベーションが高まった」**などについて、「強くそう思う」または「ある程度そう思う」と回答した割合は8割前後となった。
- 特に、**「基礎から体系的に学ぶことができた」**については、**「強くそう思う」という回答の割合が、昨年度から1割近く増えている**点が注目される。
- また、**「IT関連の仕事に就きたいという気持ちが強まった」、「最先端のIT関連技術を習得することができた」**については、次頁の2017年度調査と比較すると、回答割合が多くなっている点が注目される。

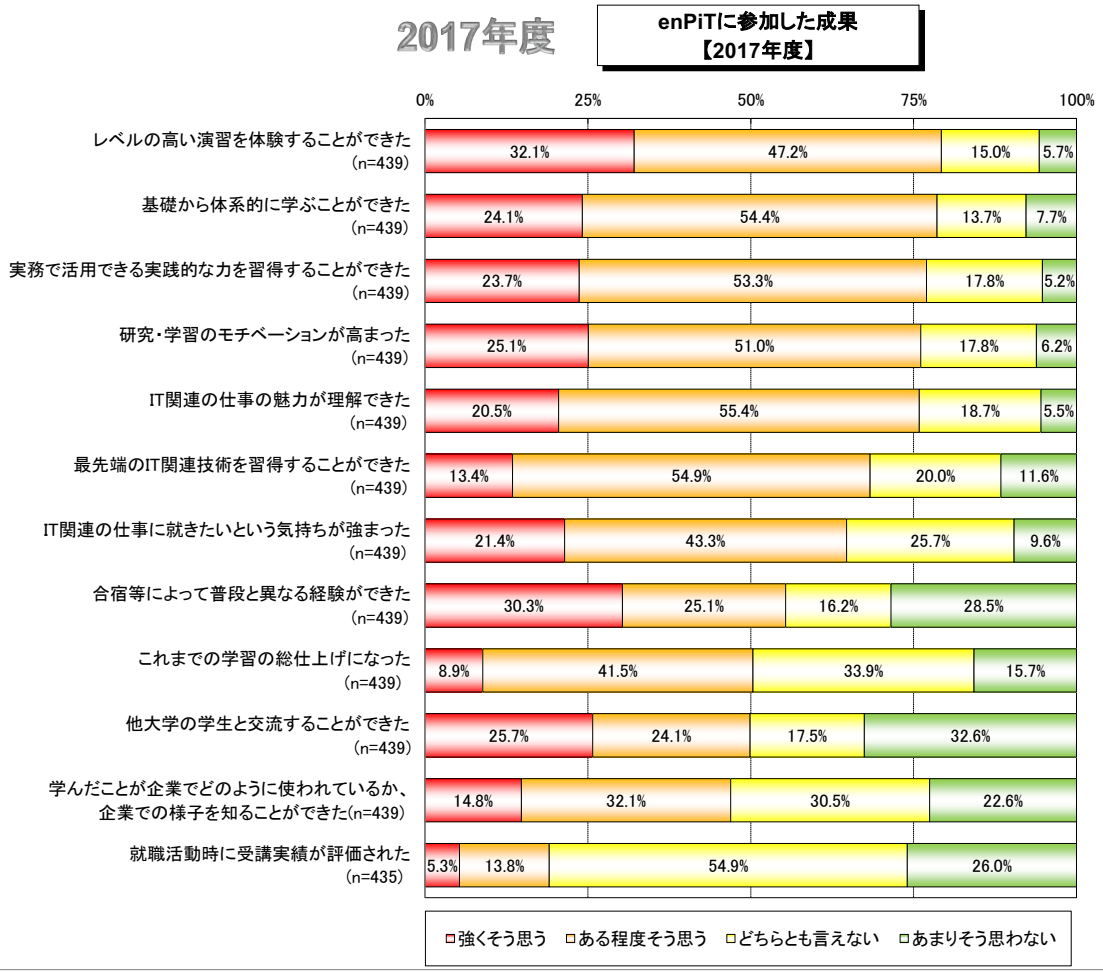
2018年度



enPiTに参加した成果（2017年度）

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。
以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

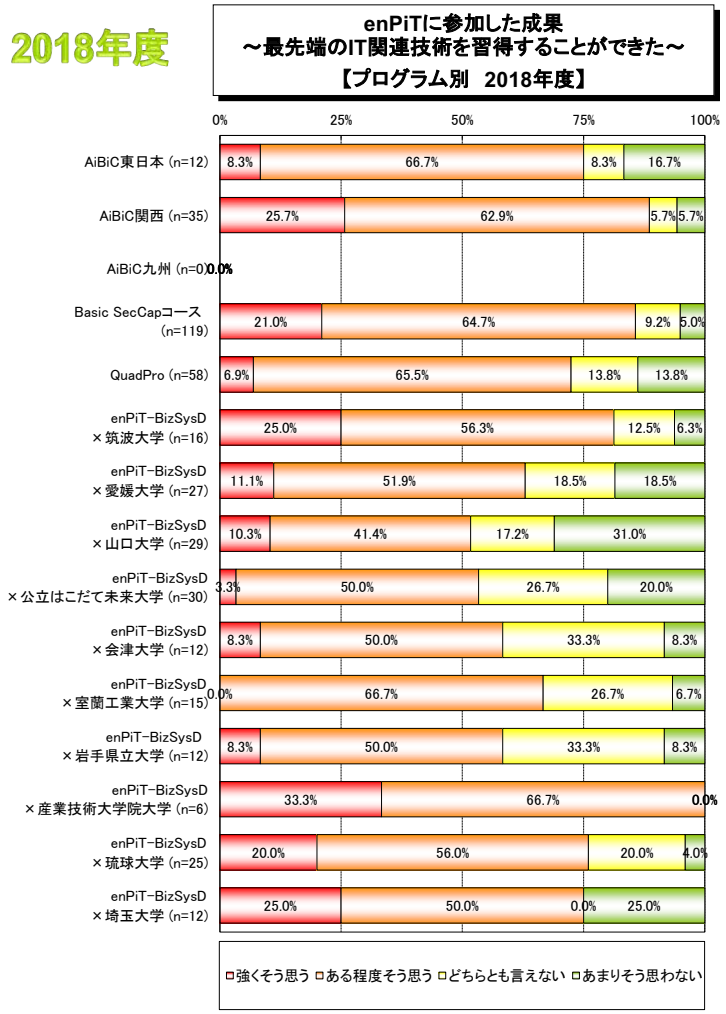
2017年度



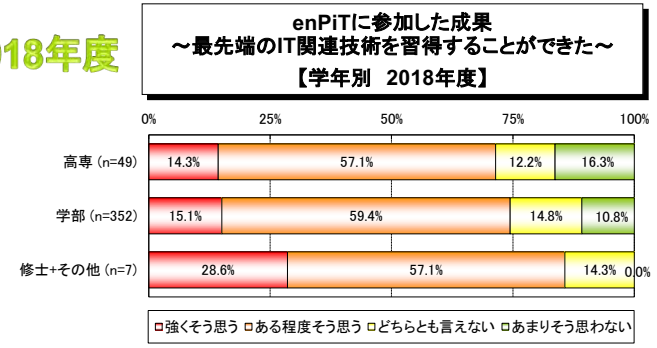
enPiTに参加した成果（2018年度：プログラム別／学年別）①

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



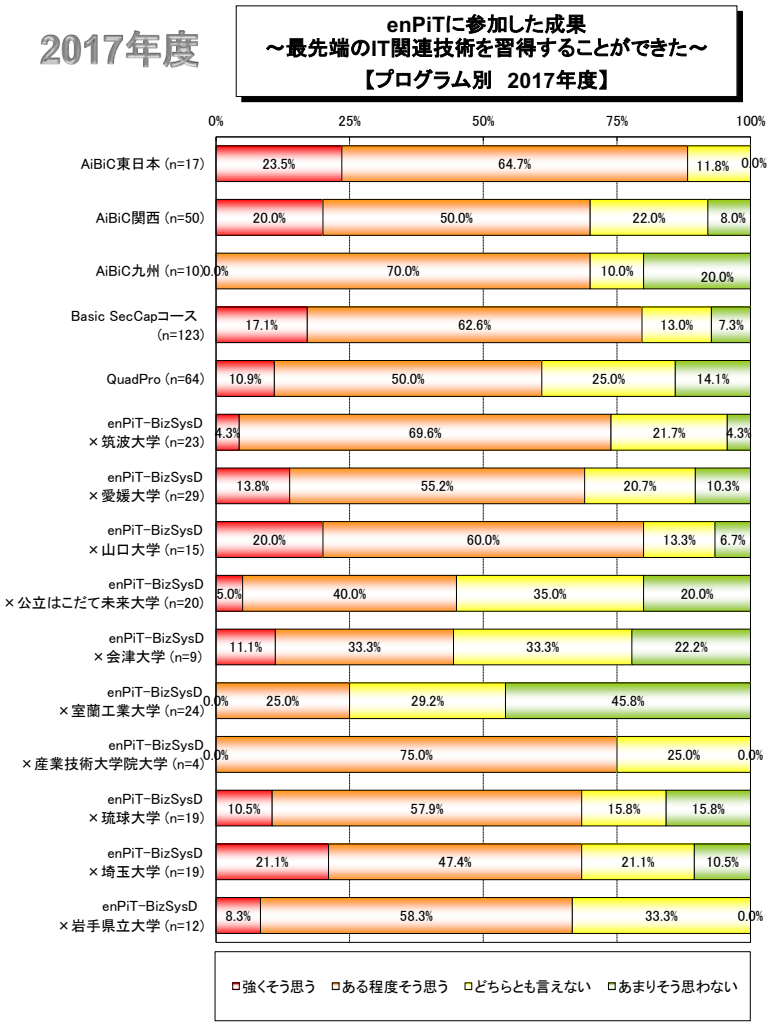
2018年度



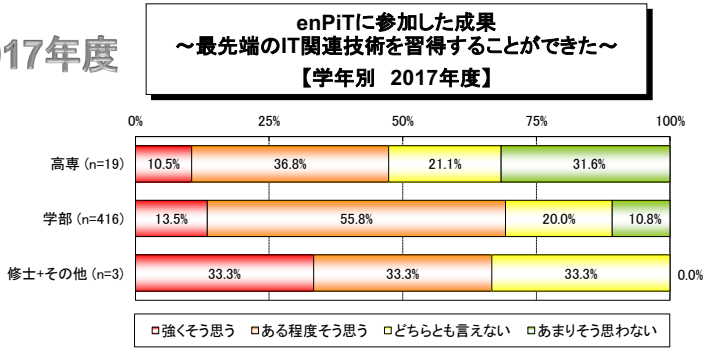
enPiTに参加した成果（2017年度：プログラム別／学年別）①

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2017年度



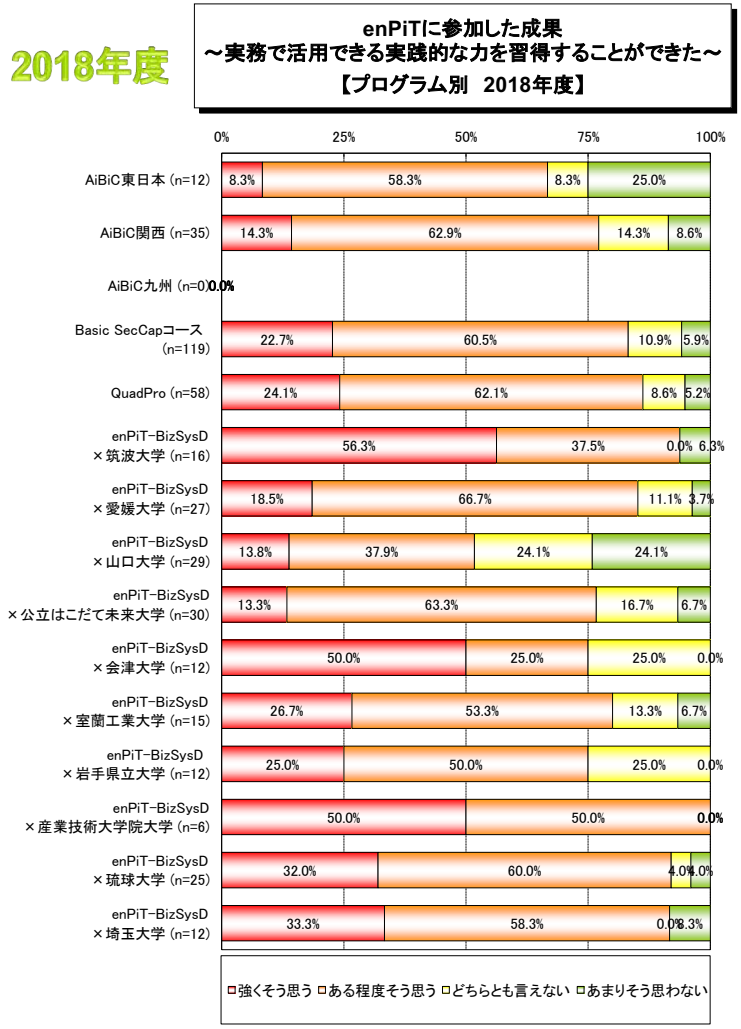
2017年度



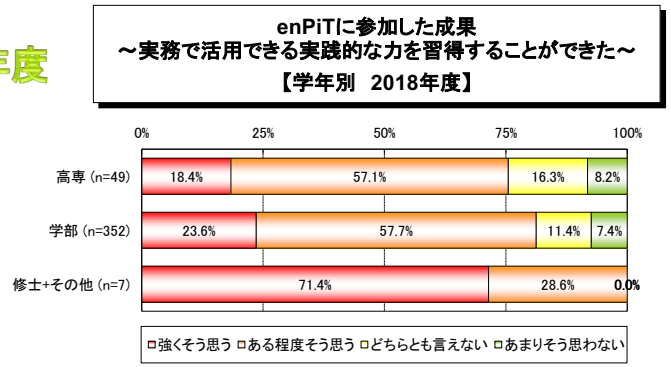
enPiTに参加した成果（2018年度：プログラム別／学年別）②

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



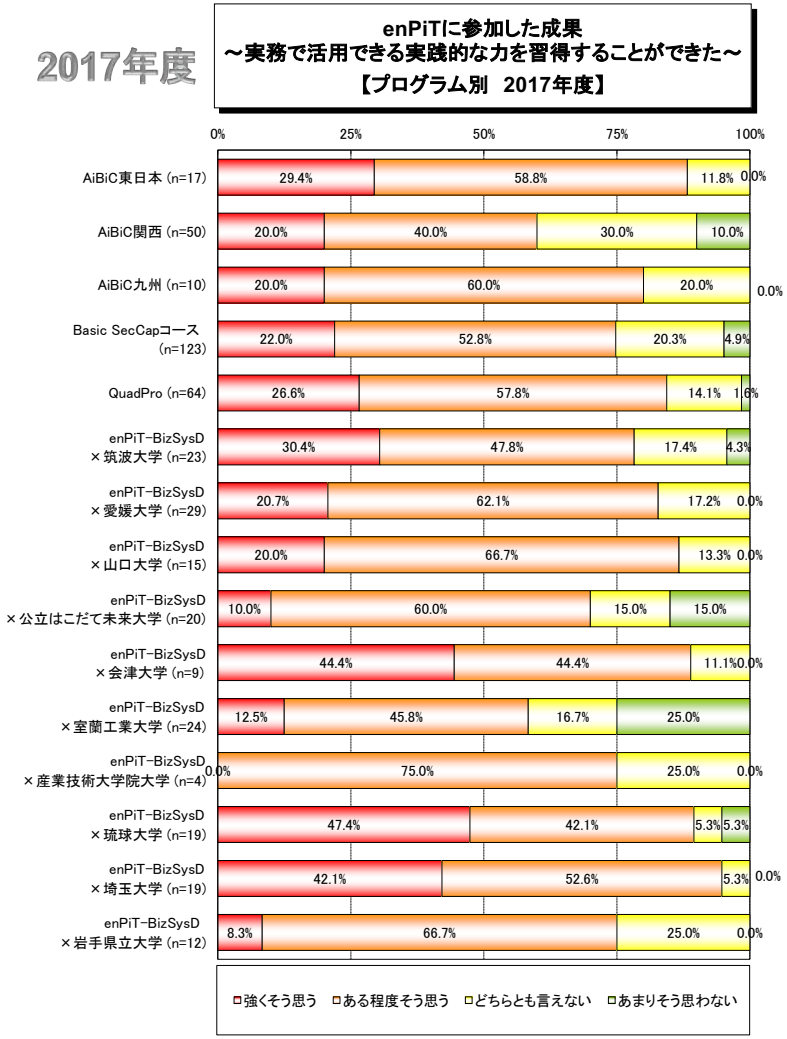
2018年度



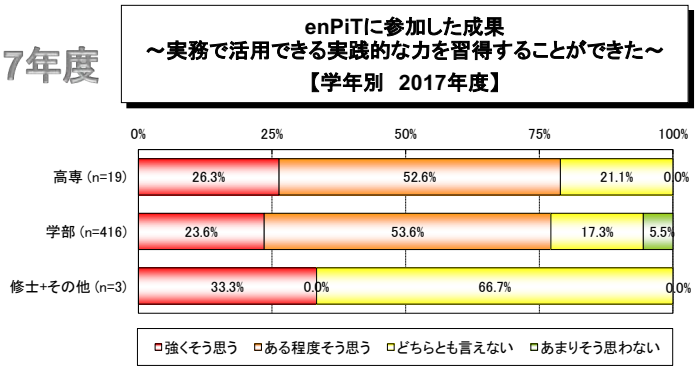
enPiTに参加した成果（2017年度：プログラム別／学年別）②

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2017年度



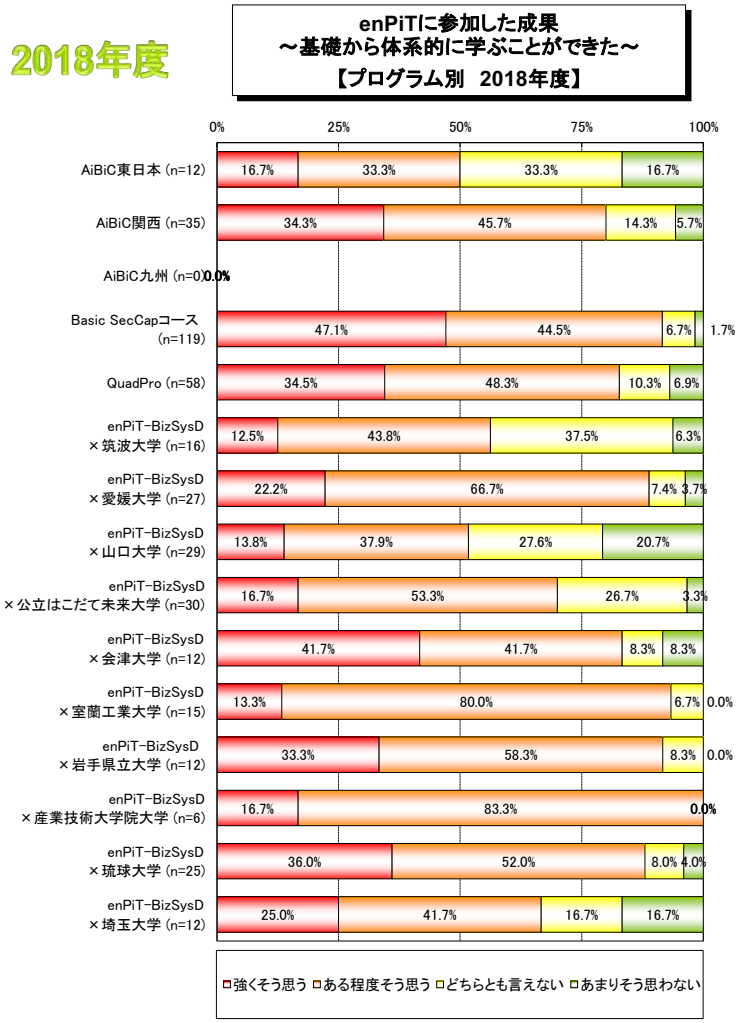
2017年度



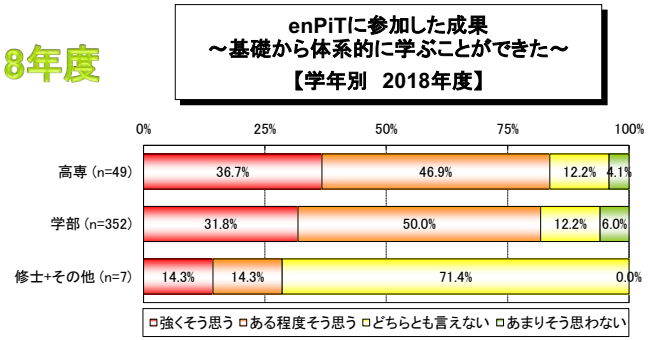
enPiTに参加した成果（2018年度：プログラム別／学年別）③

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



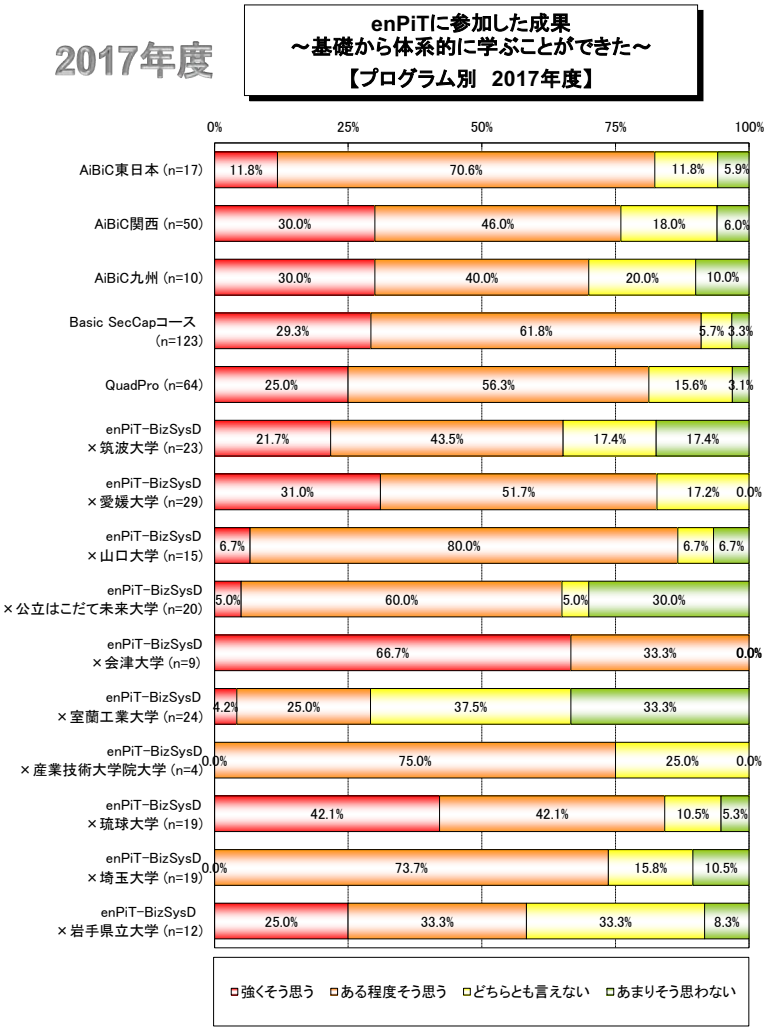
2018年度



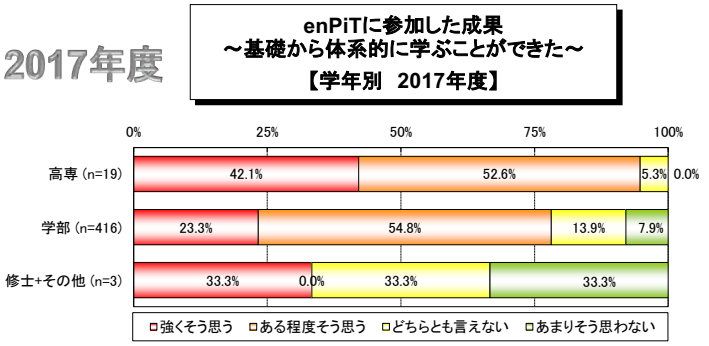
enPiTに参加した成果（2017年度：プログラム別／学年別）③

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2017年度



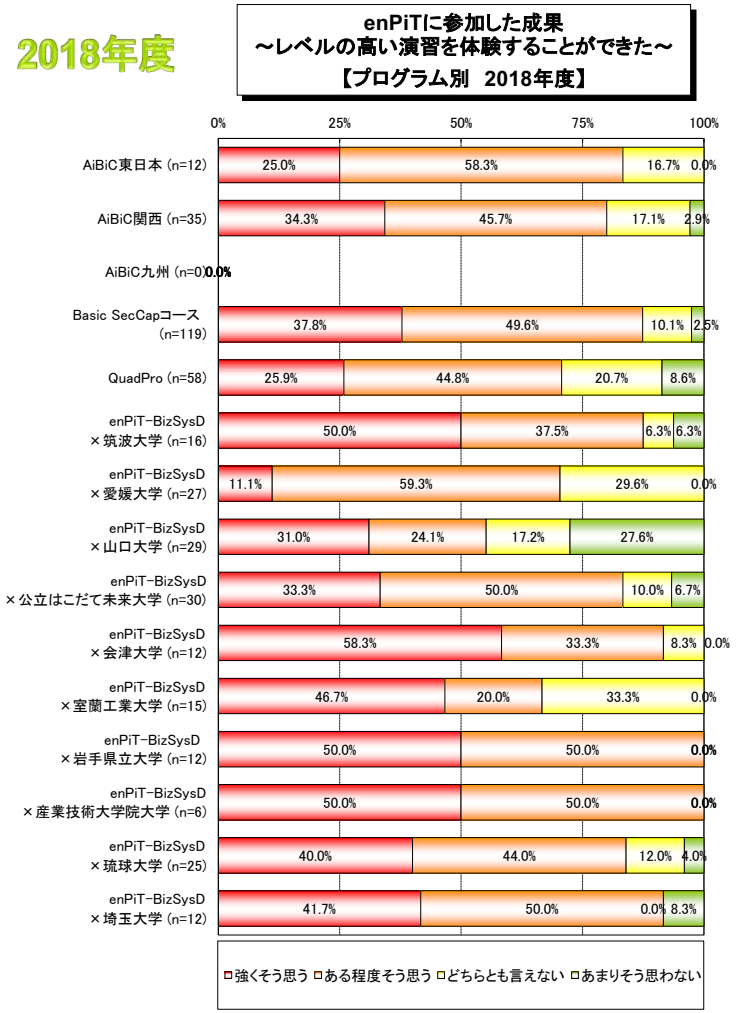
2017年度



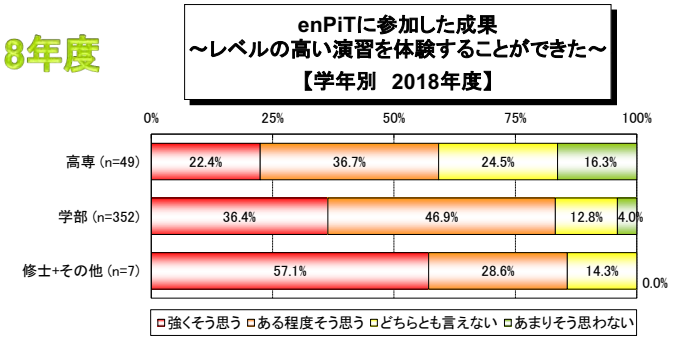
enPiTに参加した成果（2018年度：プログラム別／学年別）④

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



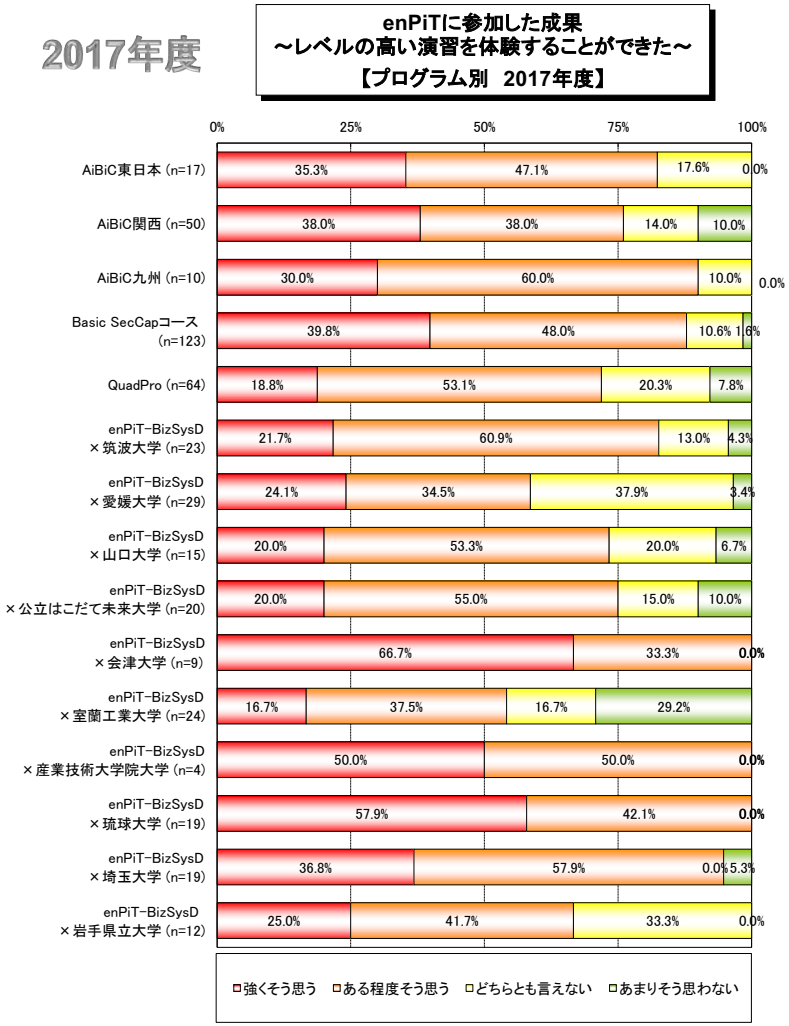
2018年度



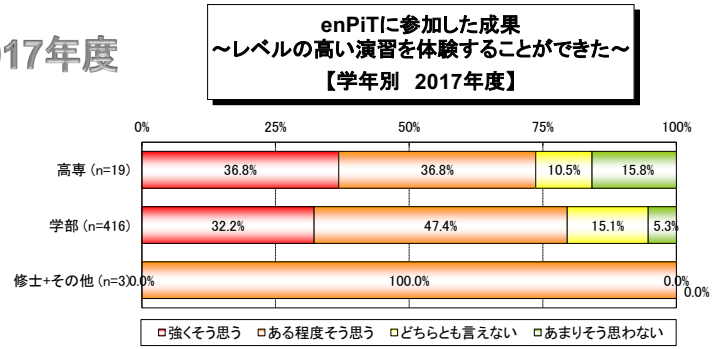
enPiTに参加した成果（2017年度：プログラム別／学年別）④

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2017年度



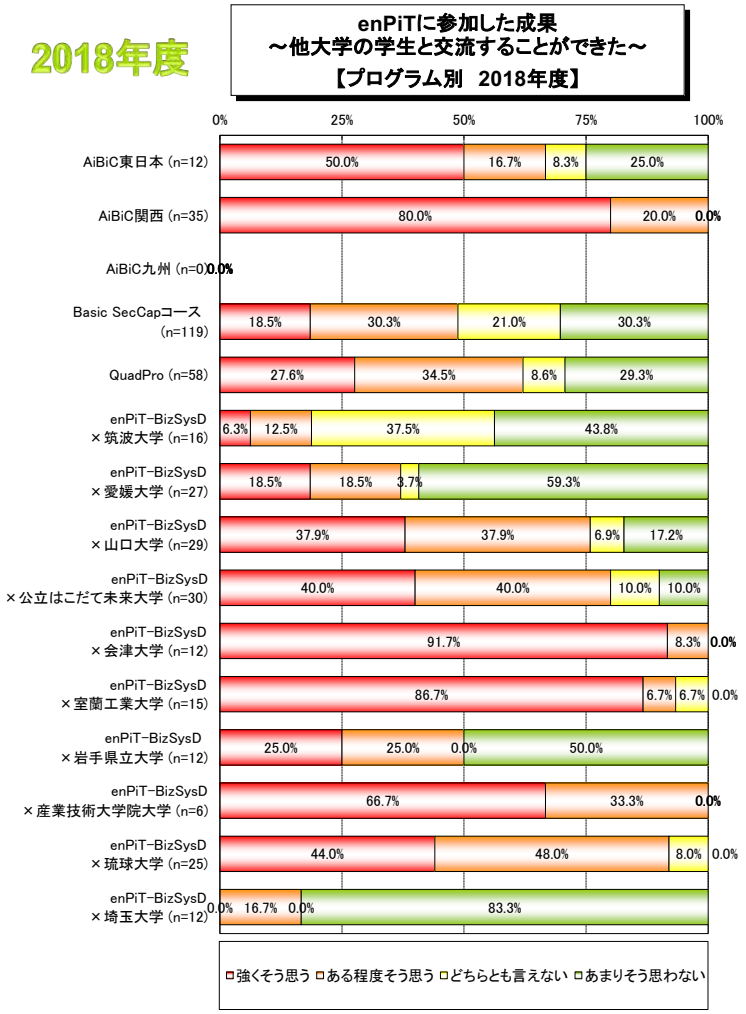
2017年度



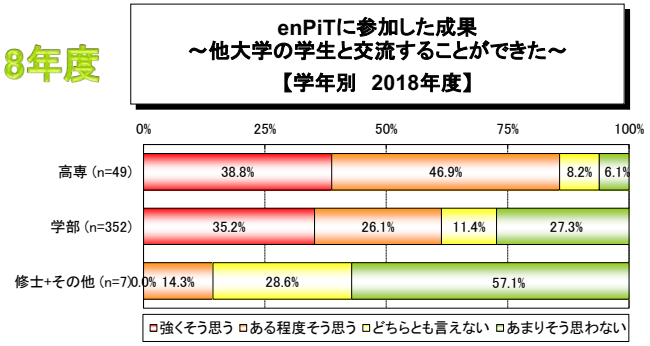
enPiTに参加した成果（2018年度：プログラム別／学年別）⑤

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



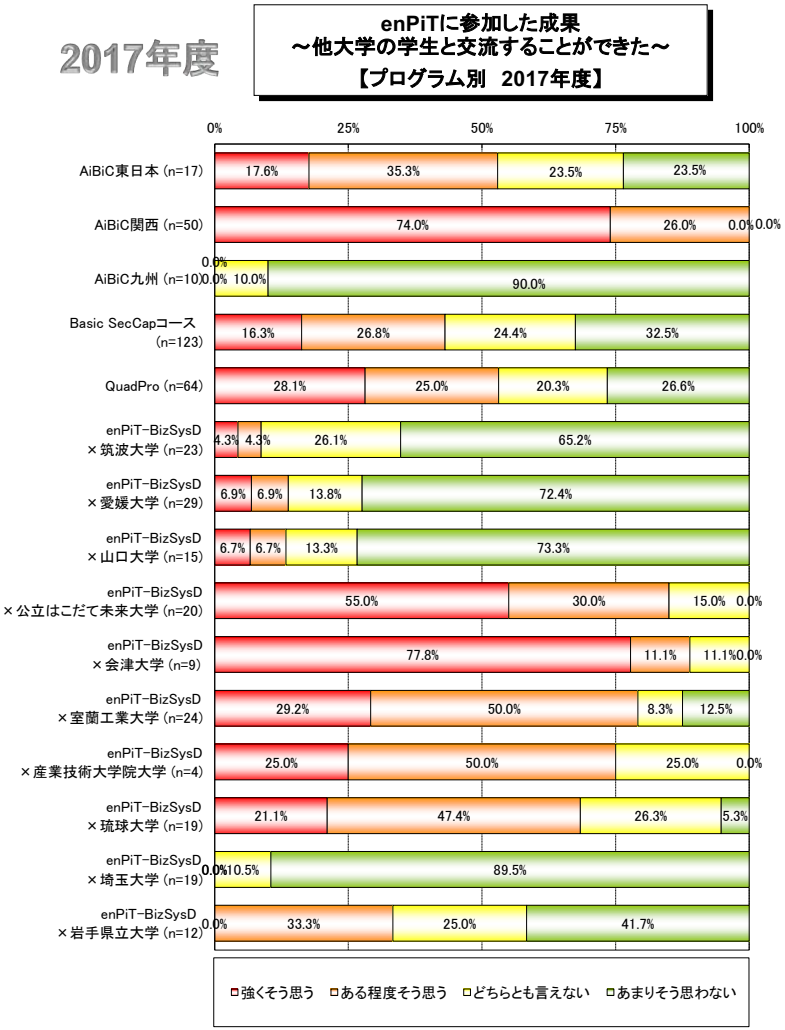
2018年度



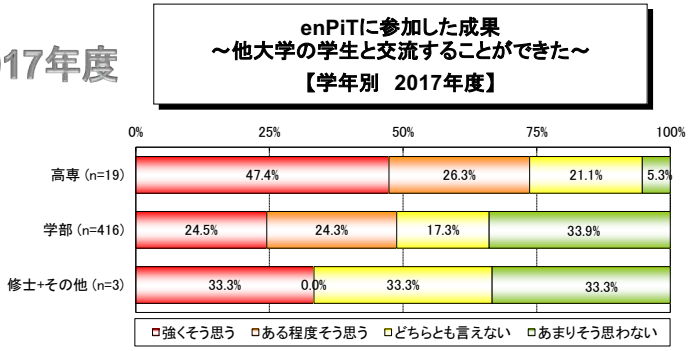
enPiTに参加した成果（2017年度：プログラム別／学年別）⑤

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2017年度



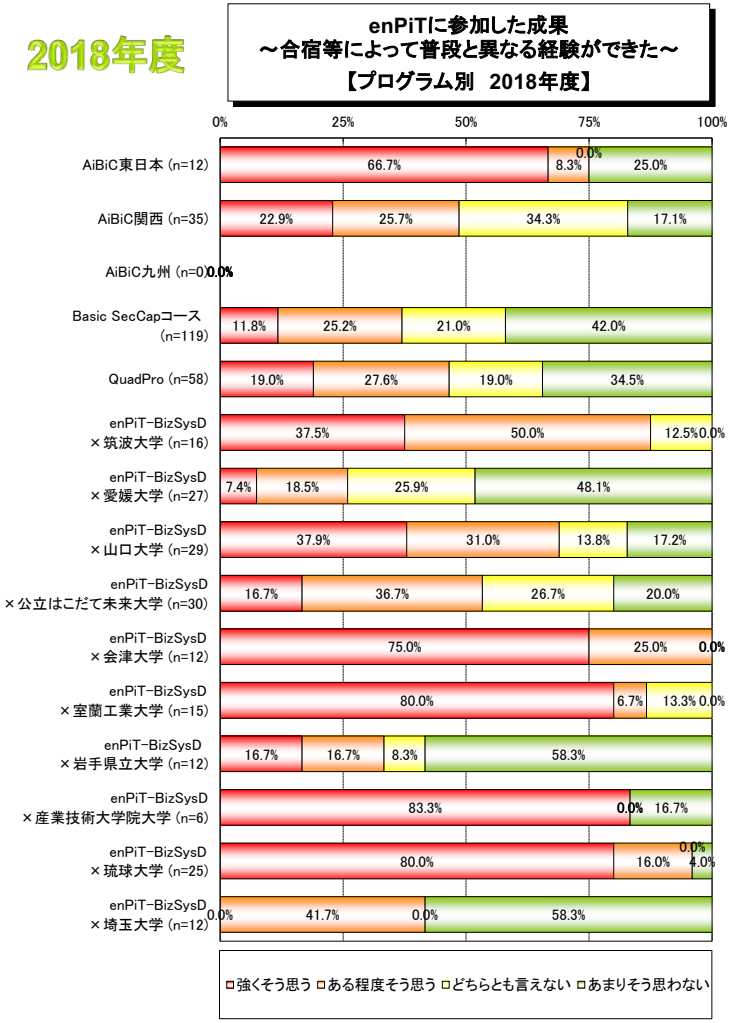
2017年度



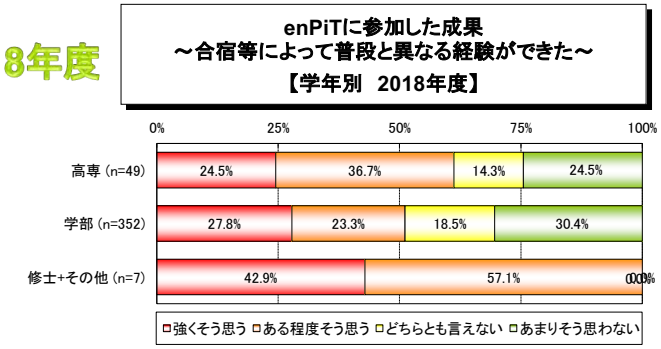
enPiTに参加した成果（2018年度：プログラム別／学年別）⑥

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



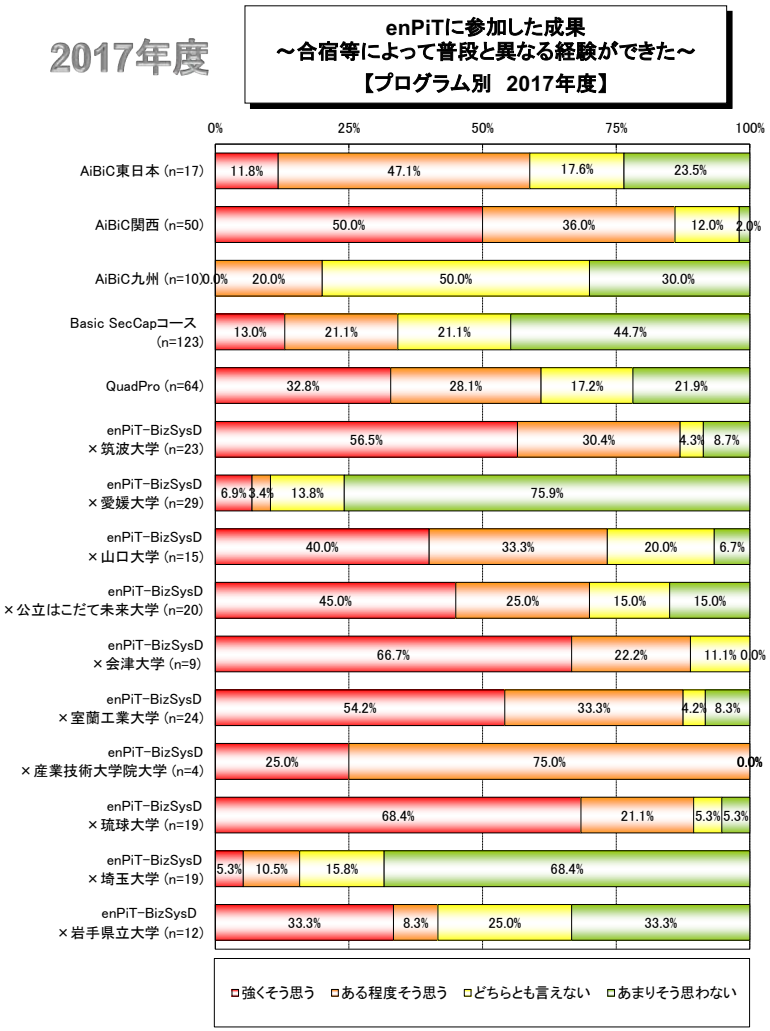
2018年度



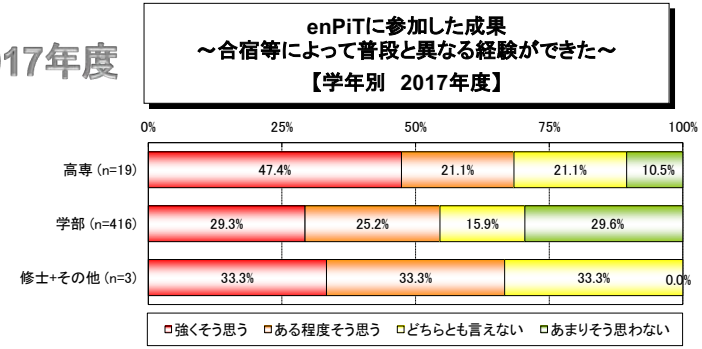
enPiTに参加した成果（2017年度：プログラム別／学年別）⑥

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2017年度



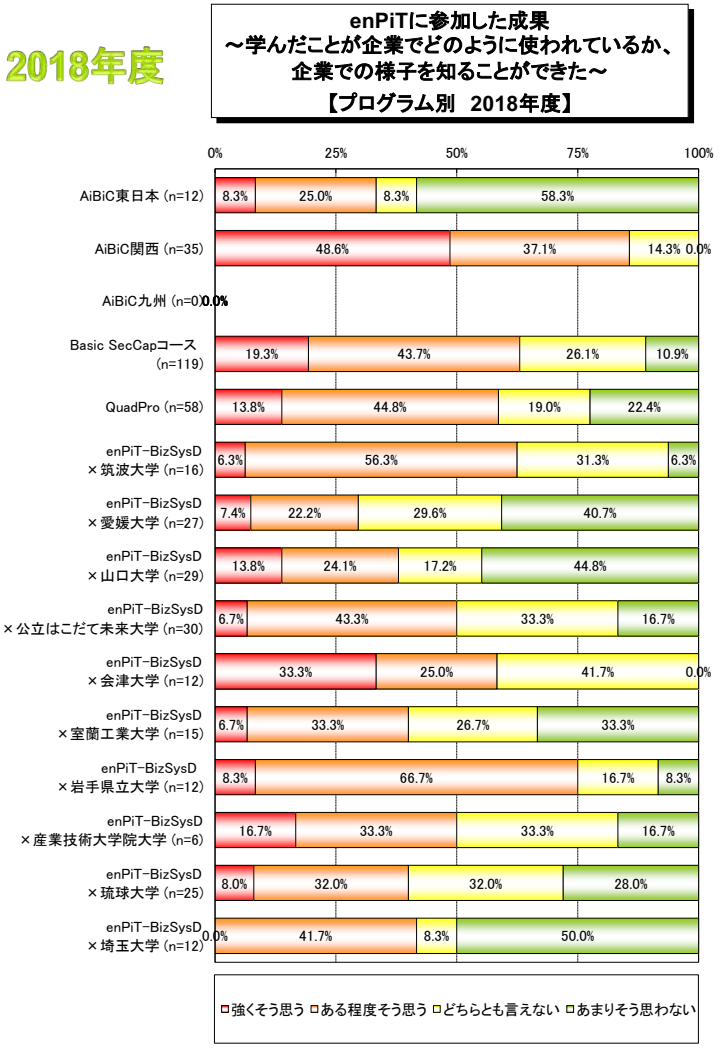
2017年度



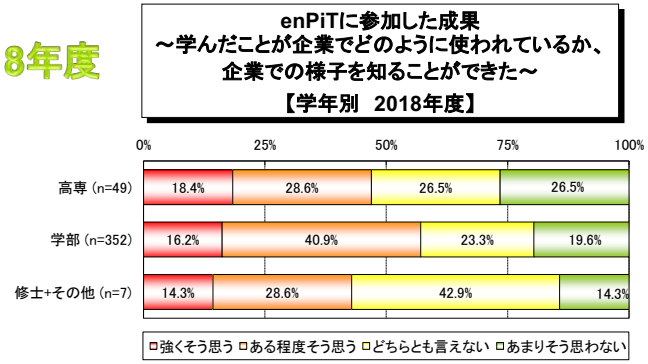
enPiTに参加した成果（2018年度：プログラム別／学年別）⑦

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



2018年度

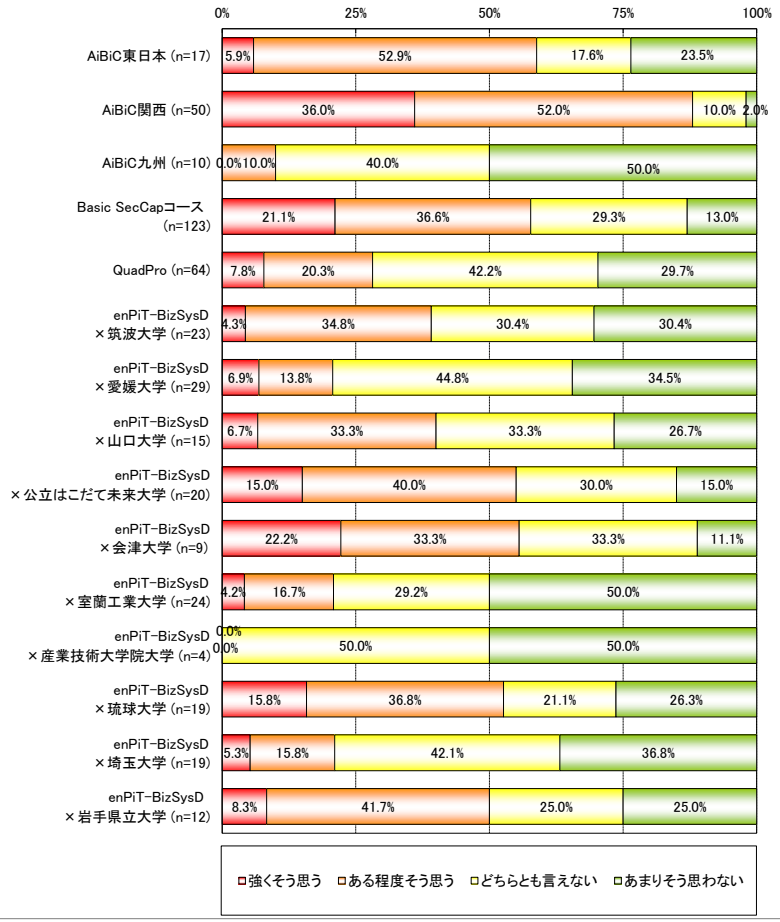


enPiTに参加した成果（2017年度：プログラム別／学年別）⑦

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

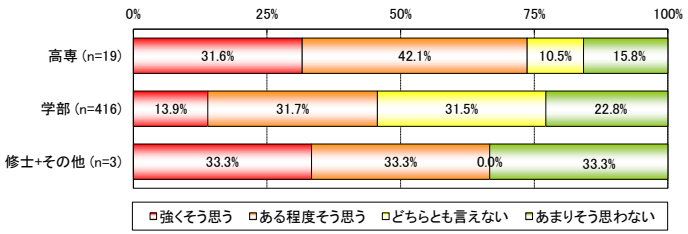
2017年度

enPiTに参加した成果
～学んだことが企業でどのように使われているか、企業での様子を知ることができた～
【プログラム別　2017年度】



2017年度

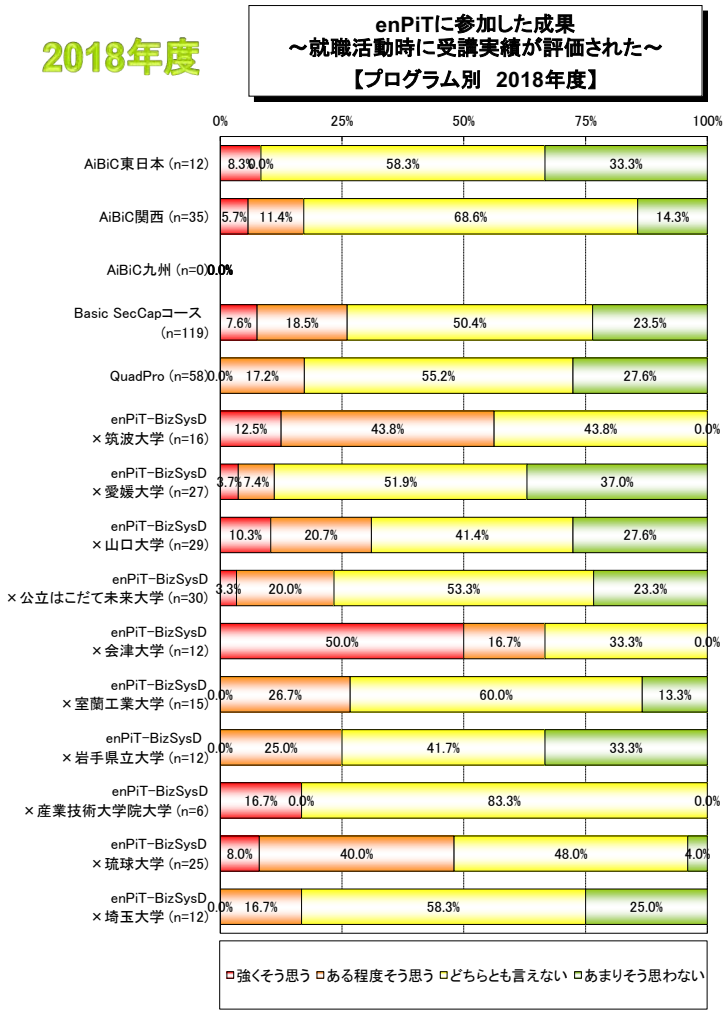
enPiTに参加した成果
～学んだことが企業でどのように使われているか、企業での様子を知ることができた～
【学年別　2017年度】



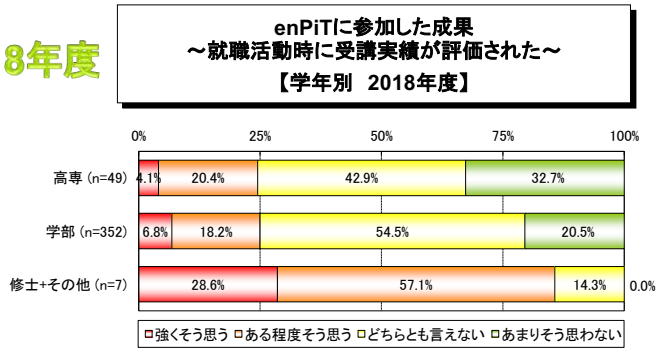
enPiTに参加した成果（2018年度：プログラム別／学年別）⑧

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



2018年度

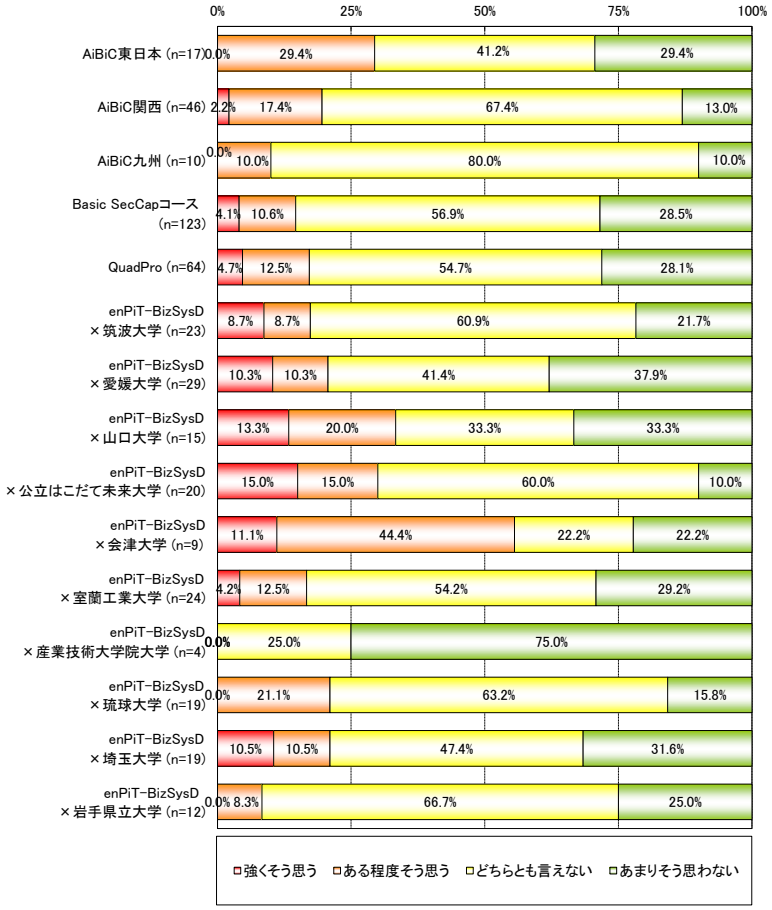


enPiTに参加した成果（2017年度:プログラム別／学年別）⑧

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

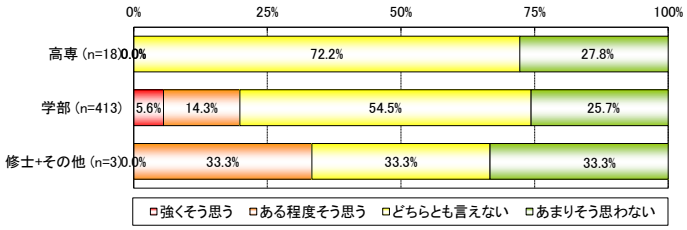
2017年度

enPiTに参加した成果
～就職活動時に受講実績が評価された～
【プログラム別　2017年度】



2017年度

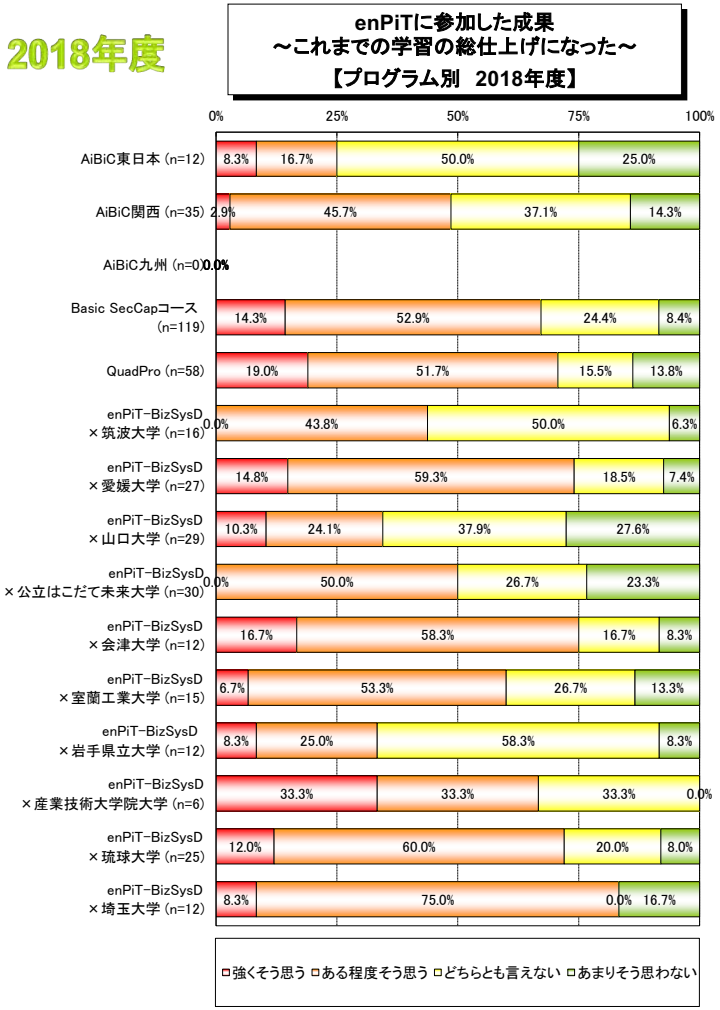
enPiTに参加した成果
～就職活動時に受講実績が評価された～
【学年別　2017年度】



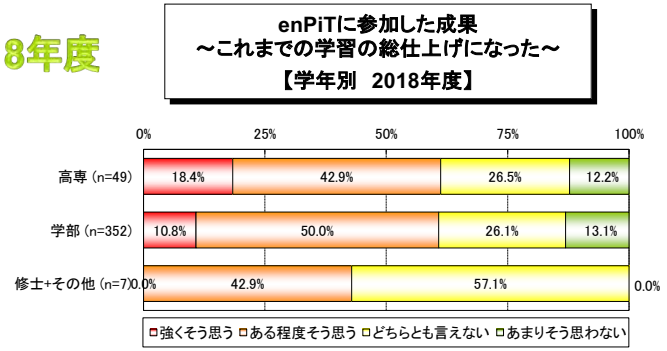
enPiTに参加した成果（2018年度：プログラム別／学年別）⑨

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



2018年度

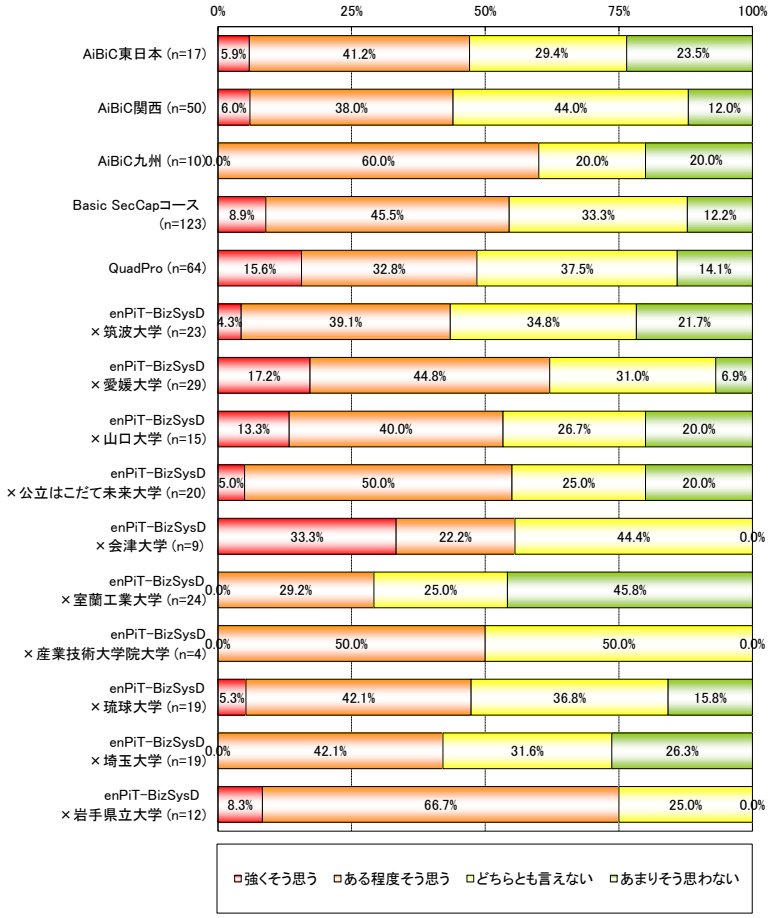


enPiTに参加した成果（2017年度:プログラム別／学年別）⑨

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

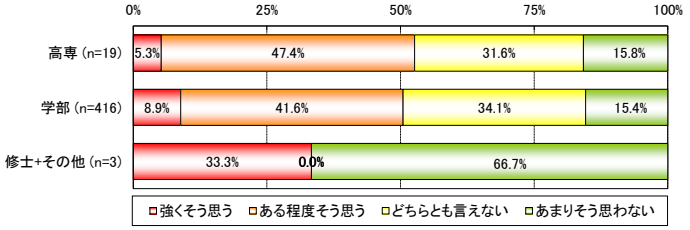
2017年度

enPiTに参加した成果
～これまでの学習の総仕上げになった～
【プログラム別　2017年度】



2017年度

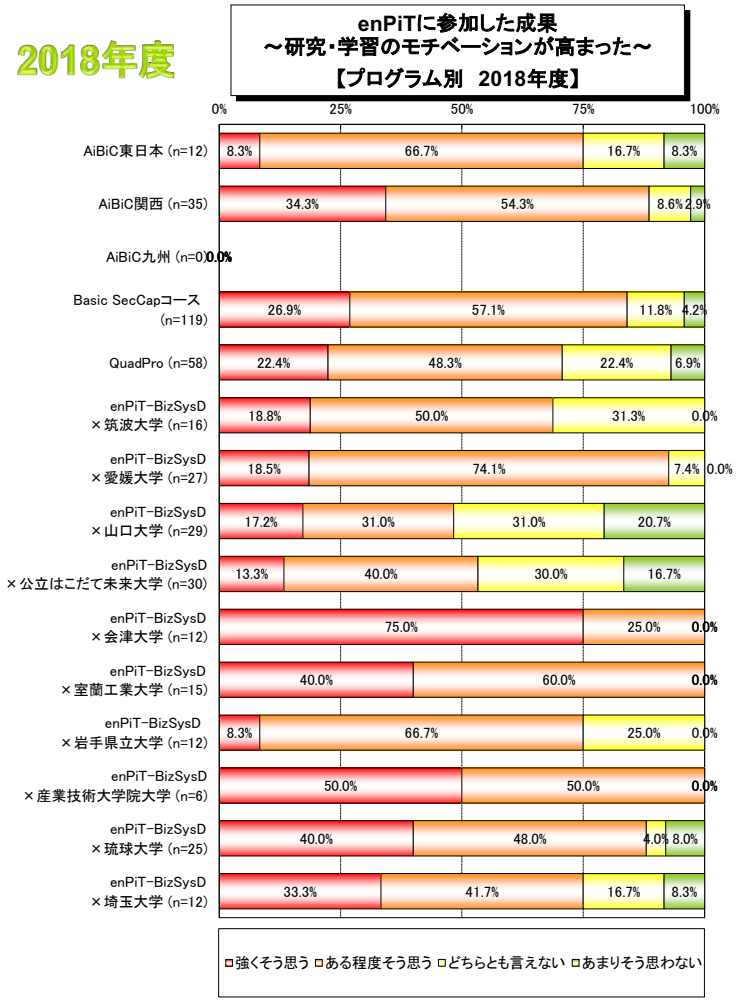
enPiTに参加した成果
～これまでの学習の総仕上げになった～
【学年別　2017年度】



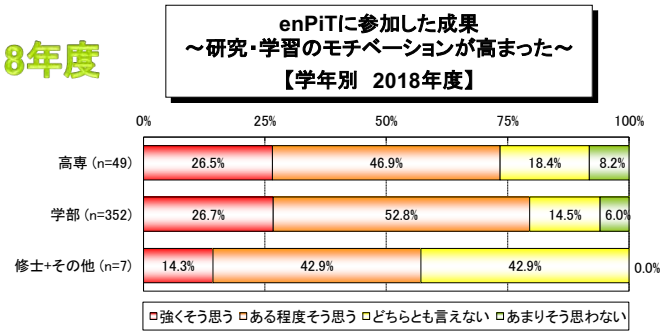
enPiTに参加した成果（2018年度：プログラム別／学年別）⑩

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



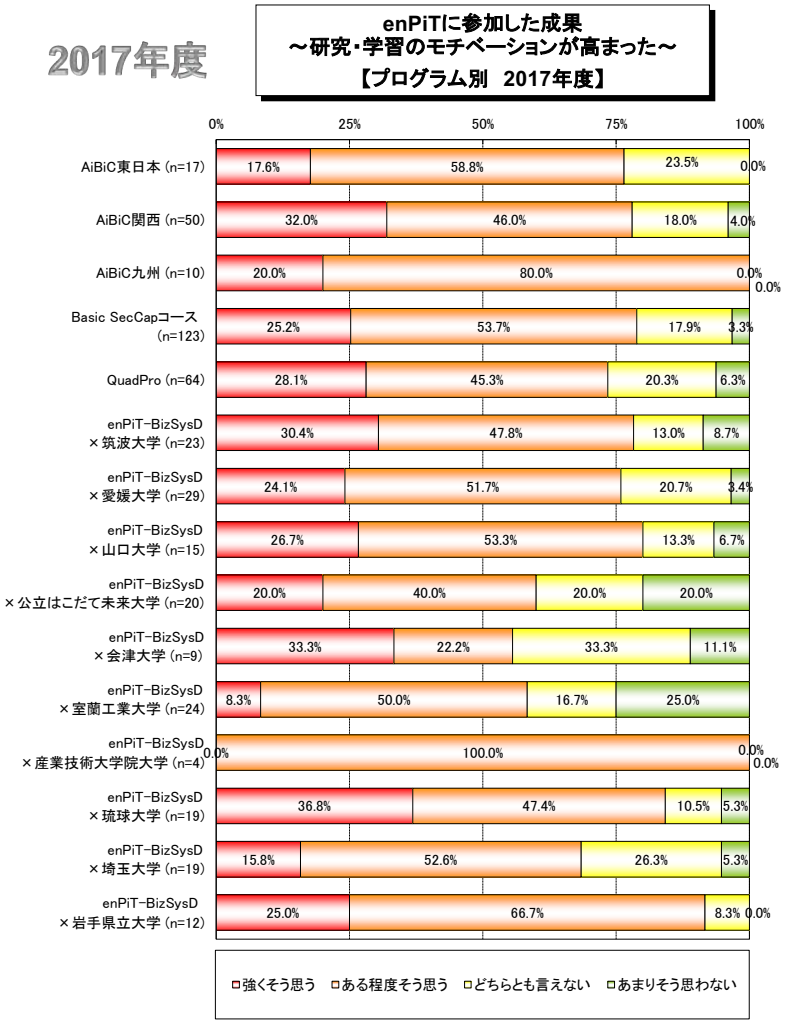
2018年度



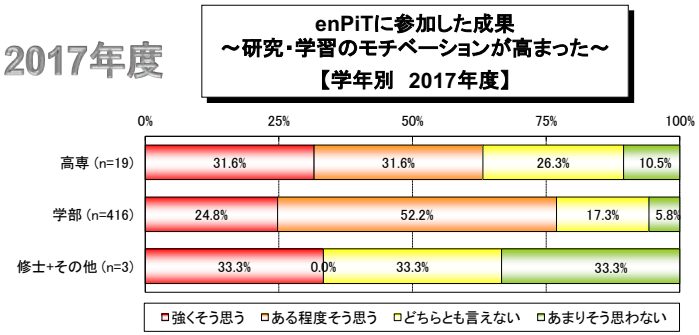
enPiTに参加した成果（2017年度：プログラム別／学年別）⑩

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2017年度



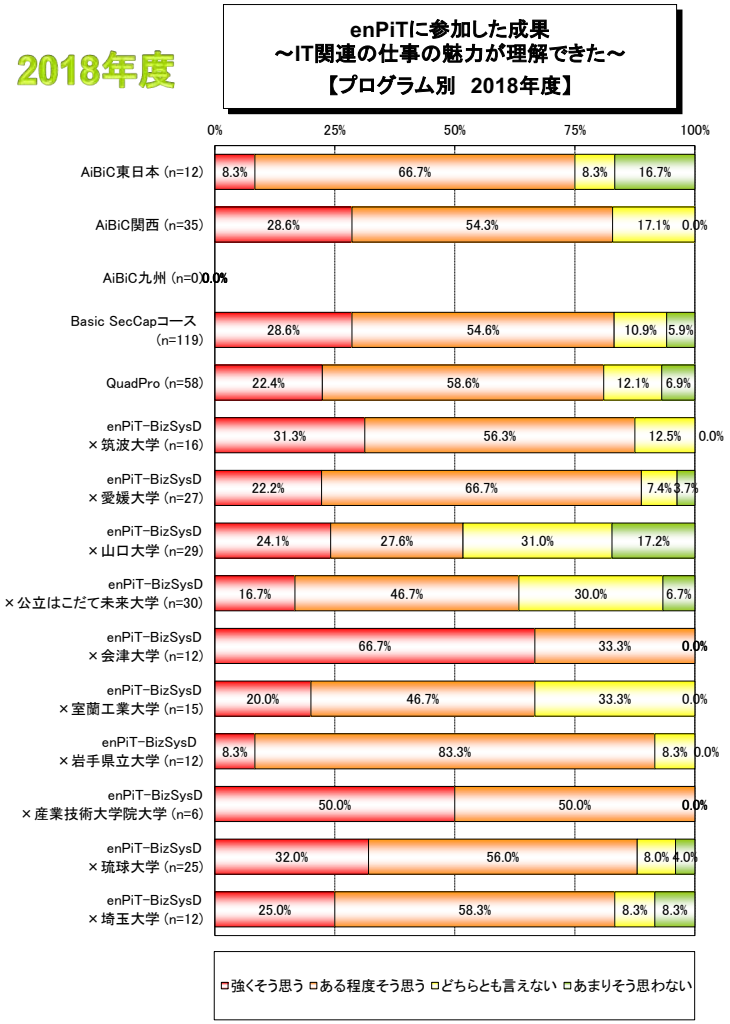
2017年度



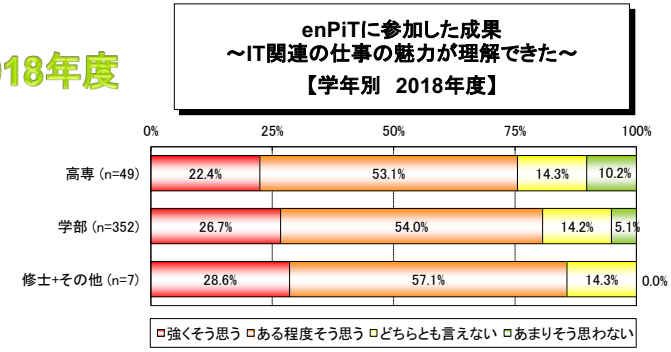
enPiTに参加した成果（2018年度：プログラム別／学年別）⑪

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



2018年度

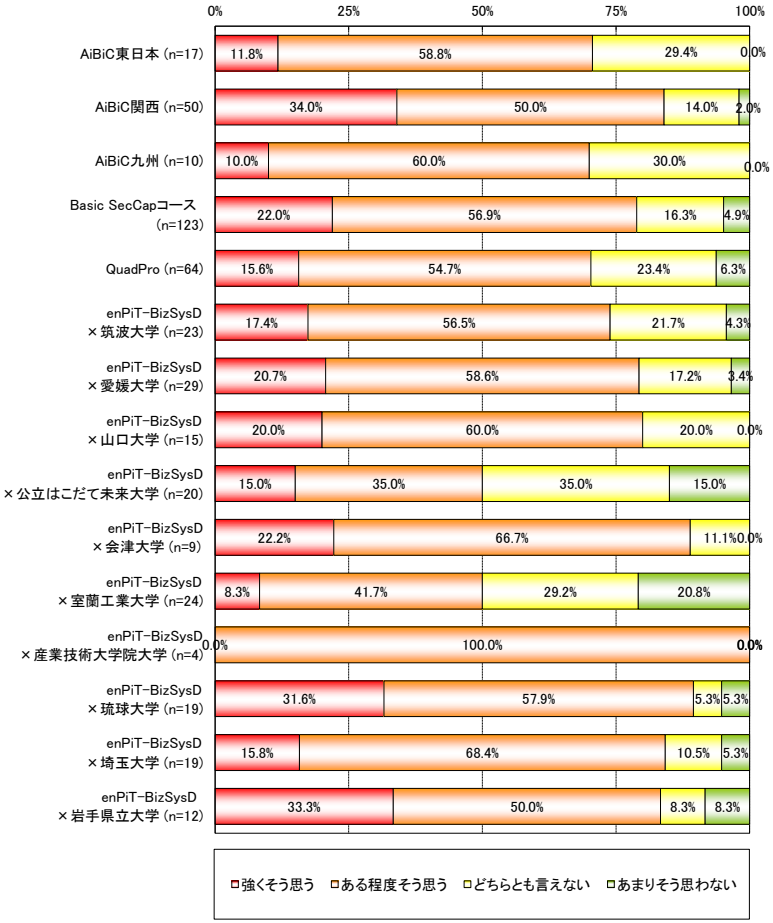


enPiTに参加した成果（2017年度：プログラム別／学年別）⑪

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

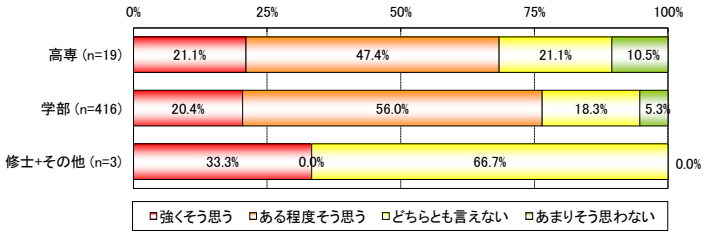
2017年度

enPiTに参加した成果
～IT関連の仕事の魅力が理解できた～
【プログラム別　2017年度】



2017年度

enPiTに参加した成果
～IT関連の仕事の魅力が理解できた～
【学年別　2017年度】

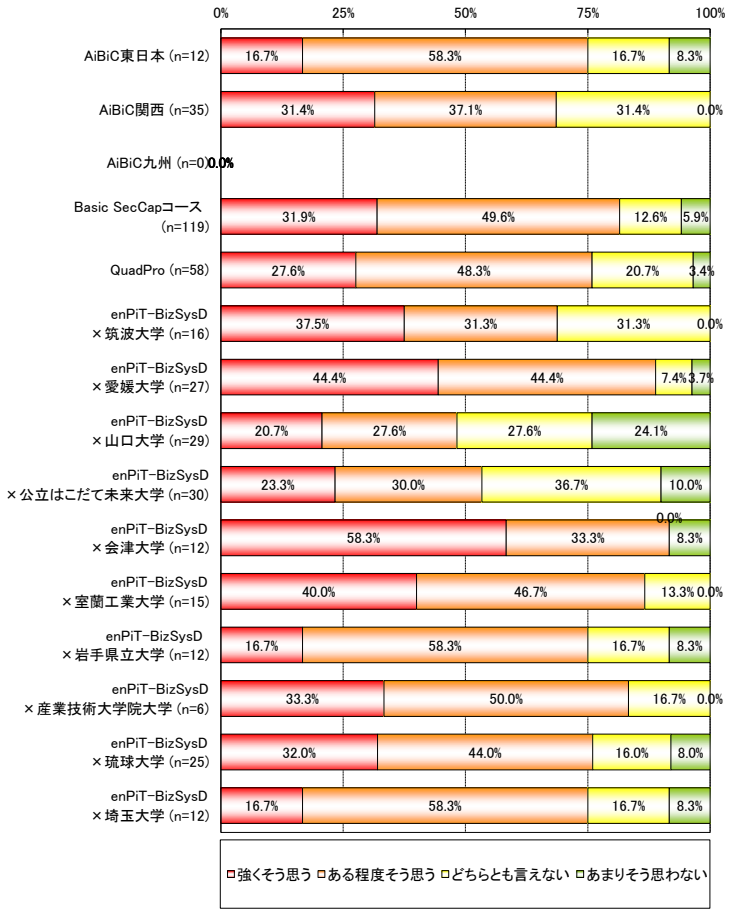


enPiTに参加した成果（2018年度：プログラム別／学年別）⑫

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

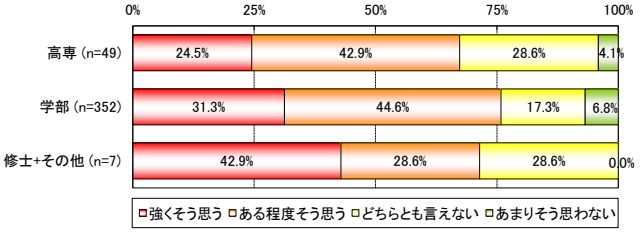
2018年度

enPiTに参加した成果
～IT関連の仕事に就きたいという気持ちが強まった～
【プログラム別　2018年度】



2018年度

enPiTに参加した成果
～IT関連の仕事に就きたいという気持ちが強まった～
【学年別　2018年度】

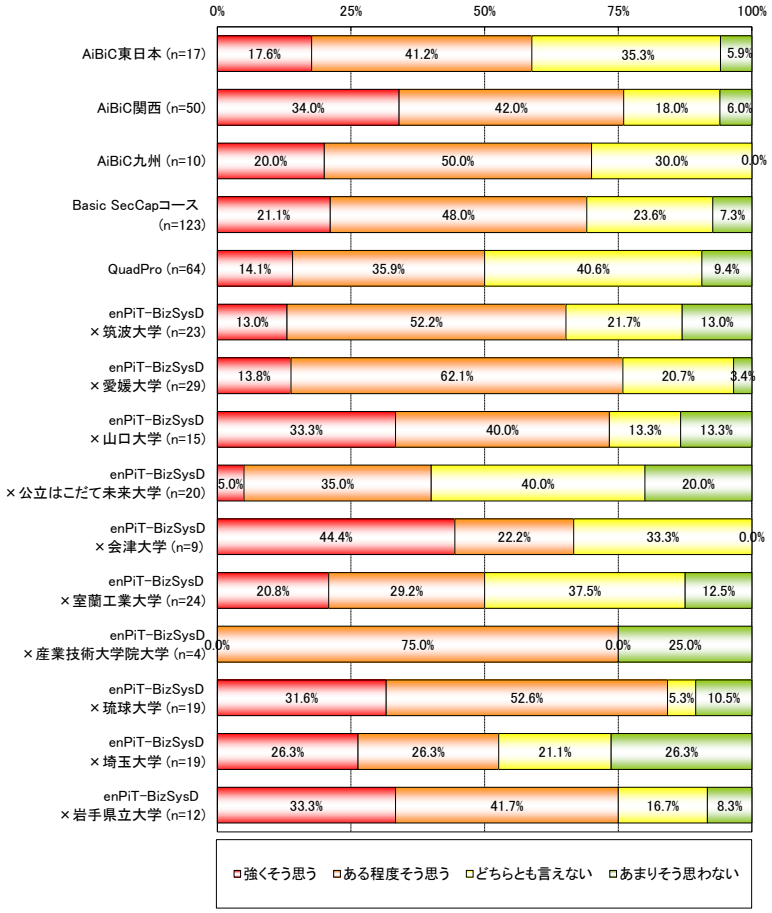


enPiTに参加した成果（2017年度：プログラム別／学年別）⑫

【問11】今年度enPiTプログラムに参加した成果について、あなたはどのように感じましたか。以下のうち、あなたの評価や印象として当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

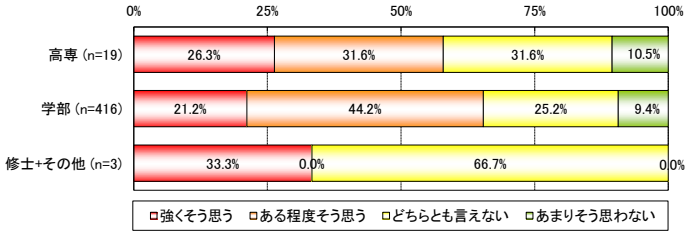
2017年度

enPiTに参加した成果
～IT関連の仕事に就きたいという気持ちが強まった～
【プログラム別　2017年度】



2017年度

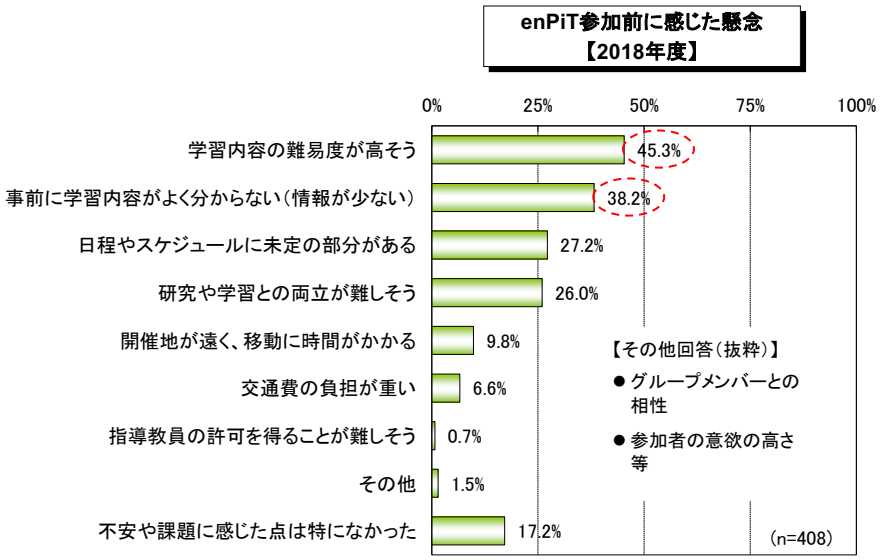
enPiTに参加した成果
～IT関連の仕事に就きたいという気持ちが強まった～
【学年別　2017年度】

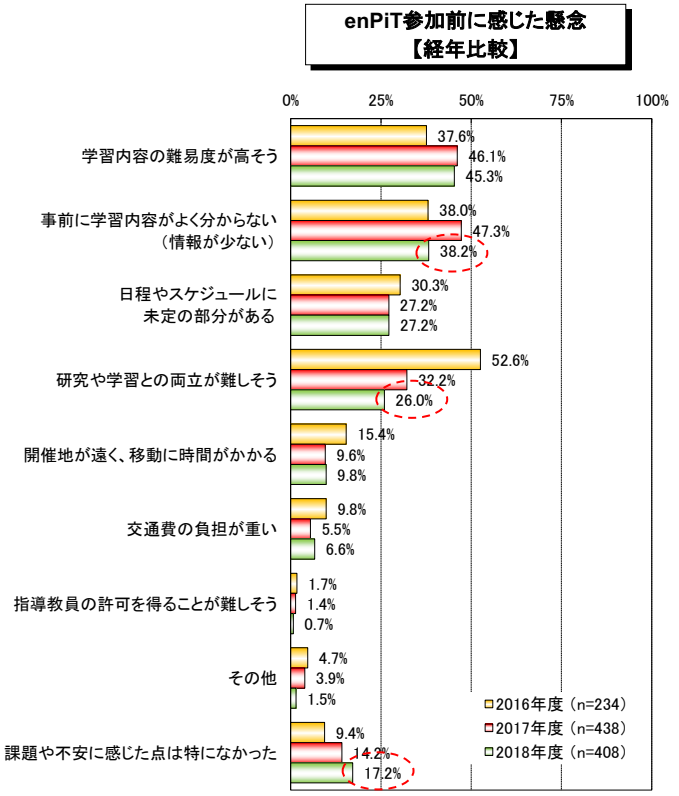


enPiT参加前に感じた懸念

【問12】enPiTプログラムに参加する前、不安に感じた点や気になる点などはありましたか。以下のうち、当てはまるものをすべて選んでください。

- enPiTに参加する前に不安に感じた点や気になる点があったかという点について尋ねた設問では、**「学習内容の難易度が高そう」という回答の割合が最も高く**、半数近くに上る。次いで、**「事前に学習内容がよく分からない（情報が少ない）」**が続く。
- 学部生・高専生を対象にプログラムを開始した2017年度調査と比較すると、「学習の難易度が高そう」という回答割合はほぼ同水準で推移しているが、**「事前に学習内容がよく分からない（情報が少ない）」、「研究や学習との両立が難しそう」という回答の割合は減少している点が注目される。**

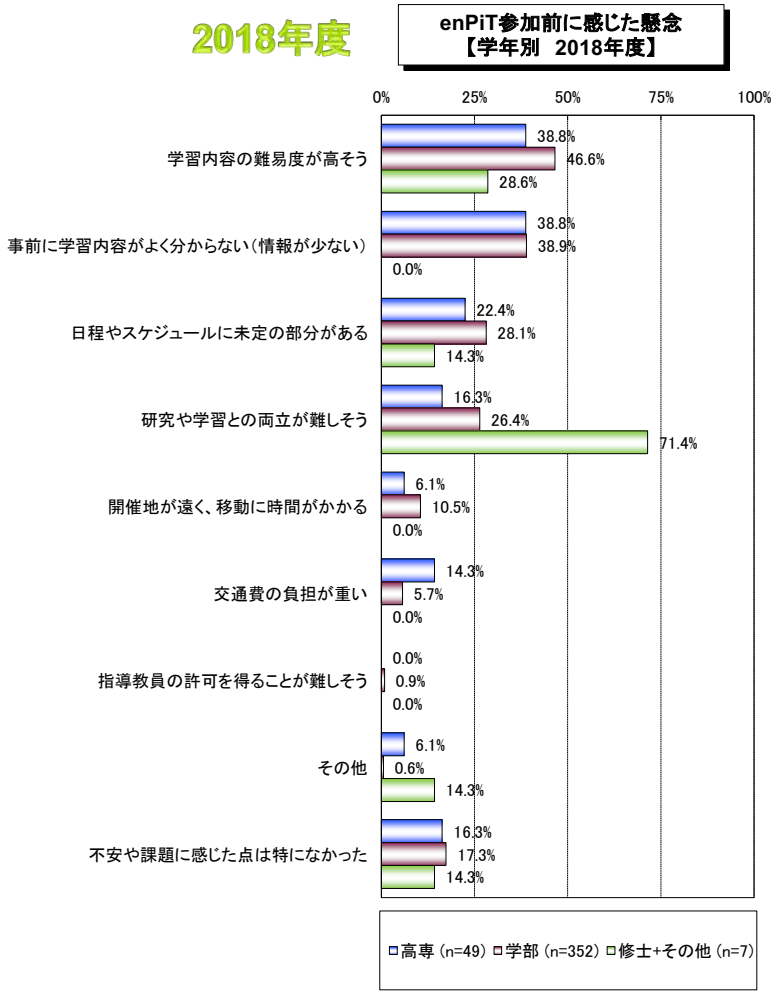




※2016年度は大学院生を対象に実施。

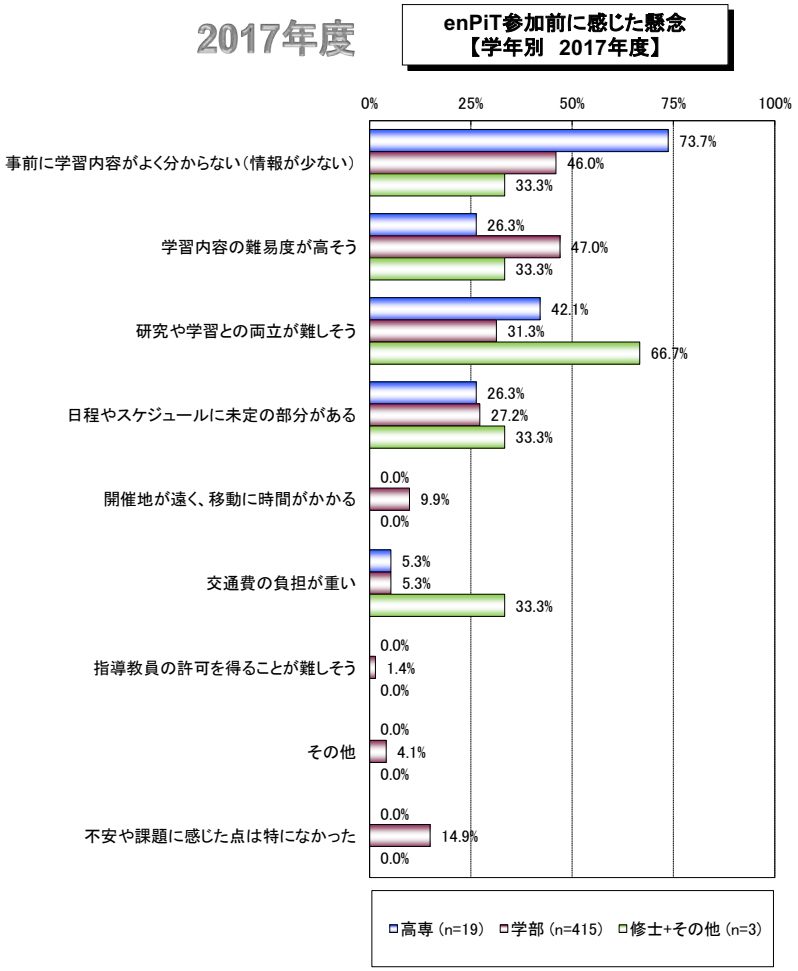
enPiT参加前に感じた懸念（2018年度：学年別）

【問12】enPiTプログラムに参加する前、不安に感じた点や気になる点などはありましたか。以下のうち、当てはまるものをすべて選んでください。



enPiT参加前に感じた懸念（2017年度：学年別）

【問12】enPiTプログラムに参加する前、不安に感じた点や気になる点などはありましたか。以下のうち、当てはまるものをすべて選んでください。

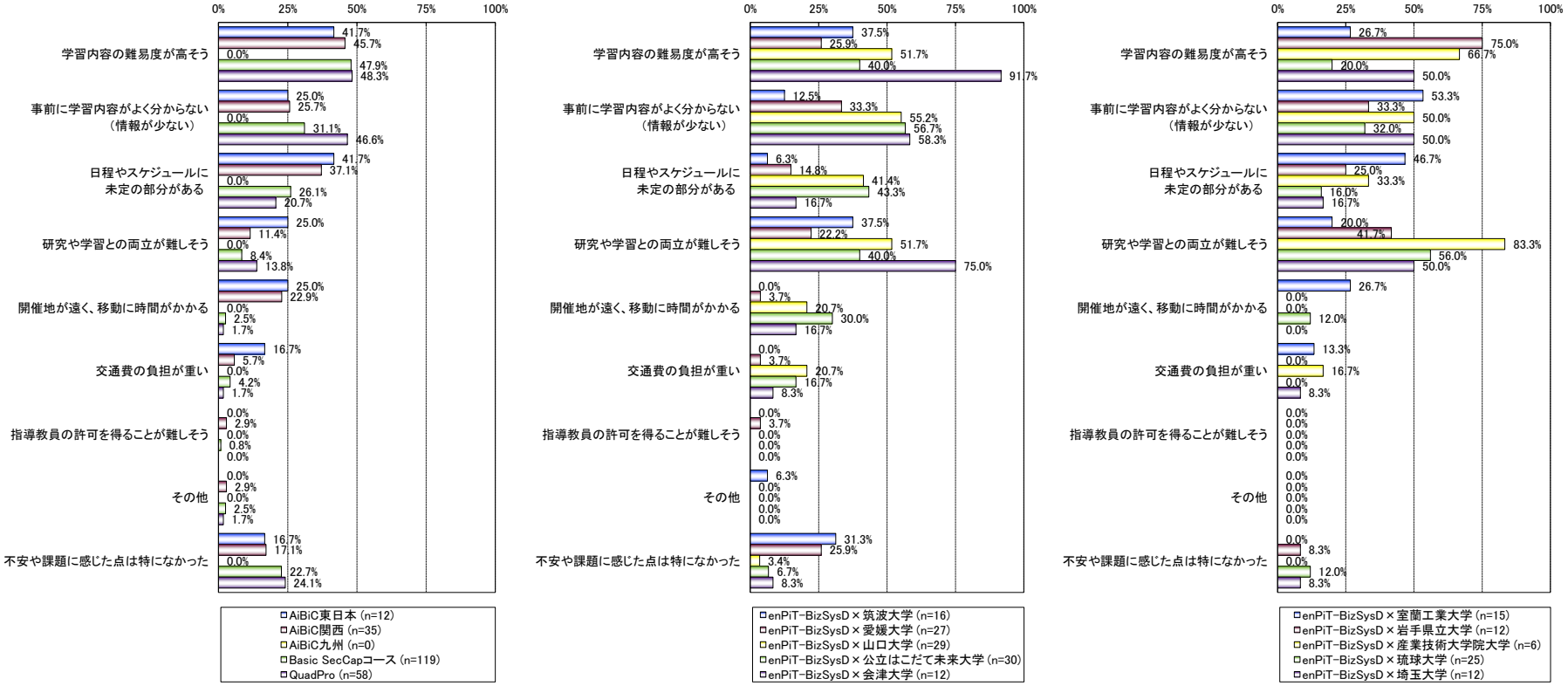


enPiT参加前に感じた懸念（2018年度：プログラム別）

【問12】enPiTプログラムに参加する前、不安に感じた点や気になる点などはありましたか。以下のうち、当てはまるものをすべて選んでください。

2018年度

enPiT参加前に感じた懸念
【プログラム別　2018年度】

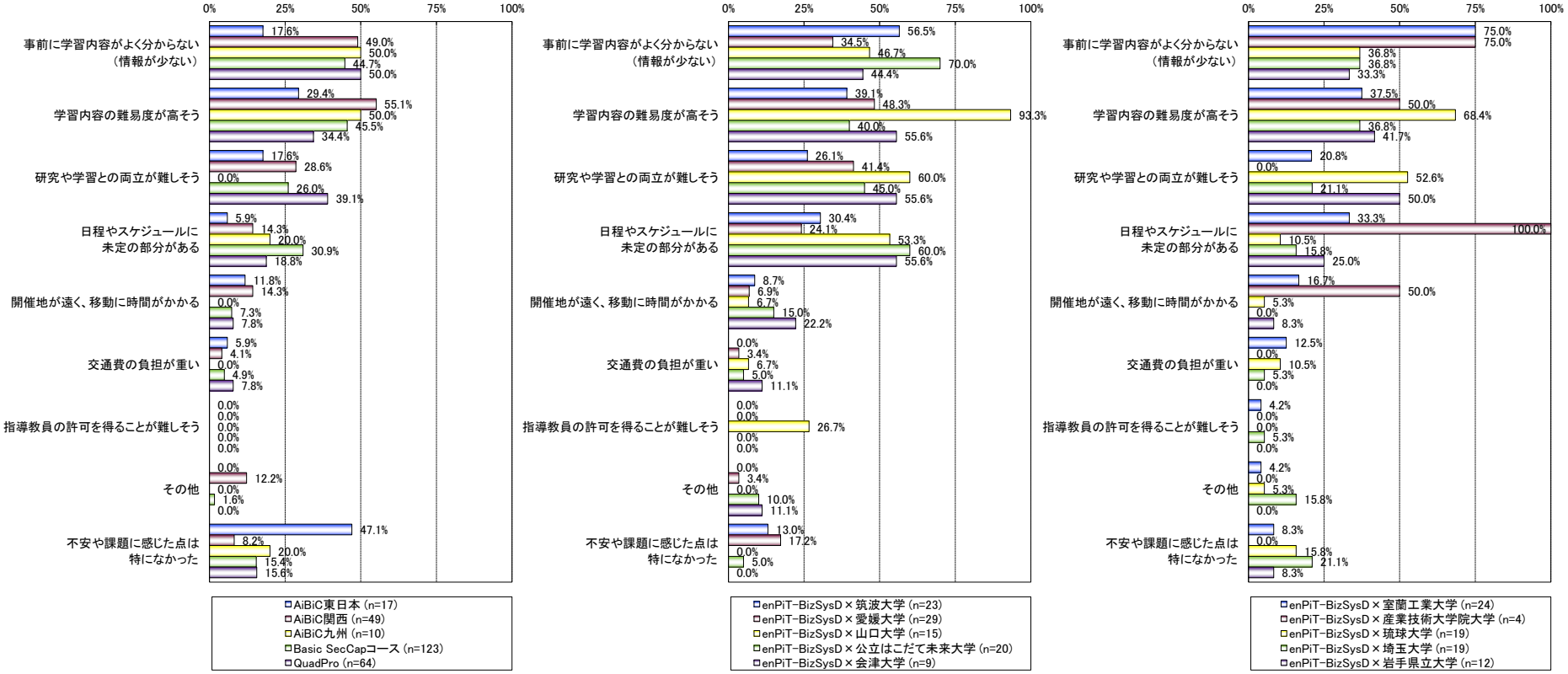


enPiT参加前に感じた懸念（2017年度：プログラム別）

【問12】enPiTプログラムに参加する前、不安に感じた点や気になる点などはありましたか。以下のうち、当てはまるものをすべて選んでください。

2017年度

enPiT参加前に感じた懸念
【プログラム別　2017年度】

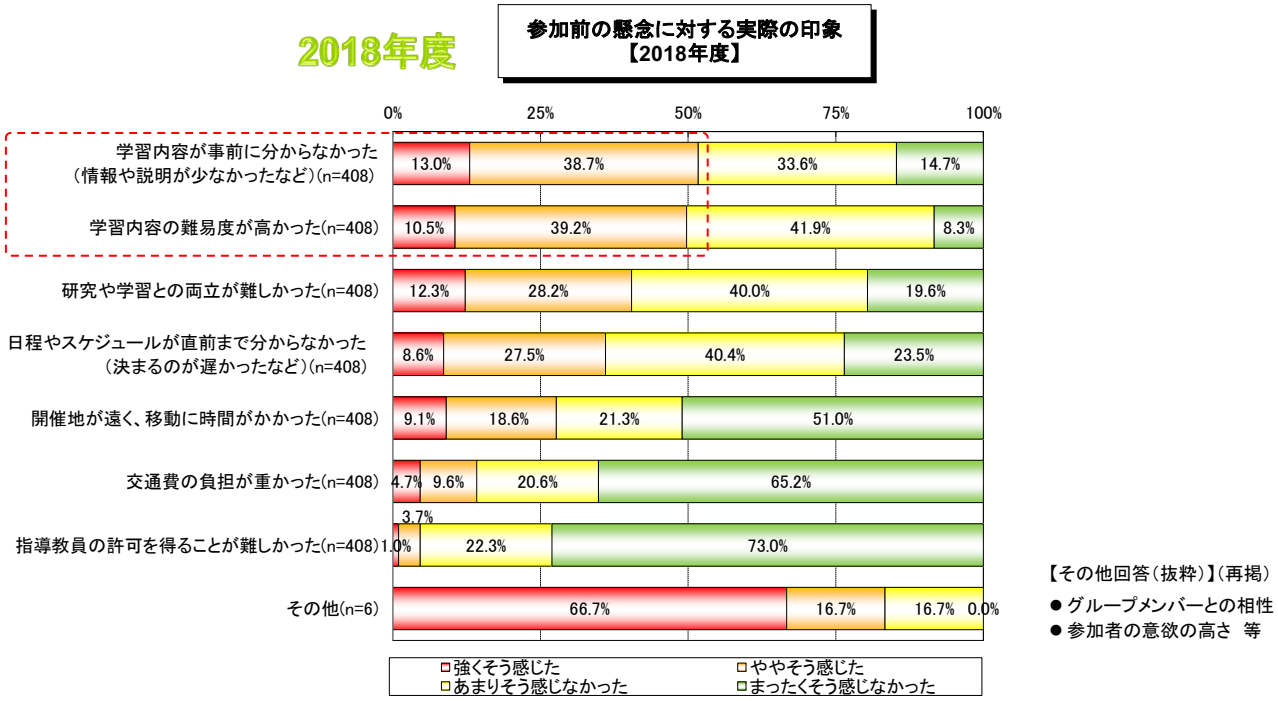


enPiT参加前の懸念に対する実際の印象

【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。
以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

- enPiT参加前の懸念に対して、受講中に実際はどのように感じたかについて尋ねたところ、**「学習内容が事前に分からなかった（情報や説明が少なかったなど）」、「学習内容の難易度が高かった」**という点について「強くそう感じた」または「ややそう感じた」を合わせた回答の割合が約半数に上った。
- 次頁の2017年度調査と比較すると、**「学習内容が事前に分からなかった 」、「日程やスケジュールが直前まで分からなかった」については、「強くそう感じた」または「ややそう感じた」という回答割合がやや減少している**点が注目される。

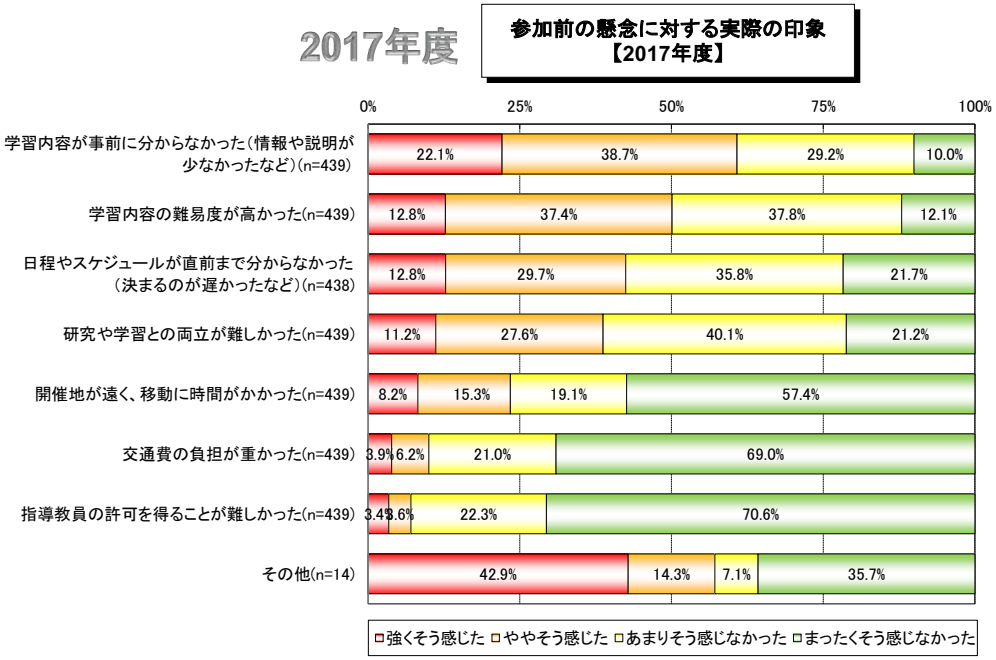
2018年度



【その他回答（抜粋）】（再掲）
- グループメンバーとの相性
- 参加者の意欲の高さ　等

enPiT参加前の懸念に対する実際の印象（2017年度）

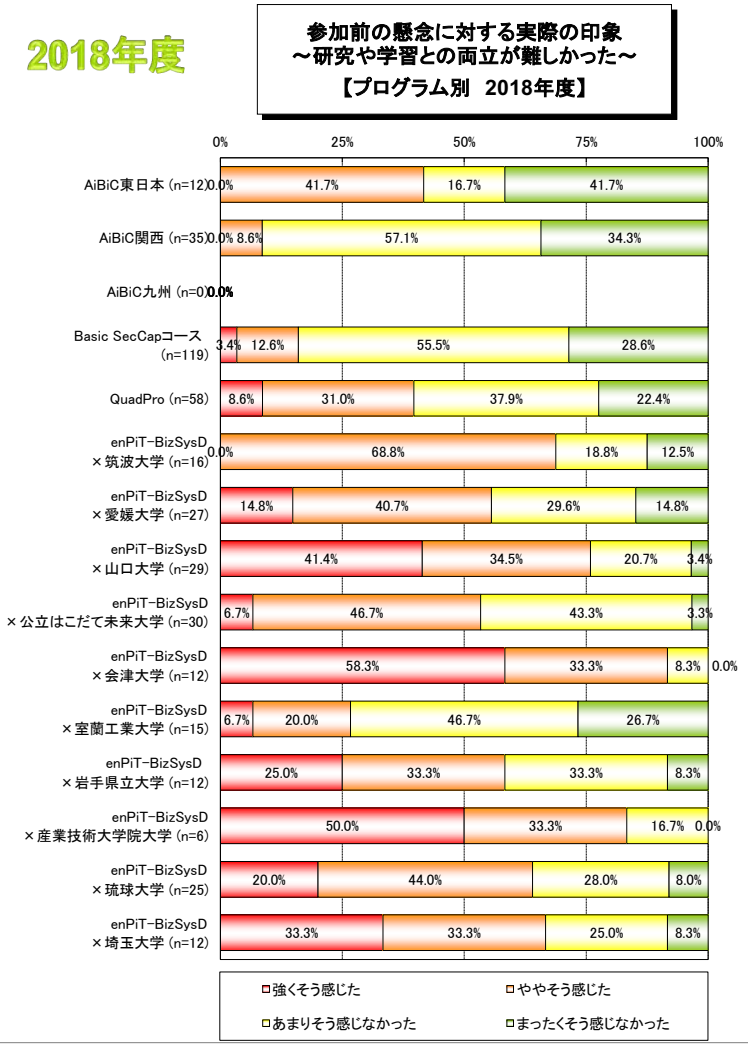
【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。
以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。



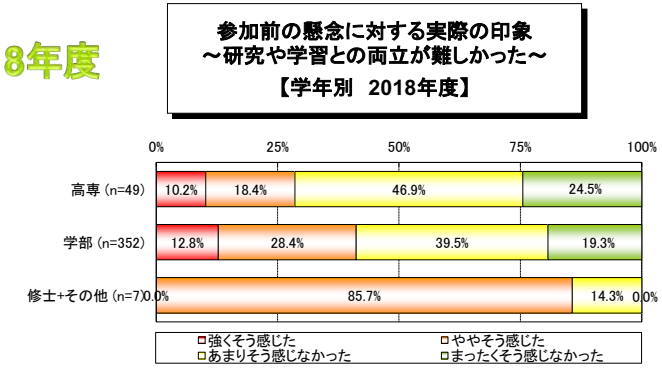
enPiT参加前の懸念に対する実際の印象（2018年度：プログラム別／学年別）①

【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



2018年度

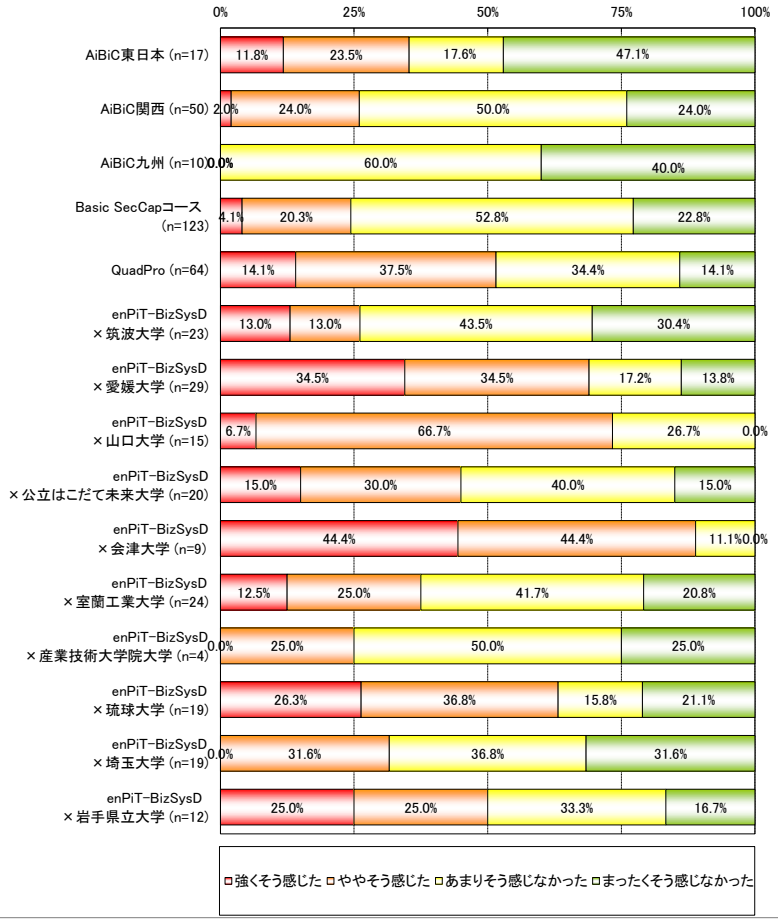


enPiT参加前の懸念に対する実際の印象（2017年度：プログラム別／学年別）①

【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

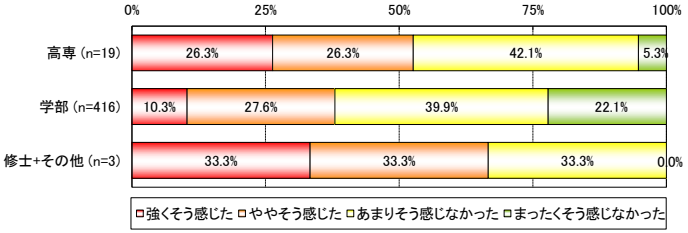
2017年度

参加前の懸念に対する実際の印象
～研究や学習との両立が難しかった～
【プログラム別 2017年度】



2017年度

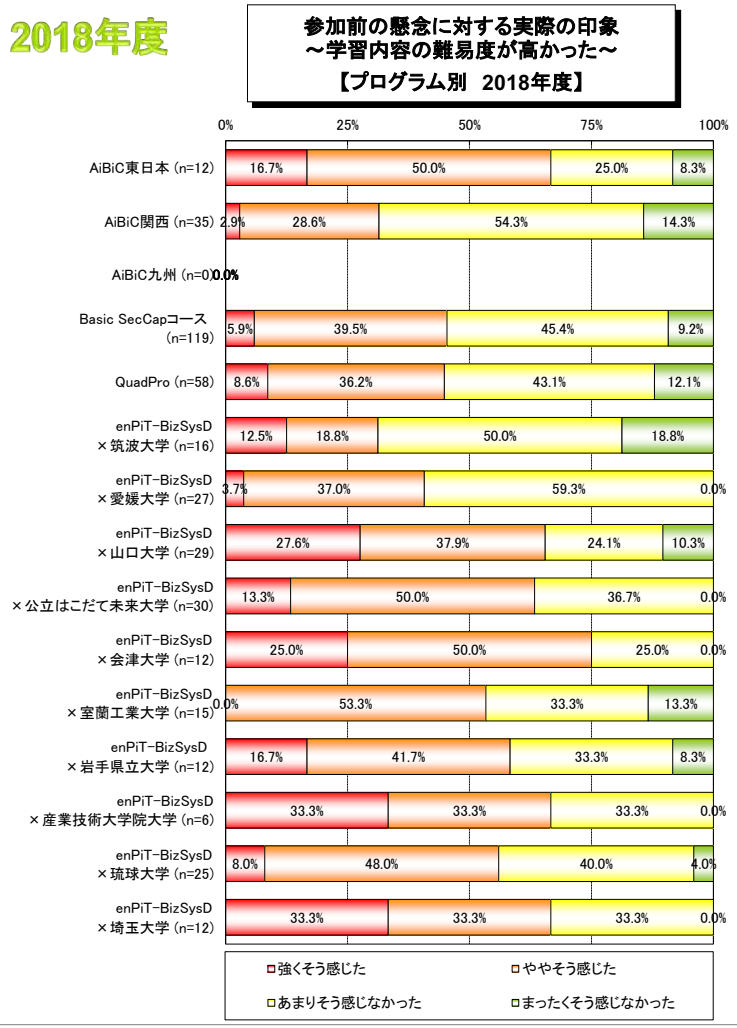
参加前の懸念に対する実際の印象
～研究や学習との両立が難しかった～
【学年別 2017年度】



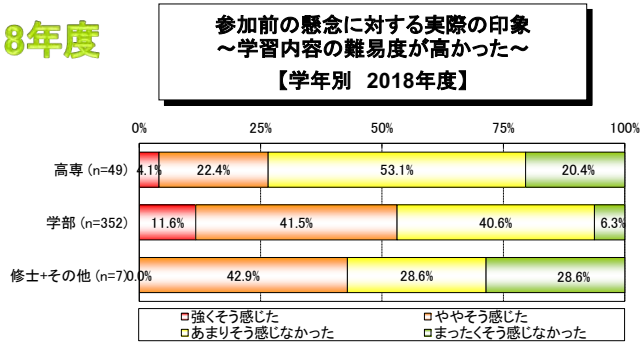
enPiT参加前の懸念に対する実際の印象（2018年度：プログラム別／学年別）②

【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



2018年度

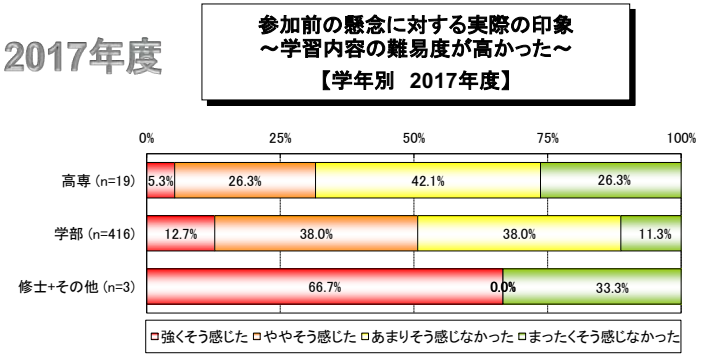


enPiT参加前の懸念に対する実際の印象（2017年度：プログラム別／学年別）②

【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2017年度

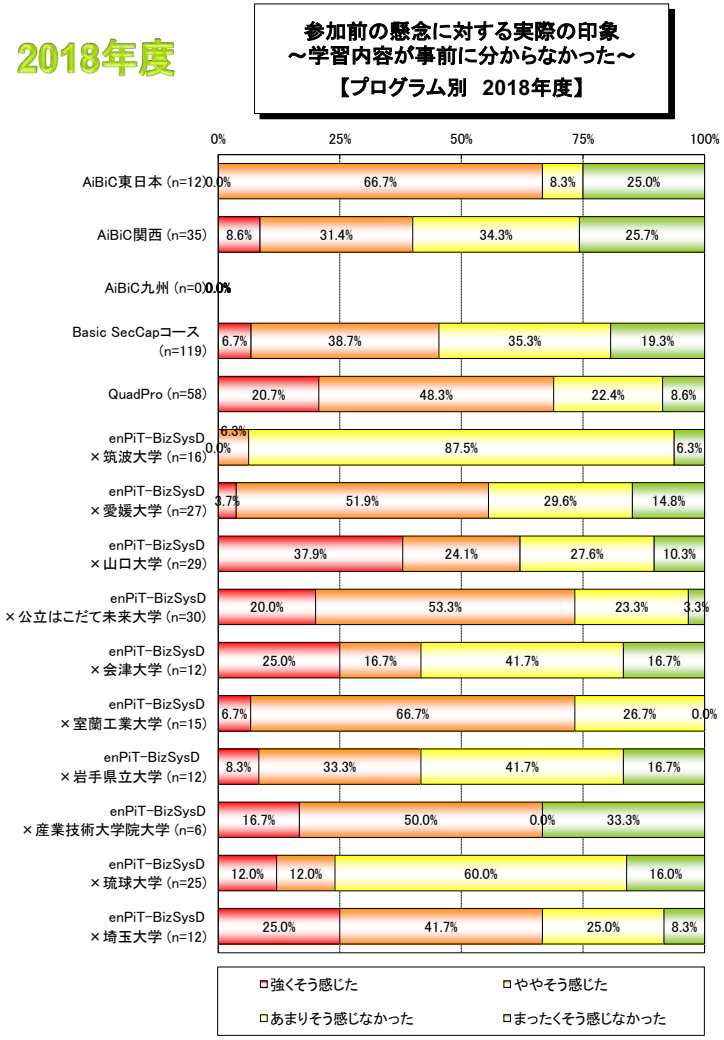
2017年度



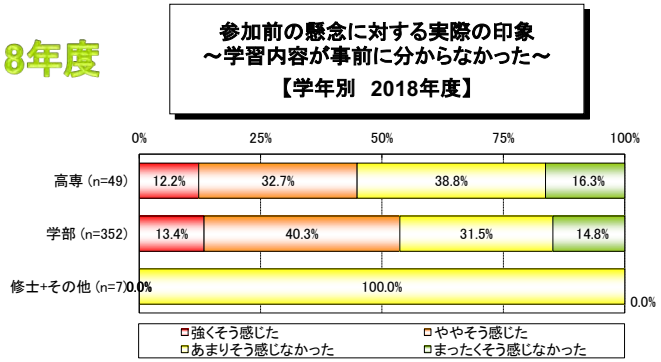
enPiT参加前の懸念に対する実際の印象（2018年度：プログラム別／学年別）③

【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



2018年度

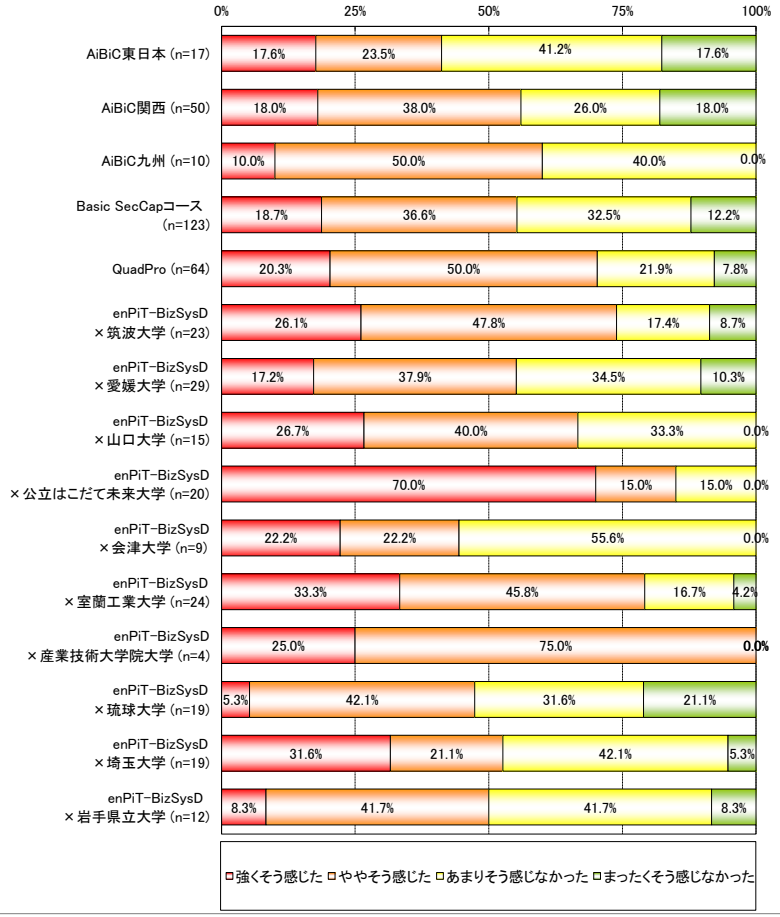


enPiT参加前の懸念に対する実際の印象（2017年度：プログラム別／学年別）③

【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

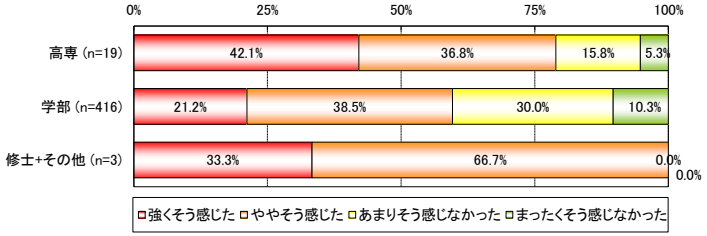
2017年度

参加前の懸念に対する実際の印象
～学習内容が事前に分からなかった～
【プログラム別　2017年度】



2017年度

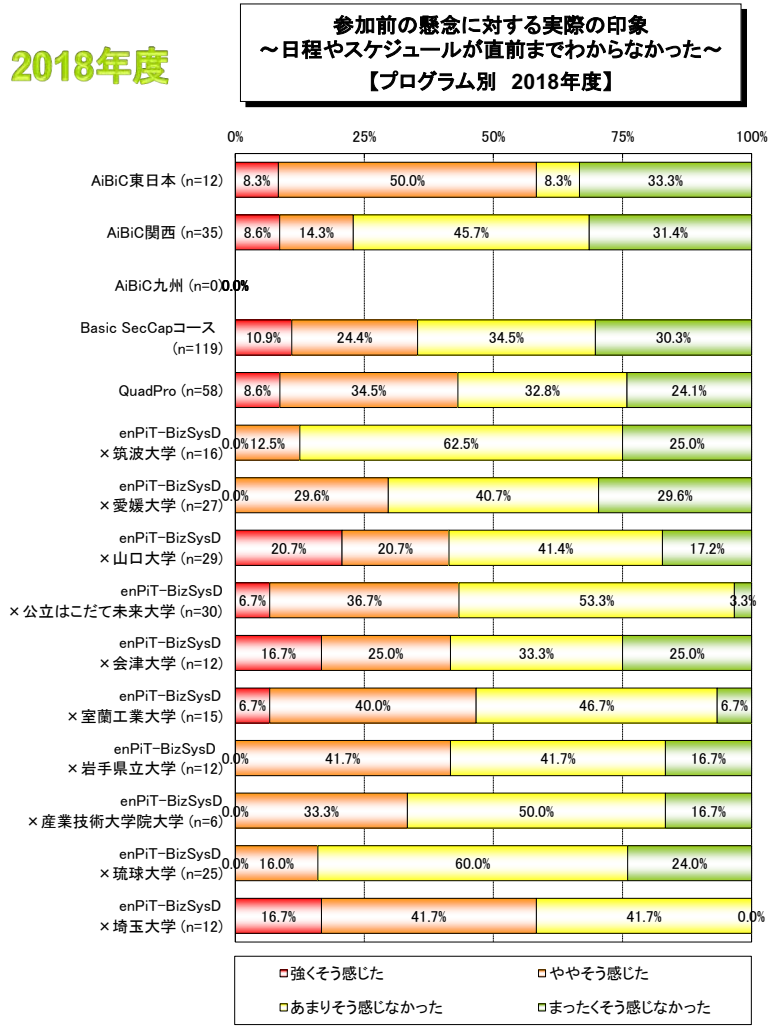
参加前の懸念に対する実際の印象
～学習内容が事前に分からなかった～
【学年別　2017年度】



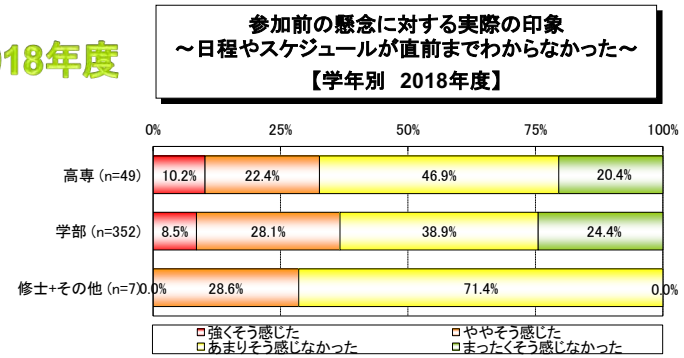
enPiT参加前の懸念に対する実際の印象（2018年度：プログラム別／学年別）④

【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



2018年度

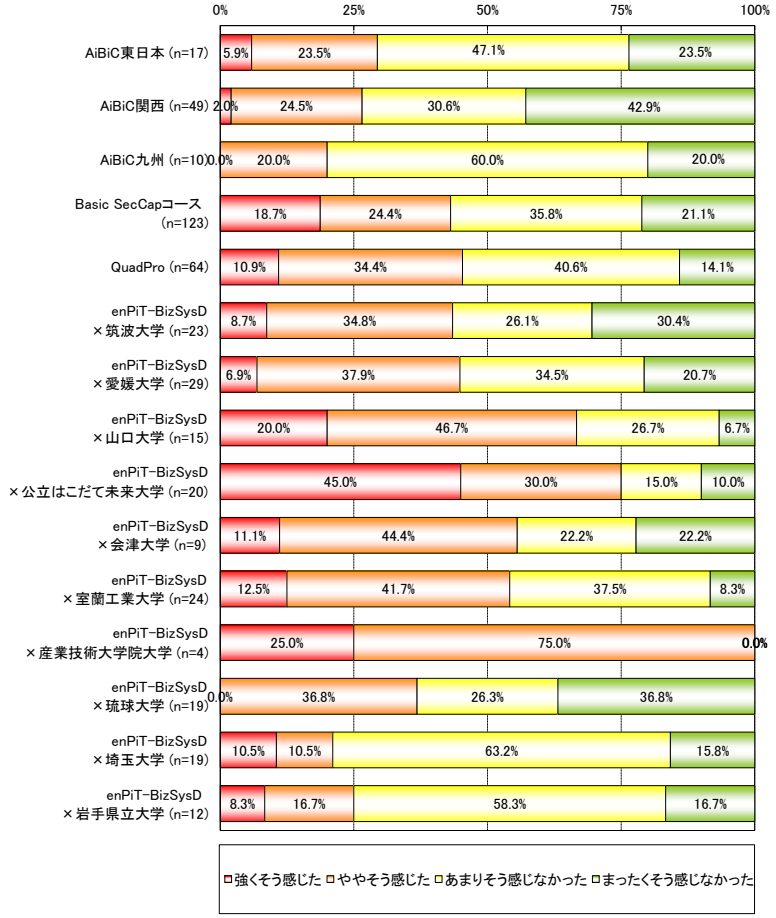


enPiT参加前の懸念に対する実際の印象（2017年度：プログラム別／学年別）④

【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

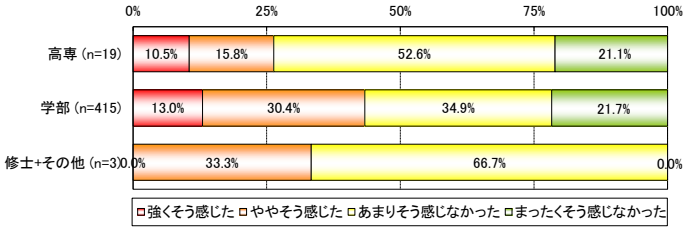
2017年度

参加前の懸念に対する実際の印象
～日程やスケジュールが直前までわからなかった～
【プログラム別　2017年度】



2017年度

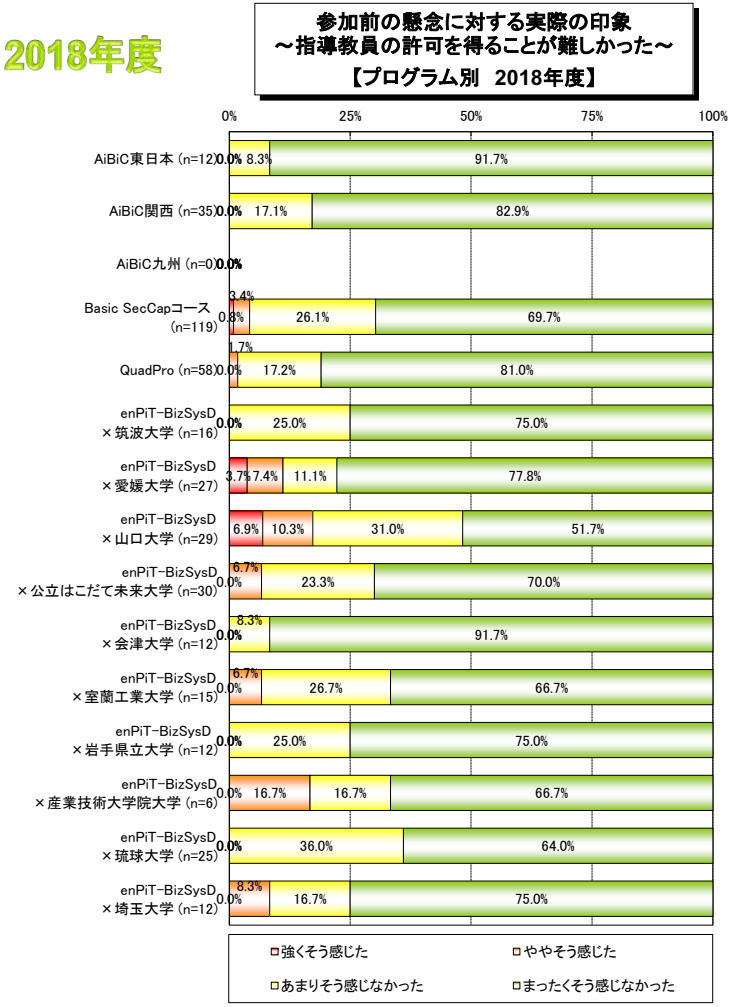
参加前の懸念に対する実際の印象
～日程やスケジュールが直前までわからなかった～
【学年別　2017年度】



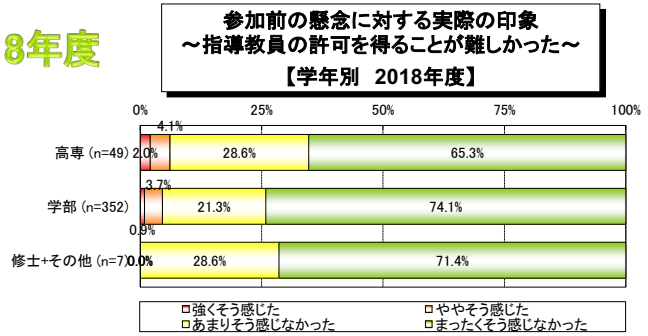
enPiT参加前の懸念に対する実際の印象（2018年度：プログラム別／学年別）⑤

【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



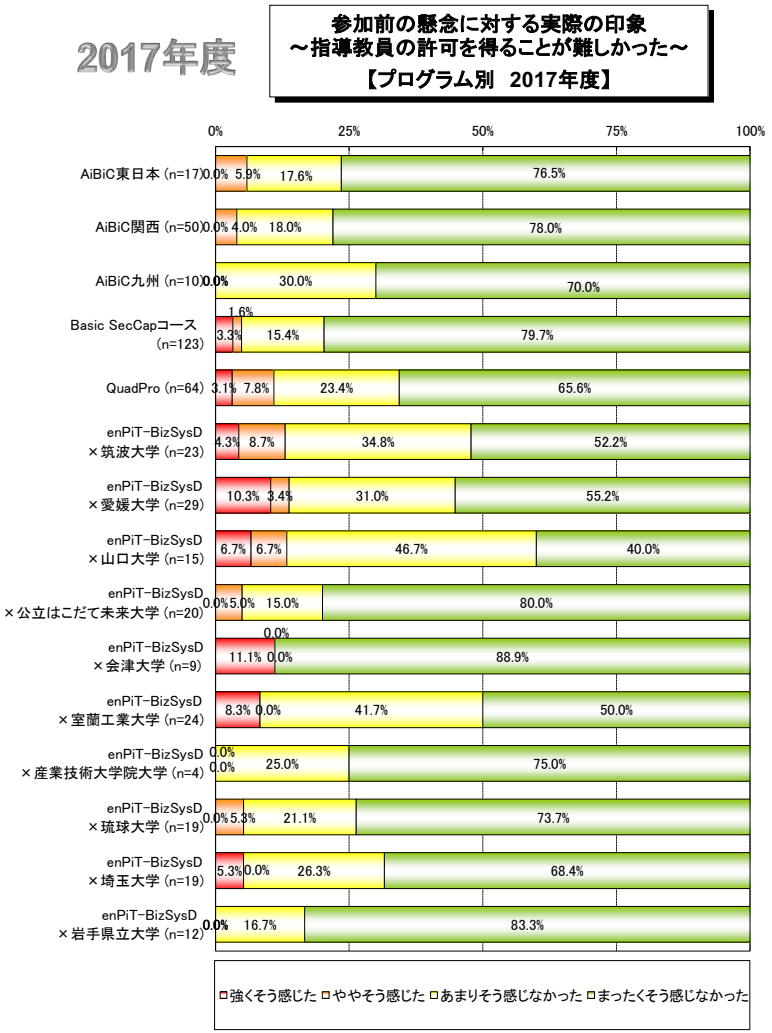
2018年度



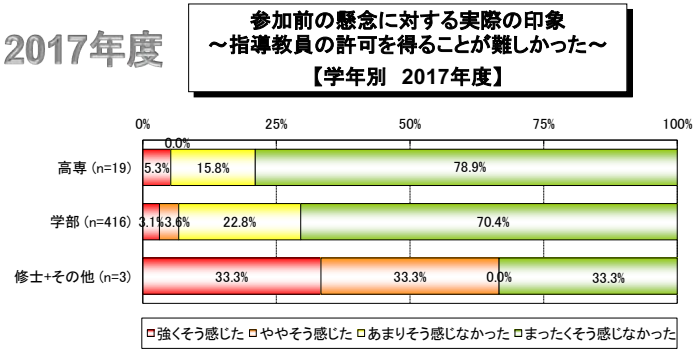
enPiT参加前の懸念に対する実際の印象（2017年度：プログラム別／学年別）⑤

【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2017年度



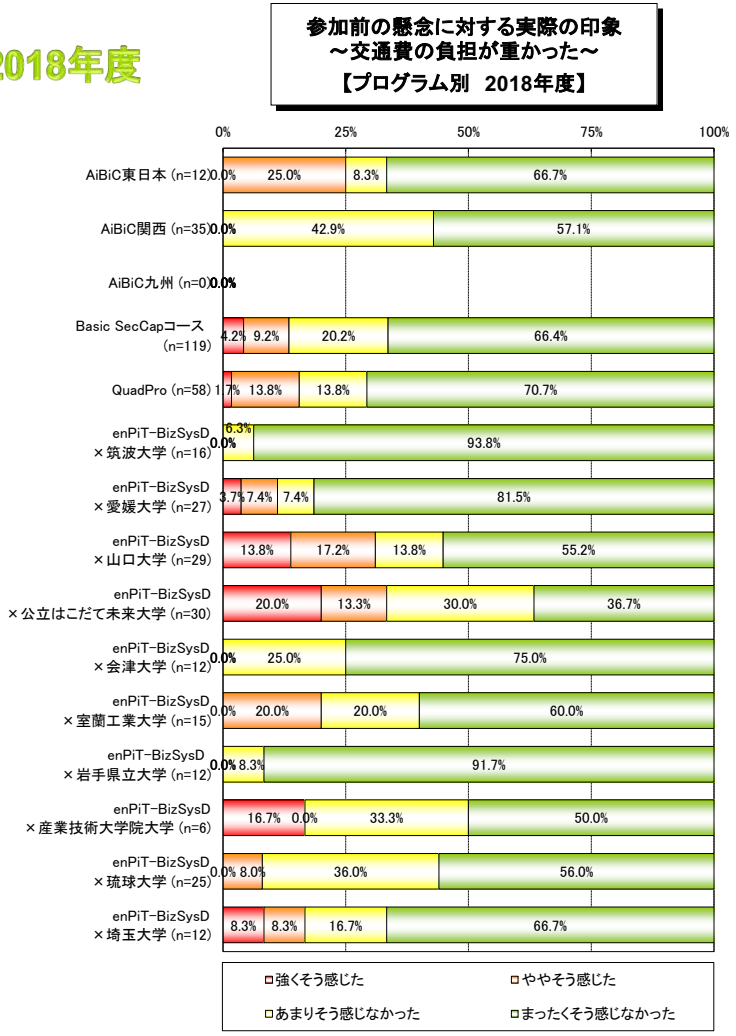
2017年度



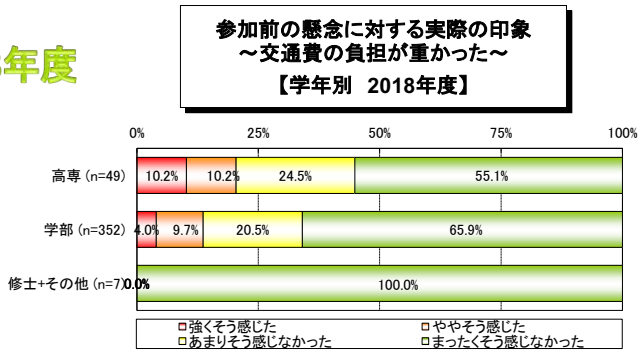
enPiT参加前の懸念に対する実際の印象（2018年度：プログラム別／学年別）⑥

【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



2018年度

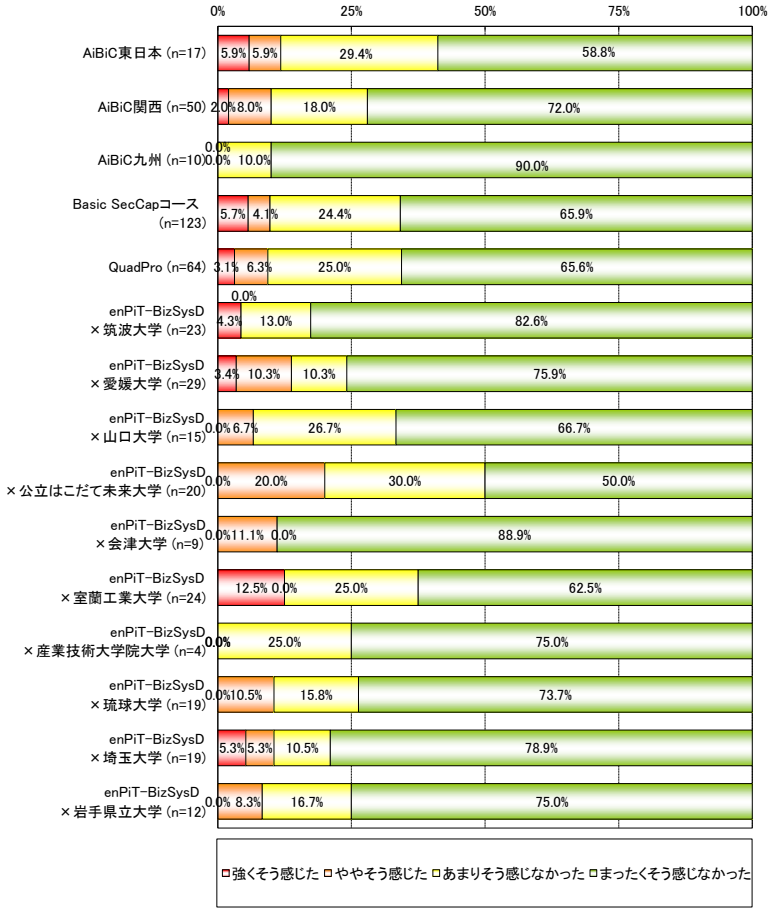


enPiT参加前の懸念に対する実際の印象（2017年度：プログラム別／学年別）⑥

【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

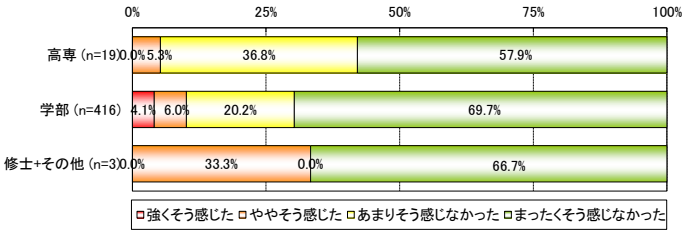
2017年度

参加前の懸念に対する実際の印象
～交通費の負担が重かった～
【プログラム別　2017年度】



2017年度

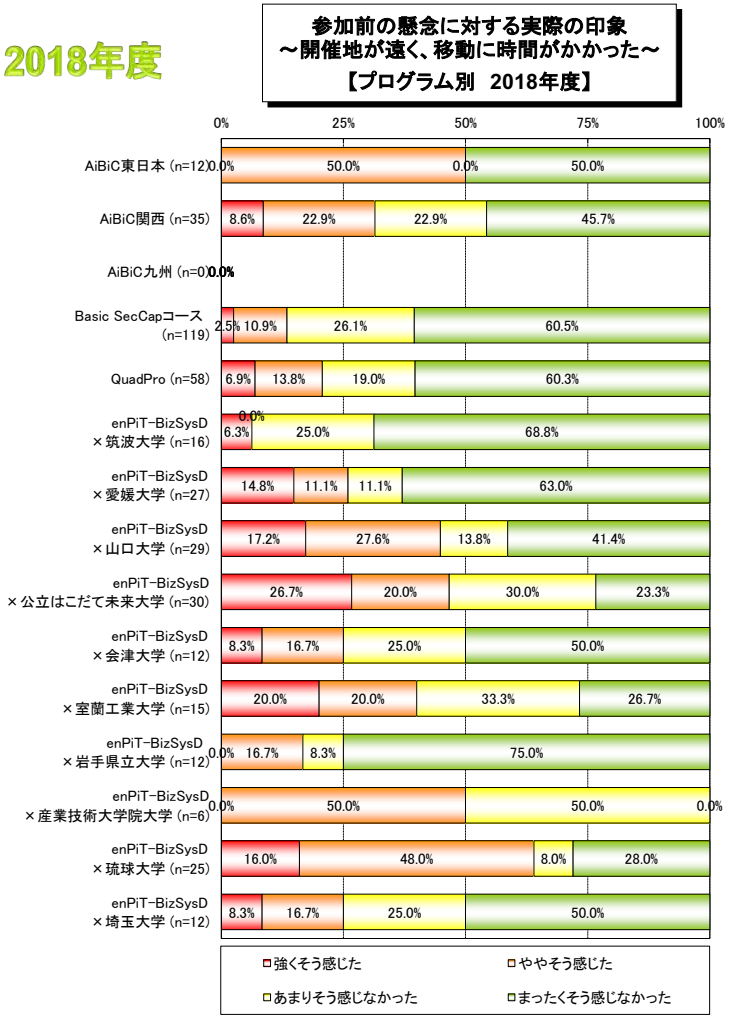
参加前の懸念に対する実際の印象
～交通費の負担が重かった～
【学年別　2017年度】



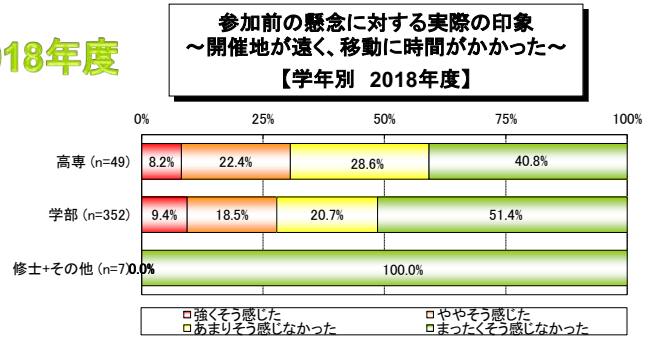
enPiT参加前の懸念に対する実際の印象（2018年度：プログラム別／学年別）⑦

【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

2018年度



2018年度

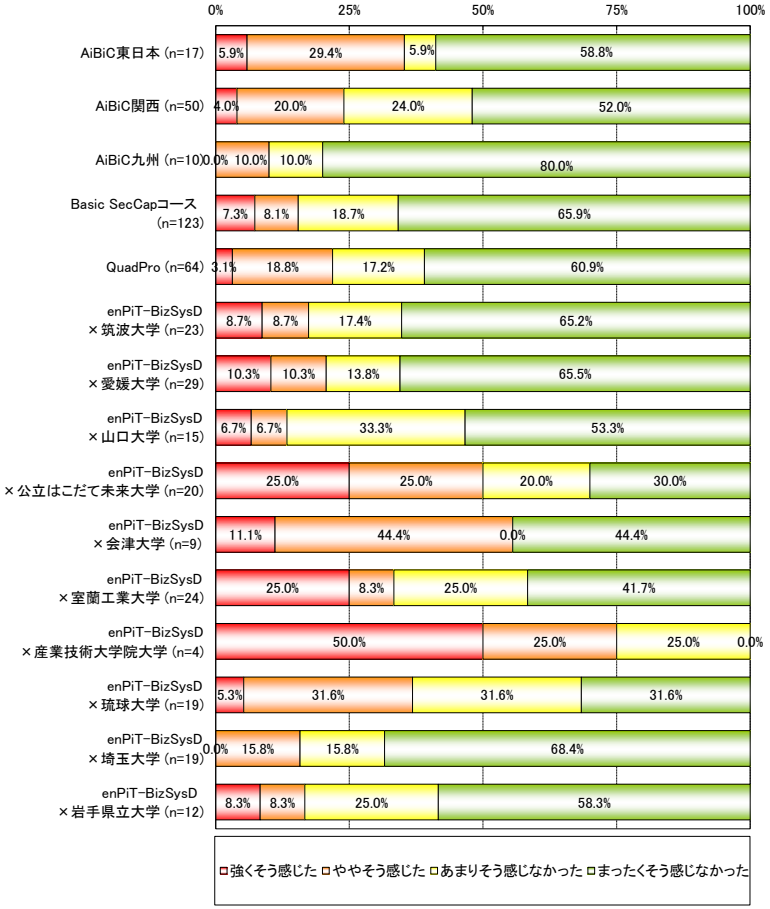


enPiT参加前の懸念に対する実際の印象（2017年度：プログラム別／学年別）⑦

【問13】前問のenPiTプログラムに参加する前に感じたあなたの不安や懸念に対して、受講中はどのように感じましたか。以下のうち、当てはまる選択肢をそれぞれ選んでください。

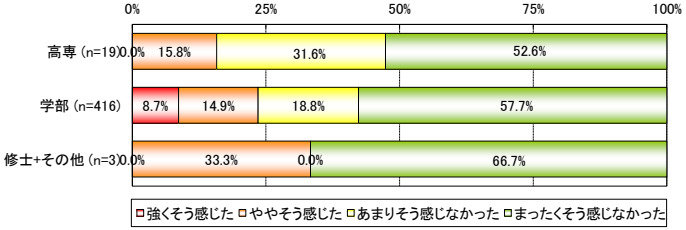
2017年度

参加前の懸念に対する実際の印象
～開催地が遠く、移動に時間がかかった～
【プログラム別　2017年度】



2017年度

参加前の懸念に対する実際の印象
～開催地が遠く、移動に時間がかかった～
【学年別　2017年度】



enPiTに関する不安・懸念に対する解決策　＜自由回答要約＞

【問14】前問のような不安や懸念を、あなたはどのように乗り越えましたか。
これからenPiTプログラムを受講する方へのアドバイスも込めて、あなたの解決法を以下に自由にご記入ください。

テーマ	受講者の主な回答 【要約】
周囲との連携・サポート	■ 不明な点等があっても、**教員やTA、メンター等**に対して積極的に相談・質問したり、指導してもらうことによって、解決できる。 ■ 自分のスキルや技術のみでは難しい問題であっても、**同じチームのメンバー**に相談することで、問題を解決することができ、さらにお互いを高め合うこともできる。 ■ プログラムを通して不安なことがあっても、**同期の学生や友人、チーム外の受講生のほか、前年度の受講生等**に相談等を行うことで、乗り越えることができる。
enPiTに対する意識づけ	■ プログラムに対する不安や懸念があったとしても、目的意識などを**モチベーション**とすることで、やりきることができる。
自発的な取組	■ プログラムで学ぶ内容等について、予習や復習など**自律的に学習する**ことで、講義や演習の理解度を高めることができる。 ■ スケジュール管理やタスク管理、定期的なミーティングによる状況共有など、個人やチームの**効率性を向上**させることで、他の活動と併行しながらプログラムに参加することができる。 ■ **チームメンバーとのコミュニケーション**を積極的に働きかけることで、演習等のチーム活動を推進することができる。 ■ プログラム参加企業の先生や先輩、教員等への相談など、不明な点があれば**主体的に行動**することで、不安等を解決できる。

enPiTに関する不安・懸念に対する解決策①

【問14】前問のような不安や懸念を、あなたはどのように乗り越えましたか。
これからenPiTプログラムを受講する方へのアドバイスも込めて、あなたの解決法を以下に自由にご記入ください。

周囲との連携・サポート① 教員・TAに相談・質問する

- 組み込みシステム開発は一から開発環境を作るため大変かと思っていたが、プログラミング作業は専用の関数を使い、一般的な言語でコードを書くだけだったため、受講前に思っていたよりは難しくなかった。zumoシステムのプログラミングを見ることで、細かいセンサーの扱いが見えて、未知のシステムという不安が消えた。そのほか、時間外に**TAや先生に積極的に聞くことで不安を消していった**。積極的に分からないことは放置せず解決しに行く習慣がついた。
- **担当教授やTAのアドバイス**により、よく分からない部分の理解を深められ、改善に繋がった。
- 特に大きな問題ではなかったので何もしませんでした。もし不安であれば**担当の先生に相談すればよい**と思います。
- 分からないことは**enPiTの担当の先生にメールやSlackで聞くと丁寧に教えて下さった**ため、分からないことがあっても乗り越えることができた。
- チーム開発の経験がなく、非常に不安でしたが、**教員の方々から丁寧に教えてもらい**、とても助かりました。またチーム全員ができないことを責めたりすることはなく、全員でやっていこうという意思があったため、なんとかやり切れたと思います。
- enPiTで初めてRuby on Railsを触ったため、自分では分からないことも多かったが、**教員やメンターの方たちに聞く**ことで解決策が見つかった。

enPiTに関する不安・懸念に対する解決策②

【問14】前問のような不安や懸念を、あなたはどのように乗り越えましたか。
これからenPiTプログラムを受講する方へのアドバイスも込めて、あなたの解決法を以下に自由にご記入ください。

周囲との連携・サポート② **チームメンバーに相談・質問する**

- 講義からとても丁寧にしていただいて非常に理解しやすかった。もしあなたが分からなかったとしても、**チームの誰かが知っていることが多いため、怖がらずに聞いてみましょう**。それがきっかけとなって、他大学の学生と仲良くなれることもあります。
- **チームメンバーに経験者がいたため、不明な点等を聞くことができた**。また、チームメンバーと研究内容をしっかりと話し合い、明確な道筋を作り上げた。
- 学習の難易度が高いと感じた時は、チームのメンバーと協力し合うことで解決した。具体的にはプログラミングで難易度が高いと感じた。扱った言語は初めて触れるもので、プログラムを書いていけるか心配だった。そのため、プログラミングしていく中で分からないことは極力悩み過ぎないようすぐに**チームのみんなに質問したり**、作業する時に担当者を複数人にするなどして対応した。
- **グループのメンバーと話し合う**ことで、ある程度の不安や問題は解決することができた。
- 他学校では教えられ、自学で教えられていないことが講義で取り扱われると、講義や実習で他学生と差ができてしまわないか不安だったが、話を聞くことで内容を理解することができた。どうしても分からない部分は**知っている学生にフォローをお願いした**。
- 参加するまでの情報が少なかったように感じました。しかし、実際参加してみると忙しいことは確かでしたが、そこまで怖がる内容ではありませんでした。課題も一つずつ**チームで情報を共有**しながら乗り越えることができました。チームで開発を行うため、チームで解決することを考えてみると良いと感じました。
- **優秀なチームメンバー**に教えてもらった。

enPiTに関する不安・懸念に対する解決策③

【問14】前問のような不安や懸念を、あなたはどのように乗り越えましたか。
これからenPiTプログラムを受講する方へのアドバイスも込めて、あなたの解決法を以下に自由にご記入ください。

周囲との連携・サポート③　友人に相談・質問する (1/2)

- 授業開始時は内容が難しい上に周りの人達は志が高い人達ばかりで非常に戸惑った。ただし、そうした志が高い人達であるからこそ、様々な面白い話を聞くことができる。授業で分からなければ教員のほか、周りの学生に聞いた。**大学外の人達と交流して**自分もがんばろうと思うようになったため、周りの友人には非常に助かった。
- **同じ大学の参加者から予め基礎知識を教えてもらい**、学習内容に関する不安を解消しつつ参加した。移動に関しては台風などの影響もあり、交通が不便だと感じたことがあったものの、元々遠い場所からの参加していたため仕方ないと割り切った。
- 学習内容で分からない部分は、**他の学生や指導教員に積極的に助けを求める**ことで乗り越えた。人に尋ねてスピード早く解決することの良い練習にもなった。
- 大学の友達と一緒に受講していたため、**友人とお互いでモチベーションを上げ**ながら乗り越えた。さまざまな体験をすることができるのでおすすめです！
- 必ず**学習内容を知っていたり、やったことがある人**がいるので、**その人に分からないことは聞く**こと。他の学校の人に積極的に話しかけることによって、他学校がどのような勉強をしているのか知る機会となる。
- enPiTの演習では、他大学の学生と一緒に講義を受けることに不安を感じていました。学力の高い大学主催の講義を受講したため、高度な講義・演習が行われることを予想しており、ついていけるか不安でした。しかし、実際に演習に参加してみると、講義や演習の難易度はその分野の知識や経験にのみ依存すると分かり安心しました。特に私の得意とする分野では、不安が解消されるどころか、他大学の学生をリードすることができました。また他大学の学生と比較すると自身の方が知識量が多い場合もあり、積極的に質問してくれました。もし知識や技術量に不安があっても、当日**「他の学生からたくさん教えてもらおう！」という姿勢で臨む**のが良いと思います。
- **友人に相談したり、他大学の学生と協力**することで、不安を解消することができ、自分もステップアップすることができたと思う。

enPiTに関する不安・懸念に対する解決策④

【問14】前問のような不安や懸念を、あなたはどのように乗り越えましたか。
これからenPiTプログラムを受講する方へのアドバイスも込めて、あなたの解決法を以下に自由にご記入ください。

周囲との連携・サポート③　友人に相談・質問する (2/2)

- 理解できないところを**友人から教えてもらう**ことで解決した。
- **前年度の受講者**から情報を得た。
- 自分だけしか参加しなかったので不安ではあったが、他のプロジェクトの**友人と一緒に取り組む**ことで不安なことを払拭することができました。
- 昔に**enPiTに参加していた先輩**に対処法を聞いた。
- **参加する他の学生**との情報共有を図ったり、担当教員に連絡を試みる等した。
- **過去に受講した先輩**からお話をお伺いしました。また、担当の先生からお話を聞く機会を設けていただくようにお願いしました。

enPiTに関する不安・懸念に対する解決策⑤

【問14】前問のような不安や懸念を、あなたはどのように乗り越えましたか。
これからenPiTプログラムを受講する方へのアドバイスも込めて、あなたの解決法を以下に自由にご記入ください。

enPiTに対する意識づけ　**目的に向けた強い意志を持つ**

- **難しい内容になると自然とモチベーションが上がった**。
- 遠方からの参加ということもあり、毎回宿泊が必要になり、移動にもかなりの時間がかかったが、**プログラムへの参加が楽しみ**で予習復習の時間に当てた。
- 障壁があっても**内容への興味や意欲、関心が強かった**ため、それらが原動力となって耐えることができました。
- 学習内容が難しく、チーム活動において委縮してしまっていましたが、**自分にできる役割を見つけ出し動く**よう努めました。
- 何とかするしかないと**自分を鼓舞した**。
- **何事も経験だと思って**乗り越えました。
- **授業や実験に積極的に参加する**ことで、質問や小テストを通じて理解を深めることができた。
- **とにかく一生懸命、開発や授業を受けた**。そしたら、いつの間にか不安は消えていた。
- 自分は教職も履修していますが、**「やらなければ何も得られない、大変だけどやらなかった人間とは差が出る！」と自分に言い聞かせた**。
- **根気**が重要。
- **「なるようになる」と前向きにとらえた**。
- 卒業研究と両立するため、前期の忙しくない時期に研究を進めた。後期はenPiTの成果物を提出するため、そちらに時間を割く時間が多くなり、結果的に**前倒しで研究を進めた**ことは効果的だったと感じた。
- **授業時間はenPiTに集中し、授業外でも時間を決めて取り組み**、チームメンバーに頼ることで、研究や学習を両立できると思います。一人で開発しているわけではないので、みんなで知恵を絞って手を動かしていけば着実に良いプロダクトを作っていくことができるはずです。

enPiTに関する不安・懸念に対する解決策⑥

【問14】前問のような不安や懸念を、あなたはどのように乗り越えましたか。
これからenPiTプログラムを受講する方へのアドバイスも込めて、あなたの解決法を以下に自由にご記入ください。

自発的な取組① 自主学習に取り組む

- 講義と講義の間の時間が比較的空いていたため、**時間をみつけて復習に時間を割いた**。
- 復習の際に、講義資料だけでなく、**インターネット等の情報を参考にした**。
- **図書館を利用して様々な情報を集めた**。
- 前もって**できる限り予習を行った**。
- セキュリティ分野の講座を受講しましたが、事前知識があるのとないのとでは内容の理解が全く違います。しかし、もし興味があり、事前に浅く広い知識があれば楽しいし、深く理解できるでしょう。私は普段からプログラミングや通信方式について学んでいたため、その分野に関する内容は理解しやすかったですが、電子回路、計算機アーキテクチャの話になると理解することが大変であり、特に電子回路に関しては理解できませんでした。受講する際には**基礎となる分野を理解**した後に受講されることをお薦めします。
- 学校の授業を理解していればさほど不安なことは無い。**しっかり予習復習**しておけば大丈夫です。
- **自分の基礎知識を増やす**ことで、さまざまなことに対応できるようにした。
- **事前学習をしっかり行った**。
- 学習との両立は、自分で**きちんと計画を立て、空き時間などに少しでもやるように心がけた**。スケジュールやイベントの内容が決まらないとこちらからどうすることもできないので諦めて待つほかなかった。
- 授業とenPiTの両立は大変だったが、食事の時などでも情報を調べるなど、**使える隙間時間をenPiTに割いて**乗り越えた。
- アルバイトの時間を減らし、**空き時間で勉強しました**。

enPiTに関する不安・懸念に対する解決策⑦

【問14】前問のような不安や懸念を、あなたはどのように乗り越えましたか。
これからenPiTプログラムを受講する方へのアドバイスも込めて、あなたの解決法を以下に自由にご記入ください。

自発的な取組② **効率を高める**

- 研究や学習の時間とは別にenPiTに費やす時間を設け、それぞれに**費やす時間を明確にした**。
- **ミーティングを定期的に行う**ことで進捗を把握しきちんとした計画を立てた。
- 授業との兼ね合いは気合で頑張るしかない。**スケジュール管理**を行う良いきっかけになるので頑張ってほしい。講義内容はレベルが高いが、その分、得られるスキルも大きい。
- プロジェクト学習と呼ばれるPBLの講義にて**アジャイル開発を導入した**のでしっかりと両立することができた。またenPiTの特別講義でもアジャイル開発の内容を学習することができたのでよかった。
- グループで集まって作業することが中心だったため、時間を割く必要があった。集中できない日、進歩がない日なども当然あるため、時間が無駄にならないよう、**早急に切り上げたり、気分転換などを行った**。
- 誰か1人に仕事が集中しないように、予め**チームの皆で効率的にタスクを割り振った**。分からないことがあった場合はチームで協力して進めた。
- **やることを早めに決めて取り組んでいく**。
- **毎日のタスクをメモに書き、何をやればいいのか把握する**ことで、やることが多すぎて何をやればいいのか分からないという状態に陥らないようにした。

enPiTに関する不安・懸念に対する解決策⑧

【問14】前問のような不安や懸念を、あなたはどのように乗り越えましたか。
これからenPiTプログラムを受講する方へのアドバイスも込めて、あなたの解決法を以下に自由にご記入ください。

自発的な取組③　チームメンバーとのコミュニケーション (1/2)

- **他の学校の学生とコミュニケーション**を行い、実習できるかどうか。
- **チームメンバーと協力**することで、成果発表までにシステムを完成させることにより乗り越えた。
- **班員と協力**して予定を上手く立てる。
- 臨機応変な対応と**周囲の人との協力**で解決しました。
- **グループのメンバーで不安や問題点を挙げ共有**することで、同じ問題を抱えるメンバーとコミュニケーションをとったり、ほかのメンバーがその問題解決のサポートに取り組んだりした。
- グループでの開発は難しかったが、**コミュニケーション**をとってなんとか達成できた。
- **メンバーと連絡を取り合う**ことによって解決した。
- 大学の授業で別の開発プロジェクトにも並行参加しており、そちらに注力していたため、enPiTプログラムの活動にはあまり積極的な参加はできませんでした。しかし、チームメンバーがしっかり活動を行ってくれていたため、授業側が落ち着いた頃を見計らって活動に参加することが出来ました。やむを得ない事情であまり活動できない時は、**正直にチームメンバーに話し、きちんと理解を得る**ことが大事だと思いました。
- SysBizDは基本的に納期が厳しいです。余裕を持っているとあっという間にデスマーチに突入します。重要なことはテーマをなるべく早く決めることです。テーマを決めて作るものを決めれば、後は作るだけなので楽です。作るものが決まらないとチームが右往左往してしまい、人によっては居心地が悪くなります。また、順調に進んでいる場合でも、基本的に週一回以上課外で集まって作業しないと、ものによっては間に合いません。他の講義を受ける人は**チームの中で話し合いをして、合意形成**した方がいいです。ひたすら苦しみ抜いて最後の発表で報われるという感じなので、そういうのが苦手な人は注意してください。
- まず**話し合いが大切**だと思いました。最初のうちは予定を入れないでしっかり話し合って進めないとボロがでます。

enPiTに関する不安・懸念に対する解決策⑨

【問14】前問のような不安や懸念を、あなたはどのように乗り越えましたか。
これからenPiTプログラムを受講する方へのアドバイスも込めて、あなたの解決法を以下に自由にご記入ください。

自発的な取組③ チームメンバーとのコミュニケーション (2/2)

- **週に1回以上はメンバー全員が集まり、活動する**時間を作るようにした。
- 開発に壁を感じた時は、調査したり、**周りを巻き込んだり、助けを求めたりする**フットワークを磨く。チーム内でお互いを尊重しながらも、各自が当事者意識を持って考える。感じたことを発信し情報交換を惜しまない。
- 忙しい時は**他のメンバーにカバーしてもらって**乗り切った。
- Rails Tutorialを夏休みのうちに終わらせないと厳しいです。あとは**チャットツール等を活用して積極的にコミュニケーションを取ろう**。
- **同じ開発チームの仲間とともに悩みを解決**し、一緒に成長できたので、乗り越えられたと思う。

自発的な取組④ 主体的な行動

- 特に不安に感じたことはなかった。ただしその理由は、昨年度受講した先輩や、紹介した先生に事前に**話を聞きに伺うという行動をした**からです。気になることがあれば、ドンドンと聞くことをオススメします。
- **直接サポート企業等へメールして確認した**。スケジュールの確認等は早めにしたほうがいいです。
- **とにかく行動する**ことで、不安なことは出来るだけ考えないようにしました。やってみればとても自分の身になる講義だと思います。

enPiTに関する意見・改善点　＜自由回答要約＞

【問21】enPiTプログラムに対する意見や改善したほうがよいと感じる点などがあれば、以下に自由にご記入ください。

テーマ	受講者の主な回答 【要約】
講義	■ 最先端分野の基礎的知識のほか、開発に必要となるスキルの指導等、**講義の内容や粒度**について検討してほしい。 ■ 指導方法や講義・演習の時間、グループ体制など、**講義の方法**について検討してほしい。 ■ 講義で使用する機器や通信環境、実施施設など、**講義の環境**の整備について検討してほしい。
負担	■ 移動や運営体制などによる、**講義にかかる負担**が大きい。
実施時期	■ 遠方からの参加や、他の活動との調整という観点で、プログラムの**開催時期や時間**について見直してほしい。
運営	■ プログラムに関するスケジュールや授業内容、受講する上での前提知識などの情報について、**事前に知りたい**。 ■ チーム間だけでなく、**チーム以外のメンバーとの交流の機会がほしい。**

enPiTに対する意見・改善点①

【問21】enPiTプログラムに対する意見や改善したほうがよいと感じる点などがあれば、以下に自由にご記入ください。

講義に対する意見① 講義内容について (1/2)

- **内容及びプログラムの密度の向上**。短期集中期間はやっていることが単調で退屈だった。
- azure等などのグラフィカルなものを使わず、**機械学習等について理論をもう少ししっかりと教えてほしい**。またTensorFlowのLow level APIなど、**論文に書いてあるようなことを自力で組めるようなプログラム**だと嬉しかった。内容も少し薄く、対象の多くは3回生であることから就活もなかったため、**事前学習や講義内容を充実させた方が好ましかった**。外部の講義で単位が出るとは言っても必修ではないため、少し易しすぎるのではないかと感じた。
- **演習が簡単。ほとんど考えなくて良い**。企業セミナーの時間が短く、身にならなかった。班員以外の人との交流時間がない。
- AIやクラウドを使った開発手法について学べたが、**AIはどのように動いているか、クラウド上でどのように処理しているか**といったことについてさらに知りたかった。また、丁寧に使用したプログラムの使い方を説明してくれたのは良かったが、丁寧すぎて深く考えなくても課題ができてしまうように感じた。
- **実習内容が期待していたよりも簡単で薄いものだった**ので、時間をもう少しかけて内容を濃くしてもらいたい。
- **セキュリティに関してはいくつかに細分化するべき**だと思います。まるで哺乳類や爬虫類といった種別があるにも関わらず、全てを生き物と呼んでいるようです。特に私は、Webセキュリティに関する知識を深堀りしたかったのですが、そうした講座が存在せず残念でした。セキュリティ総論は必要ではありますが、さらに深く学べる講座の必要性を感じます。
- 配布されたプログラムの使い方を間違えてバグが起き、背景のファイル構造を把握していなかったため、デバッグに結構な時間を取られたことがありました。勉強にはなりましたが、課題範囲の縮小にも繋がったので、**扱うファイルの説明**を強化して頂きたいです。
- デザイン（Webデザイン）系を学んでいる方やプログラミングを学んでいる方は今回のプログラムは普段学んでいることを最大限に生かせることができると思うが、**経営系の学科や医療系の学科の人には非常に難易度が高く**、他の人の役にあまり立てることができなかった。そのため、取り残されてるように感じた。

enPiTに対する意見・改善点②

【問21】enPiTプログラムに対する意見や改善したほうがよいと感じる点などがあれば、以下に自由にご記入ください。

講義に対する意見① 講義内容について (2/2)

- 全体的に**説明不足**。教員側も準備は大変だと思うが、連絡先も曖昧で、探しにくかった。また、説明する際も、**真意は伝えず、やってはいけないことだけを伝える**ため、学生側が深読みしたり、自分で制限を設けてしまうことがあった。
- サービスデザインの題材について、**漠然とした題材の設定からスタートしたので非常に難しかった**。
- 受講生たちに**指導教員が直接アドバイスする時間をさらに増やすべき**だと思った。直接的なアドバイスが指導教員から合宿中にあれば、その時にアイデアを修正できたが、中間報告会の時に初めてアドバイスされたため、その時点からもう一度別のアイデアを考えなければならなかった。それによってスケジュールが大幅に変更になったため、時間が足りなくなってしまった。受講生に任せっきりという印象を受けた。
- **Kotlinの勉強時間がなかった**ため、その時間を設けてほしい。
- **Rails Tutorialの義務化**。
- **アジャイル開発がどのようにして使われているか**、より具体的に理解できるようにしたほうがよいと思った。自分は企業説明会でアジャイル開発を導入し始めているという話を聞いて初めて使い方を理解した。合宿の昼の弁当。
- 事前学習に関して、**GitHubの使い方**をもうすこし分かりやすく説明してくれればよかった。
- **TDDを組み込めるプログラム**にする。

enPiTに対する意見・改善点③

【問21】enPiTプログラムに対する意見や改善したほうがよいと感じる点などがあれば、以下に自由にご記入ください。

講義に対する意見② 講義の方法について

- それなりに難易度の高い演習でも**手を動かす時間が十分に用意されていない**時が何度かあり、やり尽くせない感じが残ってしまったことが残念だった。
- **開発の時間をもっと長くしてほしい**です。やりたくても時間が足りなくてできないことが多くありました。
- 演習をメインに進める場合、ある程度考えて**グループ分けを検討したほうが良い**と思いました。こういったグループワークでは人選の理由が不透明な部分がよくある。やる気をあまり感じていない人とグループワークを行うことは楽しくありませんでした。コミュニケーションを取る気があまりない人がいたことも悲しかったです。
- **大学によって密度が大きく異なる**点。合宿がない場合や、時間がない中での開発など。
- **Swiftに触れる時間が短すぎる**と感じた。自分は理解が遅く、じっくり身に付けたいタイプなのできつかった。
- **授業時間**。
- **グループ分けが雑**で、夏期集中講座の評価を参考にしていない。
- マーケット分析について、合宿期間の前半で学び、それをすぐに合宿期間の後半で実践（自分たちの作成するアプリを考える）する形だったが、**基礎知識学習の段階でもう少し時間を割き、学べるようにしたほうが良い**と思う。
- **チーム人数は最低でも3人以上**にしてほしい。
- **体系的に学べる仕組み**は未整備であると感じた。

enPiTに対する意見・改善点④

【問21】enPiTプログラムに対する意見や改善したほうがよいと感じる点などがあれば、以下に自由にご記入ください。

講義に対する意見③　講義の環境について

- **機器**を増やすことができるように予算を増やしてほしい。
- 遠隔授業での**通信不良**が多々あったため、安定した通信環境で受講できればさらに良かったと思います。また遠隔であっても、せっかく他大学の学生が同時に同じ講義を受けているため、（一部の先生はそうされていましたが）学生に積極的に質問させると、大学ごとの特色が見えて面白いのではないかと思いました。
- プログラムの実演などがあった際、**実行画面が見えず**、何をやっているのか理解しづらいことがあった点。
- **遠隔講義**はやはり限界がある。
- 資料などで一部分かりにくいところがあったのが残念でした。そのほか、ネット上の通話を用いた通達などの場面で、**回線の問題**などにより聞き取りにくい箇所があった。
- 大学間のやり取りに使用した**ビデオ通話の準備**に時間を要していたところ。
- 説明会や競技中に**通信関連のトラブル**があったため、通信環境の改善をよろしくお願い致します。
- このプログラムを実施していくに当たって使用するツールがあるが、**ツールを使いこなす**のに相当な時間を取られた印象があった。そういったときは先生方から詳しい説明や手助けが欲しかったと思う。
- **セットアップ**をしっかりと行って欲しい。
- 人員面での不満はなかったが、**資源面**では不満を感じた。具体的には、実習の中でそのシステムの概要を構築する際に、部品が不足しているため、発想や考え方は素晴らしいものの考案者の意図が伝わりにくい発表が多発しているように感じたからである。無理にとは言わないが、**学生の発想に対応できる機器や設備**の活用を検討してもらえると活動がより有意義なものになると思う。

enPiTに対する意見・改善点⑤

【問21】enPiTプログラムに対する意見や改善したほうがよいと感じる点などがあれば、以下に自由にご記入ください。

学生の負担に対する意見

学生にかかる負担について

- 合宿中、**2回に分けて開催地に行く負担**は大きかった。
- もっと**運営の体制**を整えるべきだと思います。学生に対する負担がかかりすぎることが多くありました。

実施時期に関する意見

開講時期やスケジュールについて

- 遠距離からの参加者がいるので、**一時間程度開始時刻を遅く、終了時刻を早くする**方がいいのではないかと思います。その分、回数を増やすなどの方法を取れば、内容を削ることもなく、また遠距離から来る学生も参加しやすいスケジュールになるのではないでしょうか。
- **夏合宿**の実習はあまり良くないと感じた。宿泊先のお客さんを増やすための案を考えるというテーマであったが、宿の方に話を聞いても1年間通して客が少ないということはなく、これ以上増えても困るという意見が多かったため、合宿の意義があまり感じられなかった。
- **大学の通常講義との両立**が難しかった。
- **夏季休業**を挟んだ形でのワークショップは避けたほうが良い。
- enPiTプログラムの**日程**をしっかりとしてほしい。
- **合宿の時間が長く**て辛かったです。**最終日の午前まで講義を詰めないでほしい**。

enPiTに対する意見・改善点⑥

【問21】enPiTプログラムに対する意見や改善したほうがよいと感じる点などがあれば、以下に自由にご記入ください。

運営に対する意見① 事前の情報公開・案内 (1/2)

- **分散PBLや最終プレゼンまでの日程**について早めに説明いただきたく思いました。互いに連絡を取り合う分散PBLの存在を知らず、他の予定を分散PBL期間中に入れてしまいました。そのため、あまり時間が取れず、班員に迷惑をかけてしまいました。
- **事前に準備できるような説明**があれば、もっとスムーズに演習が進むと思った。
- 年度始めに日程が決定できるのであれば、**ある程度日程を決めた上で提示し、参加調査をしてほしい**。
- **受講の前提知識**を受講前に把握できれば、予習できて良かったと思う。
- プログラムの**日程の決定**をもう少し早くしてほしい。
- **スケジュール**が決まるのが遅すぎるので、もっと前前から決めて欲しい。
- **難易度や前提知識**をあらかじめ伝えておいたほうがいいと思った。やる気がある人は必要な前提知識を学んでから来るはず。
- もう少し**校内の掲示**が多いとよい。
- **日程**を予め決めてほしい。単位認定がかかっていたため、1ヶ月前の日程決定などでは遅すぎる。数ヶ月前から予定が埋まっていることもあるため、日程を決定してから講義の募集を行ってほしい。
- 特に長期休暇中に他大学で開催される演習について、**事前に準備しておくべき知識**を明示してもらえると、より深く理解できたのにと感じることがありました。
- **日程調整や時間調整**はできるだけ早めに決定して伝達してほしい。
- **スケジュールの連絡**、特に**企業側が関連する講義の連絡**等を早めにやってほしい。
- できれば、**もう少し早めに予定を発表**できればよい。
- **情報の発表が遅く**、予定の調節が大変だった。**2ヶ月以上前には開催日やその詳細をHPなどで情報を公開して欲しい**。

enPiTに対する意見・改善点⑦

【問21】enPiTプログラムに対する意見や改善したほうがよいと感じる点などがあれば、以下に自由にご記入ください。

運営に対する意見① 事前の情報公開・案内 (2/2)

- 最終成果発表会の日程や実施内容の**事前アナウンスが少し分かりづらかった**点。
- 通常授業では「売れるものを作る」ことを意識していない。今回もユーザーなどは意識していたが、無料アプリなら使いたいだろうという安易な考えの元、アプリ開発を行った。しかし、成果発表会において、来賓の方々から、開発したアプリは本当に売れるのかという意見をいただいた。売れるものを作るなどの目的があるのであれば、**次年度生には開発目的を予め伝えてほしい**。
- **イベントの詳細**は直前ではなく前もって教えてくれるともっと準備期間に当てれると思います。
- **スケジュール**はもっと早く知らせるべきだと何度か思った。また今回参加したプログラムから学べる点はあまりなかった。プログラミングやデザインなどを習っていない経営系や医療系の学生にとっては本プログラム内容はあまり役に立たず、疎外感を感じた。こうしたことが起こらないよう、プログラムが始める前に**予め内容を説明すべき**だと感じた。
- 8月の合宿に参加する前はどのような内容になるか想像がつかず不安でした。難しい内容に見え、ついていけるか不安だったため、もう少し**事前に情報がもらえる**と来年度参加する学生には嬉しいかもしれません。10月からのチーム開発では多くの支援をいただいたため情報の不足は感じませんでした。
- enPiTに参加するか決める段階では、enPiTがどのようなものか分かっていなかった。それでも私は、自分にとってプラスになるだろうと思って参加した。しかし、他の人はよく分からないプログラムには参加する気が起こらないだろうと思うので、**参加を決める段階では何を行うのか、ある程度決めてほしい**と思った。

enPiTに対する意見・改善点⑧

【問21】enPiTプログラムに対する意見や改善したほうがよいと感じる点などがあれば、以下に自由にご記入ください。

運営に対する意見② 大学間・チーム間の交流

- 一緒に**チームを組んだ人としか交流できなかった**ので、初回に全員が交流できる場があればいいなと思いました。
- **チーム外の人との交流があまりなかった**ので、レビューやレトロスペクティブツアー以外でも交流する機会があったら良かったと思います。

enPiTに対する意見・改善点⑨

【問21】enPiTプログラムに対する意見や改善したほうがよいと感じる点などがあれば、以下に自由にご記入ください。

enPiTに対する意見　その他 (1/2)

- 対象が学部生であるため3年生が多いことは分かるが、**3年生を推しすぎではないか**。4年生として参加したため肩身が狭かった。
- 開催校によって難易度に差がありすぎる。ある程度、**難易度を統一したほうが合同での成果発表会で発表しやすいのではないだろうか**。
- 必要な単位を3年次に全て取得する必要がある。インターン等のやむを得ない事情があり、ある講義に参加できず単位が取得できない場合であっても、現在のシステムでは修了できない。異なる学年でも受講できるなど、**修了条件を緩和したほうが良い**と思う。
- enPiT履修生以外の学生も受講できる講義において、学生の質が低下したことが気になった。当該講義は単位がもらえるため、単位欲しさに参加する学生もいたのではないかと感じる。enPiTプログラムに指定されている講義は**enPiT履修生以外も履修できてよいと思うが、単位取得は認めないほうが、質の向上になる**と思います。
- **グループワークの評価は参加者の相互評価にした方がよい**。
- **前年度受講した人がリーダーとして後輩を育てながらプロジェクトを進めていくOJTのような方法もあってもいいのではないか**。また、スクラムに関する講義があったが、実際に取り入れて開発を進めるわけではなかったため、その方法も取り込んだ開発を体験したかった。
- enPiTの広報動画では他大学との交流をアピールしていましたが、合宿の一週間でしか他大学と交流する期間はなく、また合宿期間も数日以外は自分たちのチームの開発に集中しなければならず、参加前に感じたような交流は一切できなかった。**他大学との交流については最初からアピールしないほうがいいのではないか**。また、国が抱える問題を解決するために分析を行い、実際にアプリ開発を行うことがあったが、リサーチの時間は少なく、明確なペルソナ設定も難しかったため、熱意を持って開発・プレゼンすることは難しいと思います。時間とテーマ手法が全くかみ合っていないように感じました。

enPiTに対する意見・改善点⑩

【問21】enPiTプログラムに対する意見や改善したほうがよいと感じる点などがあれば、以下に自由にご記入ください。

enPiTに対する意見　その他 (2/2)

- 合宿が始まる前は座学のみで、その座学で新しい知識や知恵は得られなかった。ただサンプルプログラムを打ち込み提出するだけ。全く受講する意味を感じなかった。さらに合宿でもアジャイル開発手法に触れる日数は数日のみ。PR動画では学生同士が和気あいあいと取り組んでいたり、他大学の学生と交流を行って新しい価値観や考え方などを共有していて楽しそうだったが、実際に受けてみると、他大学の学生と関われることもたったの数日しかなく、受講した目的が何一つ提供されていなかったと感じた。そのため、他大学の学生との交流や、サンプルプログラムをただ打つだけの座学ではなく、**アクティブポイントの高い講義をしたほうがさらに良い**。プログラムは座学でやらなくても一人で勉強できる。
- 今回のenPiTは、アイデアの良し悪しが評価に大きな影響を与えていたと感じた。一方、各学校のテーマによっては、アイデアの自由度が少ないものも見受けられた。enPiTを受講する上ではアイデア提案も重要な要素の一つだと思うので、**ある程度学生自身が考えることができるように取り組ませるべき**だと感じた。
- 自分は修士1年次の学生ですが、学部4年生のメンターの皆様の鋭い意見をもっといただきたかったです。やはり**学部生が修士の学生に意見・アドバイスすることはやりづらい**ように感じました。しかし、修士の学生は皆enPiTプログラムの意義を理解して受講しているはずですので、それに則った意見・アドバイス・批判は非常にありがたいものです。特に「ユーザーにとって何が嬉しいのか」、「自分たちが今考えていることは本当にユーザーのためになるのか」などの考え方は、研究では中々身につけられるものでは無いと思います。ぜひ、さらに活発な意見・批評が飛び交う場にしていただけると、今後の学生の皆様の更なる躍進に繋がると思います。
- グループ内で技術面の差ができてしまっていたので、**学習動画の視聴を義務化**するなど全体で統一すると、グループ内や、グループ同士の差が出にくくなるのではないかと感じた。

後輩に対するメッセージやアドバイス ＜自由回答要約＞

【問22】 enPiTプログラムをこれから受ける後輩にメッセージやアドバイスがあれば、ぜひご記入ください。

テーマ	受講者の主な回答 【要約】
メッセージ	■ **講義**を通して、ネットワーク技術やセキュリティ技術、アジャイル開発などの最先端分野に関する技術的なスキルのほか、コミュニケーションスキル、スケジュール管理など、実践の中で求められるスキルを磨くことができる。 ■ **他大学の学生や教員、実務で活躍している講師などと交流**する機会があるため、新たな人脈の形成のほか、新たな経験や発見があり、刺激になる。 ■ 実際に社会で必要となるスキルが身につくほか、プログラムで得た経験や学びを**就職活動などに活かす**ことができる。
アドバイス	■ 実際に**プログラムを受講するに当たっては**、自身による積極的な活動のほか、チームメンバーや教員等への相談など、他者との調整などについて留意するとよい。

後輩に対するメッセージやアドバイス①

【問22】 enPiTプログラムをこれから受ける後輩にメッセージやアドバイスがあれば、ぜひご記入ください。

後輩に対するメッセージ① enPiTで学べること (1/2)

- **AIやBig Data、Cloudなど**に少しでも興味があるなら参加してためになると思う。技術的に興味がない部分は少しつらいところも出てくるかもしれない。
- enPiTプログラムでは、**非常に多くの学びの機会**があります。最大限に活用して大きく成長して下さい。
- enPiTプログラムに参加することで**知識の獲得や交流関係の形成など**に必ず繋がります。いい刺激になると思うので是非参加してみてください。
- **情報セキュリティ**に詳しく触れられる機会はそう多くないので、興味がある人にとっては大変参考になると思う。
- **ネットワーク**の知識がないと思う人でも基礎から指導してくれるので安心して受けられます。
- 他校の生徒と交流するチャンスにもなり、単位ももらえます。**ネットワーキング技術**を学びたい人にお勧めします。
- 私はセキュリティ分野しか受けていないが、基礎から学ぶことができるため、**情報通信の知識がなく不安だと感じている人でも十分学ぶことができる**ためオススメできると思った。
- 普段あまり学ばない**専門的な内容**を深く学べる良い機会であると思います。
- **体系的に学ぶ**という観点では勉強になった。
- 基本的な学校の分野をこなせていれば容易に理解できるので、受講して**更なる知識の定着**に努めることをおすすめします。
- 大変なことや難しいことが多いですが、このイベントを通して**機械制御などを行うイメージ**がしやすくなると思います。
- 課題の難易度は高く、量も多い。そのため、どうしても初対面の学生と協力して取り組まなければならない。しかし、**そうした力は今後必ず必要となる**ため、ぜひその能力を培って見て欲しい。

後輩に対するメッセージやアドバイス②

【問22】 enPiTプログラムをこれから受ける後輩にメッセージやアドバイスがあれば、ぜひご記入ください。

後輩に対するメッセージ① enPiTで学べること (2/2)

- **チーム開発を経験**したい人にとってはよい経験になると思う。また、**スケジュール管理**がかなり重要であり、そうした能力はある程度身につけられると思う。
- 普段の講義より**実践的な講義**を受けたい学生におすすめです。**やる気がある人ほど成長できるカリキュラム**になっていると思います。
- 普段の授業とは違った**実践的な授業**を受けられます。授業とは違った学びを得たい人や、他大学の人を交流してみたい人は、ぜひ積極的に参加してみてください。
- **プロジェクト学習で役に立つこと**をたくさん教えてくれるので、とても役に立ちます。
- 学習した内容は**今後に活かせる内容が多い**ので、積極的に学習してください。
- **ソフトウェア開発の手法や実際のアプリ開発**について興味ある方はぜひ挑戦したほうがいいと思います。
- **ソフトウェア開発やアジャイル開発**に興味があるなら、十分満足できる内容だと思います。

後輩に対するメッセージやアドバイス③

【問22】 enPiTプログラムをこれから受ける後輩にメッセージやアドバイスがあれば、ぜひご記入ください。

後輩に対するメッセージ② enPiTを通じて得られる経験 (1/2)

- 私はAiBiCに参加しましたが、AiBiCプログラム終了後もチームメンバーが大阪に来た時に一緒にご飯を食べに行くなど、チーム全体で仲良くなりました。学ぶこと以外にも**いろいろな経験ができる**いいプログラムだと思います。
- **企業交流会でのつながりや、学外のつながり**は嬉しい。
- **様々な体験ができる**という視点から参加してみると良いと思います！
- **他大学の学生とチームになってプロジェクトに取り組む**ことは非常に楽しいので、参加したほうが良いと思います。
- 「内容についていけるか」といった不安を感じる必要は全く必要ありません。**多くの面でとても良い経験になる**ので、ぜひ受講してください！
- 演習形式で学ぶことができるため、実際に**理論から実践するといった体験**ができることが魅力の一つだと思う。
- 自分ではやる機会がまずなさそうな、**貴重な演習**が行えます。
- 私はセキュリティに興味があるが、何をしていいか分からないという思いから受講を決意しました。その結果、収穫は多いものの、事前にネット上で得られる浅い知識も多かったです。しかし、受講することで、**その分野に詳しい教授と接点を持てる**ことが最大の利点であり、是非教授と一度会話をしていただき、更なるモチベーション向上に役立てて欲しいと思います。
- **色々な学生と交流や協力できる**いい機会なので、気軽に参加して学びを楽しんでほしい。
- **実践的な開発を体験するよいきっかけ**になるので、実力を磨くためにもぜひ参加してみましょう！
- **自分が学んできたことが最適化された状態**を経験できます。ぜひ経験して楽しさを経験しましょう。
- **興味がある分野の研究を行える貴重な機会**であるため、時間に余裕があるのであれば、参加してほしい。

後輩に対するメッセージやアドバイス④

【問22】 enPiTプログラムをこれから受ける後輩にメッセージやアドバイスがあれば、ぜひご記入ください。

後輩に対するメッセージ② enPiTを通じて得られる経験 (2/2)

- **システム実装からポスターづくり、発表まで**、とてもいい経験になるので最後まで取り組んでください。
- **他大学の学生と交流がもてる**数少ない機会なので頑張ってください。
- 受講することで**発表練習**ができ、新しい体験ができると思います。
- このenPiTプログラムでは、自分たちで考えて形にしていくという、**普段の講義とは違った実践的な経験**をすることができます。もし機会があれば是非とも受講してみてください。
- **諦めない忍耐力**が鍛えられると思います。通常の授業では経験できないようなことを体験できると思うので、やってみてはいかがでしょうか？
- チーム開発と学習の意欲があればどなたでも**アジャイルな開発**を経験できると思います。是非参加してみてください。
- **他大学の方と交流する機会**なので自分から積極的に交流してください！
- **他大学の学生と交流できる機会**はなかなかないため、この機会にたくさん交流をして親睦を深めて、たくさん情報交換をしてほしいです。
- 最終成果発表会まで進めれば、**企業の方と知り合う機会**も増えていくので頑張ってください。また、アイデアは成果に直結しやすいので時間をかけて慎重に考えてください。
- **他大学や企業の方との人脈**を広げるチャンス！
- enPiTプログラムだからこそ得れるものが多く、**他大学との交流**も含めて、自分自身の視野が広がると思います。

後輩に対するメッセージやアドバイス⑤

【問22】 enPiTプログラムをこれから受ける後輩にメッセージやアドバイスがあれば、ぜひご記入ください。

後輩に対するメッセージ③ 就職活動に向けて

- **インターンシップに行ったことがない人にオススメ**です。漠然と社会に出るのが怖いと思う人は一定数いると思いますが、たぶん「知らない」ということが怖いと思う原因の一つだと思います。私もそうでした。**企業でやりそうなことを、短期間で少しずつ体験できる**のでお得だと思います。
- **就職活動の実績**として使える。
- **将来エンジニアになりたい人には企業での実習がとてもいい経験**となるのでぜひ参加してみましょう！
- 会社で行われるプロジェクトとある程度同じ流れで行われるので、受講した後には、**会社に所属した後はどのようなことを行うのか想像しやすくなる**。想像しやすくなると**就活の際に具体像が浮かびやすく、キャリアプラン等も考えやすくなる**ので、ぜひ受講してほしい。
- アプリ開発において、つまづいたり、開発中に辛くなることもあるが、その分アプリが完成した時の達成感は何よりも大きい。思ったよりも良い反応が得られ、最終発表で全てが報われたと思った。**「完成させる」までのプロセスを経験することは今後就職する上でも非常に重要なものとなるだろう**。頑張ってほしい。
- **就職活動での体験談**に使うことができるかもしれない。

後輩に対するメッセージやアドバイス⑥

【問22】 enPiTプログラムをこれから受ける後輩にメッセージやアドバイスがあれば、ぜひご記入ください。

後輩に対するアドバイス　これから受講する学生の皆さんに向けて (1/4)

- **足を踏み出すこと**は大事。
- 自分と同じ大学の人とばかり喋るのではなく、**他の大学の学生とよく喋るようにしよう**。
- 普段慣れない他大学の人達との演習は不安に感じることも多いと思いますが、その不安は参加者全員が感じていることだと思います。だから、**思い切って自分から話しかけてみる**とグループの緊張がほぐれて行き、良いグループワークが行えると思います。
- **分からなければ周りに話を聞く。真面目に取り組む。**この二点だけしっかりとできれば問題ないです。それから、自分が学びたいと感じるものがあれば受けたら良いと思います。周りに流されないで。最後にアドバイスとして、**周りの人とキチンとお話してください**。質問には答えて、会話をキチンとしましょう。
- 受講前に**知識が足りていないだろうからと諦めることは勿体ない**です。私は知識がゼロの状態で受講を決めました。当然知識は無いよりもあった方が良いですが、足りない知識は必要な時に必要な分だけ集めれば良いですし、十分な知識を持っている人が集まっているというものでもありません。そのため、知識的な問題で受講を見送ることは勿体ないと思います。
- **ITに興味がある人は受講したほうがいい**と思います。
- **プログラムが終わった後に絶対に受けてよかったと感じる**ので、迷っている方は是非受けてみて下さい。
- **積極的にコミュニケーションを図っていくべき**だと思います。非常に明るくて親切な先生方、様々な知見や考え方を持った学生、社内の事情などにも詳しい企業の方々などに囲まれた、非常に恵まれた環境で学ぶことができますので、それらの方々と積極的に交流することで、大きな成長に繋がると思います。
- **興味があるなら参加してみるといい**と思いました。
- **興味があるのであれば参加すべき**です。

後輩に対するメッセージやアドバイス⑦

【問22】 enPiTプログラムをこれから受ける後輩にメッセージやアドバイスがあれば、ぜひご記入ください。

後輩に対するアドバイス　これから受講する学生の皆さんに向けて (2/4)

- Basic SecCapは合宿は無く、週末二日間で1セットの科目を複数履修していく形式なので、参加しやすいプログラムだと思います。気になったら**積極的に参加することをお勧めします**。
- **受講して損することは何もない**からぜひ受講して欲しい。
- **他大学の学生と積極的に交流する**と良いと思います。
- 開発に夢中になっても、**発表のスライド作りやその打ち合わせはしっかりとやったほうがいい**。
- 内容に関してはきちんと企業の方々の説明を聞けば分かるし、**もし分からない場合でも質問をすれば丁寧に教えてくれる**ので心配いらないと思います。
- 研究や学習との両立が大変だと思いますが、**自分が学んできたことをどれほど理解しているか確認するよい機会**なので積極的に参加して下さい。
- 手持ち無沙汰になる班人が出ないよう、**上手く人員を配置**してください。
- **気負うことなく積極的に参加する**ことがよいと伝えたいです。
- 他の授業等の兼ね合いもあり、なかなか時間を取れず困ると思うが、**参加して無駄になることはない**。
- 開発スケジュールについてですが、enPITプログラムは他の授業と同時に進めていくため、**ある程度の余裕が必要**だと思います。
- ここでの**経験は今後の人生の大きな糧になります**。頑張ってください。
- **開発言語は使い慣れたものを使いましょう**。どうしても使いたい言語がある場合は、開発フェーズに入る前に**しっかり予習しておくことをおすすめします**。

後輩に対するメッセージやアドバイス⑧

【問22】 enPiTプログラムをこれから受ける後輩にメッセージやアドバイスがあれば、ぜひご記入ください。

後輩に対するアドバイス　これから受講する学生の皆さんに向けて (3/4)

- 今まで体験したことのないことに出会い不安になることも多いと思いますが、**新しい体験を社会勉強と思い挑戦してみてはいかがでしょうか**。
- **学校の授業と両立**して頑張ってください。
- いつもやることにプラスアルファする形になるため確かに大変にはなりますが、他人と同じことをしていてもその人たちとの差は生まれないと思いませんか？ **本プログラムに参加することで参加していない人と差がつきます**し、とても良い経験になります。是非参加してみてください！
- 貴重な経験ができました。将来への不安がある中で、**実際に体験することは非常に大きい**です。他者とのコミュニケーションについても考えを改めることが多々あります。ぜひ、受講することをおすすめします。
- **時間に余裕がない方は参加しないほうがよい**でしょう。
- **想像を絶するほどキツいので、覚悟して望んでください**。難易度はそこまで高くありませんが、時間との戦いを強く感じると思います。ひたすら苦しんだ後に発表で報われるという形なので、そういうことが苦手な人は注意してください。他の人が良いことばかり伝えてくるかもしれませんが、その人は上手くいったからだと思われます。たいてい上手くいかないので覚悟をしておくだけでも、気持ちがだいぶ楽になります。チーム開発ですので、初めはとにかく**コミュニケーションをとることを心がけてください**。コミュニケーションがある意味一番大切です。
- 先生方や関係者からただ話を聞くのではなく、自主的に話を伺いに行くなど、**積極的に活動する姿勢を心掛けてほしい**。物事の真意を考察できるようになれば、演習や実習の実りはより豊かなものになるだろう。
- 何かしらの不安がある人もいるかもしれませんが、**先生やグループのメンバーが助けてくれる**はずなので、とりあえずチャレンジしてみることが大切だと思います。終わってみれば、なんとかなったなと思うはずです。

後輩に対するメッセージやアドバイス⑨

【問22】 enPiTプログラムをこれから受ける後輩にメッセージやアドバイスがあれば、ぜひご記入ください。

後輩に対するアドバイス　これから受講する学生の皆さんに向けて (4/4)

- 貴重な経験ができることは間違いありません。大変なこともあるかもしれませんが、色んな発見ができるし、チーム開発もとても楽しいので、**意欲を持って受講すればきっと良いことがある**と思います！
- まずは**先生やメンターの意見を素直に受け入れることが大切**だと思います。その上で、その意見が自分たちの実現したいプロダクトに合っているのかを吟味することが大切だと思います。
- 普段の授業では，与えられた課題に取り組む。しかも大体は一人で取り組むことが多いと思います。enPiTでは、自分たちで課題を発見し、その解決法を考え、ユーザーが使える形で実装します。**その過程を実際に体験しながら学べる**ことがenPiTの良さの一つです。やっていることはプロダクトの制作ですが、具体的な技術のテクニックだけでなく、開発やチーム運営の方法を学ぶことができると思います。方法を知ることは選択肢を増やすことであり、それは生きる上での武器になるはずです。そういった視点でenPiTに参加すると、とても面白いと思います。
- 受講するのであれば**enPiTに時間を割ける状態にしたほうがいい**。単位目的でenPiTに参加するとチームに迷惑もかかるのでやめたほうがいい。
- チーム開発をすることになるため、あまりにも忙しい状態で参加してしまうとメンバーに迷惑をかける場合がある。**それらを頭に入れた上で参加するか判断して欲しい**。
- 受講中はきついと思うかもしれませんが、**振り返ると経験できてよかったと思う**はずなので、ぜひ参加をお勧めします。